

市民満足度調査 結果報告書

調査期間：平成29年9月22日～10月6日

京田辺市

はじめに

平成 29 年 4 月に市制施行 20 周年を迎えた本市は、これまで、豊かな自然環境と高い交通利便性を生かし、市北部・中部・南部の拠点駅を中心とした便利なコンパクトシティの形成に取り組むとともに、子育て支援に重点を置いたまちづくりを進めてきました。その結果、全国的に多くの自治体が人口減少に転じる中、本市では子育て世代を中心とした人口流入が続いています。

また、市民の皆様を対象に過去 2 回実施した市民満足度調査の結果を見ても、本市に対する総合的な満足度は高く、高い定住意向が伺えます。

しかし、社会情勢の移り変わりとともに市民ニーズが複雑多様化することから、地方自治体には、財政状況が極めて厳しい中、事業の優先度・費用対効果や将来の財政負担等を総合的に勘案し、市民の視点に立った質の高い行政サービスを提供することが求められています。

こうしたことから、本市では、平成 22 年度から定期的に市民満足度調査を実施し、重点的に取り組むべき施策の指針にするとともに、平成 28 年 3 月に策定した第 3 次京田辺市総合計画の後期基本計画「まちづくりプラン」に基づき、選択と集中による重点施策を展開しています。

3 回目となる今回の調査では、「まちづくりプラン」の施策体系ごとに、福祉・教育・環境・産業などのさまざまな分野で進めてきた具体的な取組みに対して、市民の皆様の満足度・重要度や、市政に対するご意見をお伺いしました。

調査結果は、今後のまちづくりの貴重な基礎資料として有効に活用するとともに、数多くいただいたご意見・ご提言についても可能な限り市政に反映し、市民サービスのさらなる向上に取り組んでまいります。

今回の調査にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも本市のまちづくりに対する積極的なご参画とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

目 次

I . 調査の概要	1
1.調査目的.....	1
2.調査対象.....	1
3.調査内容.....	1
4.調査方法.....	1
5.調査期間.....	1
II . 調査のまとめ	2
1.調査票回収率.....	2
2.調査の精度	2
3.総合評価.....	2
4.回答者の属性.....	3
5.定住意向.....	5
6.住み続けたい理由	7
7.住み続けたくない理由	9
8.調査のまとめ.....	11
9.市民の満足度・重要度	12
10.各質問の結果分析（施策 1～16）	17
III . 広報に関する市民の意識	49
IV . まちづくりへのアイデア・提言	54

I. 調査の概要

1. 調査目的

平成 25 年 7 月に実施した市民満足度調査以後、市が福祉、教育、環境、産業などのさまざまな分野で進めてきた施策や事業などの取組みに対して、市民の考え（満足度と重要度）を調査し、結果をまちづくりの基礎資料として活用するとともに、事務事業・予算編成などの行財政運営の参考とする。

2. 調査対象

平成 29 年 6 月 1 日現在、本市に住民票を有する 20 歳以上の男女 3,000 人を層化無作為抽出（地域別に人口・年代・性別で比例配分した無作為抽出）。

調査対象者数については、以下のような検討を行った上で 3,000 人に決定した。

母集団数（N）に対して必要な標本数（n）は、一般的に以下の計算式により算出される。

$$n = \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \cdot \frac{1}{1 - \frac{1}{N} + \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \cdot \frac{1}{N}} \quad \doteq \quad \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \quad [N \gg n \text{ の場合}]$$

λ は信頼度を決めると自動的に決まる定数で、同様の調査では一般的に信頼度 95%、 $\lambda = 1.96$ を使用する場合が多い。p はその選択肢を選んだ人の割合である。質問ごとに異なるが、p が 50% の時に標本数が最大となることから、 $p = 0.5$ とした。d は標本誤差で、同様の調査で一般的に許容範囲とされる 3% とした。

上記により必要標本数を算出すると 1,068 件となる。回収率を 40% と想定すると、必要標本数を満たすために必要な対象者数は 2,670 件となるため、調査対象者数を 3,000 件とした。

3. 調査内容

- (1) 市が平成 25 年 7 月以降に実施した施策を 16 項目に分類し、それぞれ取り組んだ具体的な事業を示して、施策に対する満足度と重要度を次の 5 段階で尋ねた。なお、施策の分類については、満足度・重要度の変化を時系列に比較できるよう、前 2 回の調査と同様とした。

評点	5	4	3	2	1
満足度	満足	おおむね満足	どちらでもない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない

- (2) 施策ごとに意見・提言等の自由記述欄を設けたほか、末尾に今後のまちづくり全般についての提言欄を設けた。
- (3) 行政情報の発信方法について検討するため、広報に関する質問欄を設けた。
- (4) 回答者の属性による分析を行うため、性別・年齢・職業・居住年数・居住地域について選択肢を示し、回答を求めた。
- (5) 「今後も京田辺市に住み続けたいか」、また「その理由」について選択肢を示し、回答を求めた。

4. 調査方法

調査票を郵送により配布し、同封した返信用封筒（料金受取人払）により回収した。

5. 調査期間

平成 29 年 9 月 22 日から 10 月 6 日まで（15 日間）

Ⅱ. 調査のまとめ

1. 調査票回収率

	今回調査	平成 25 年度調査
送 付 数	3,000 件	3,000 件
返 送 数	8 件	19 件
実質送付数	2,992 件	2,981 件
有効回収数	1,089 件	1,157 件
回 収 率	36.40%	38.81%

2. 調査の精度

統計学上、信頼度 95%・標本誤差 3%の場合に必要な標本数は 1,068 件であり、今回の有効回収数（標本数）はそれを上回る 1,089 件である。従って、本調査結果は標本誤差が 3%以下の範囲内であり、20 歳以上の京田辺市在住者全体の意見を推定するために必要な精度を満たしていると言える。

なお、標本誤差（d）は統計学的に以下の計算式で算出され、標本数（回答者数）と回答比率によって誤差の幅が異なる。

$$d = \lambda \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$$\left(\begin{array}{l} \lambda = \text{信頼度 95\%としたときの定数 (=1.96)} \\ N = \text{母集団数 (=53,880 人。平成 29 年 6 月 1 日現在、満 20 歳以上の人口)} \\ n = \text{標本数 (=1,089 件)} \\ p = \text{回答比率 (=0.5)} \end{array} \right)$$

信頼度 95%の場合、今回の調査結果の全体の標本誤差は下表のとおりとなる。

回答者数 (n)	回答比率(p)				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
1,089	1.76%	2.35%	2.69%	2.88%	2.94%

例えば、ある質問の回答者数が 1,089 人で「満足」と回答した人の比率が 20%だった場合、標本誤差は 2.35%となり、その質問に対する 20 歳以上の京田辺市在住者全体の回答比率は、17.65%～22.35%の範囲にあると考えられる。

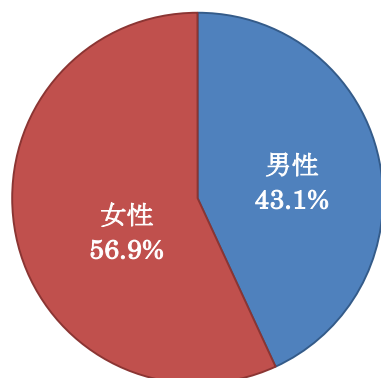
3. 総合評価(5 段階の指数評価)

評価： 4 「おおむね満足」

4. 回答者の属性

(1) 性別 (n=1,065)

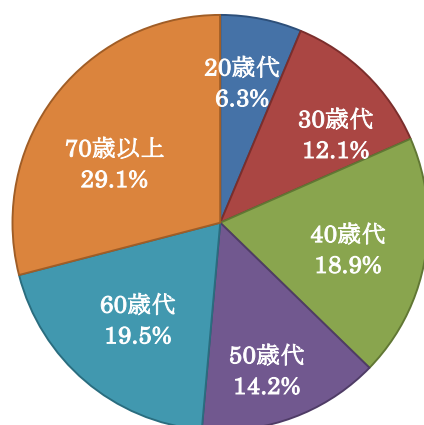
対象者抽出時点の男女別人口構成比と比較すると、女性の回答率が高い。



対象者抽出時における 男女別人口構成比	
男性	48.7%
女性	51.3%

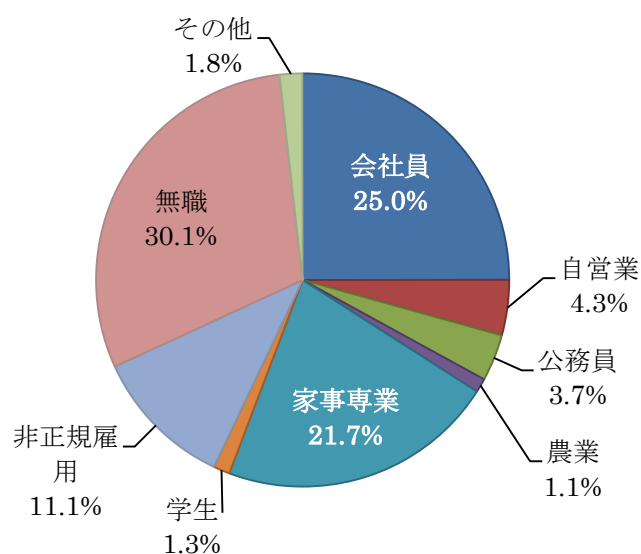
(2) 年齢階層 (n=1,060)

対象者抽出時点の年齢別人口構成比と比較すると、60歳以上の回答率が高く、20歳代・30歳代の回答率が低い。

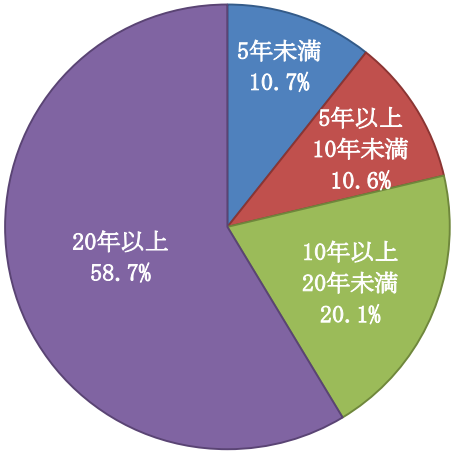


対象者抽出時における 年齢別人口構成比	
20歳代	12.1%
30歳代	15.0%
40歳代	21.5%
50歳代	13.8%
60歳代	15.1%
70歳以上	22.4%

(3) 職業区分 (n=1,013)

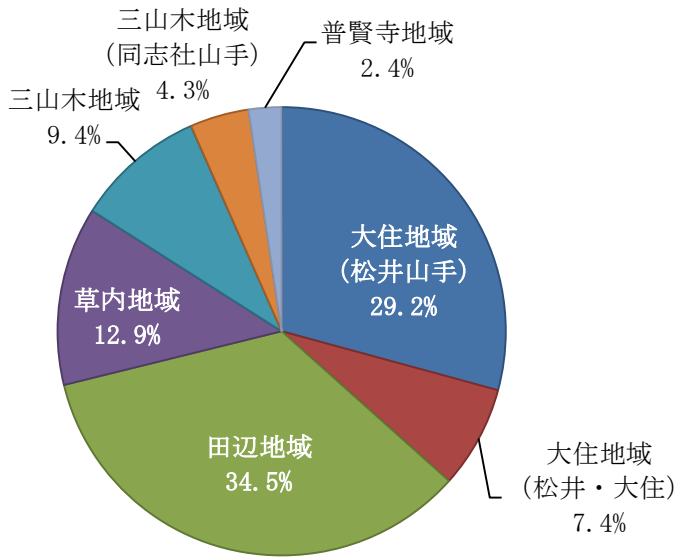


(4) 居住期間 (n=1,057)



(5) 居住地域 (n=1,057)

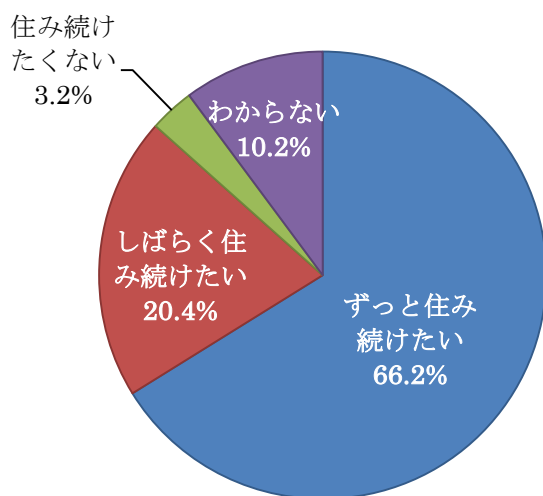
対象者抽出時点の居住地域別人口構成比と比較すると、松井山手・同志社山手地域の回答率が高く、松井・大住・草内・三山木地域の回答率が低い。



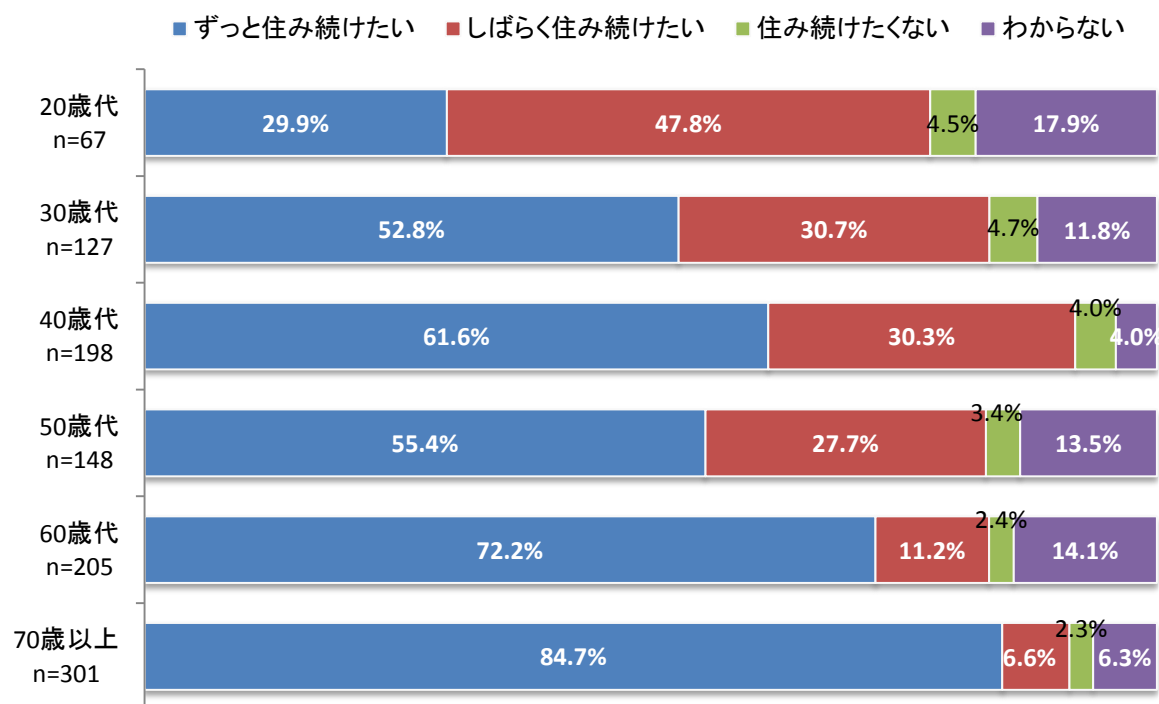
対象者抽出時における 居住地域別人口構成比	
大住地域 (松井山手)	24.4%
大住地域 (松井・大住)	11.4%
田辺地域	32.2%
草内地域	15.1%
三山木地域	10.9%
三山木地域 (同志社山手)	3.7%
普賢寺地域	2.3%

5. 定住意向

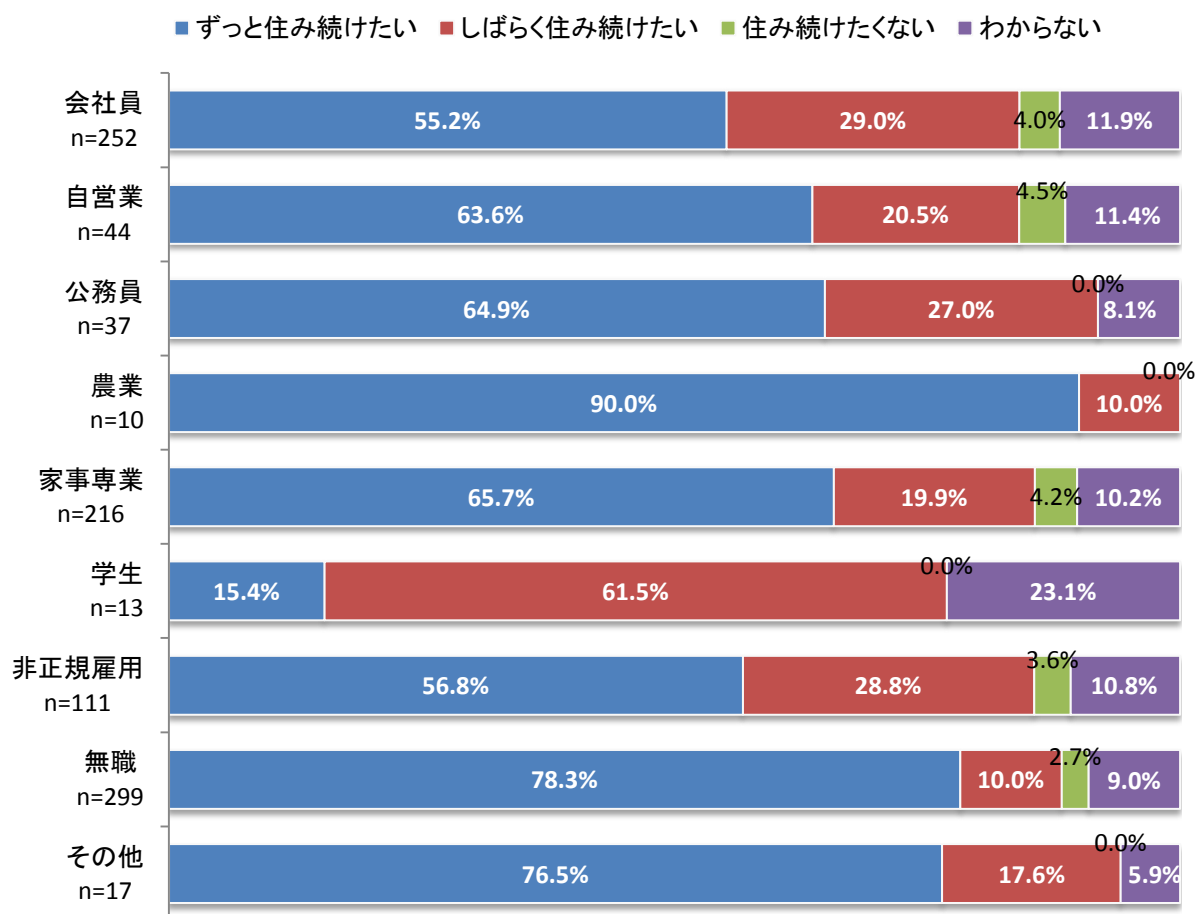
(1) 全体 (n=1,052)



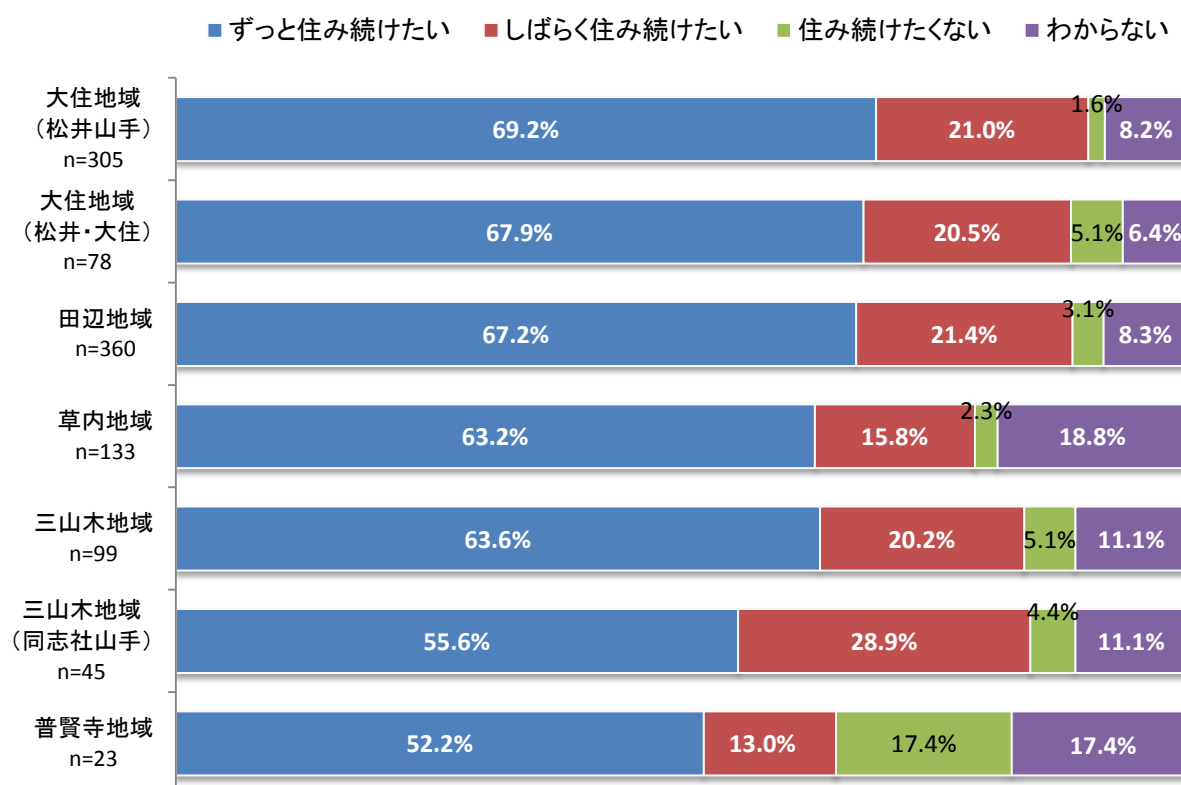
(2) 年齢別



(3) 職業別



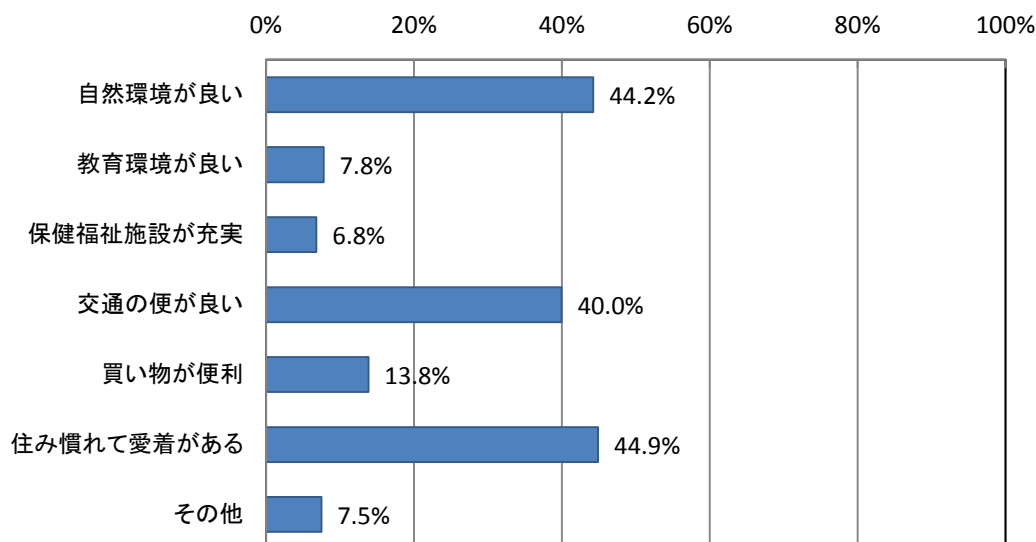
(4) 居住地域別



6. 住み続けたい理由 ※複数回答

(1) 全体 (n=911)

主な理由として、「住み慣れて愛着がある」「自然環境が良い」「交通の便が良い」を挙げた人が多かった。また、「その他」の理由には、「都会でも田舎でもなく生活に便利」「気候が良く天災が少ない」「治安・生活環境が良い」「まちが美しい」「人口規模がほどよく住民サービスが行き届いている」「新旧のまちがほどよく混在」などがあつた。



(2) 年齢別

ほぼすべての年代で、「自然環境が良い」が高くなっている。「住み慣れて愛着がある」は30歳代以降で徐々に高くなり、70歳以上では50%を超えている。

	20歳代 n=52	30歳代 n=106	40歳代 n=182	50歳代 n=123	60歳代 n=171	70歳以上 n=275
自然環境が良い	19 36.5%	50 47.2%	85 46.7%	53 43.1%	72 42.1%	123 44.7%
教育環境が良い	5 9.6%	24 22.6%	26 14.3%	7 5.7%	5 2.9%	4 1.5%
保健福祉施設が充実	0 0.0%	7 6.6%	11 6.0%	5 4.1%	9 5.3%	30 10.9%
交通の便が良い	18 34.6%	38 35.8%	68 37.4%	67 54.5%	77 45.0%	96 34.9%
買い物が便利	10 19.2%	13 12.3%	20 11.0%	22 17.9%	29 17.0%	32 11.6%
住み慣れて愛着がある	21 40.4%	34 32.1%	70 38.5%	54 43.9%	84 49.1%	145 52.7%
その他	6 11.5%	6 5.7%	18 9.9%	7 5.7%	11 6.4%	20 7.3%

40%以上は網掛け

(総括)

(3) 職業別

会社員・家事専業・学生では、「自然環境が良い」に次いで「交通の便が良い」が高くなっている。農業では「住み慣れて愛着がある」が80%で最も高かった。

	会社員 n=212	自営業 n=37	公務員 n=34	農業 n=10	家事専業 n=185	学生 n=10	非正規雇用 n=95	無職 n=264	その他 n=16
自然環境が良い	96	20	16	5	84	5	35	119	4
	45.3%	54.1%	47.1%	50.0%	45.4%	50.0%	36.8%	45.1%	25.0%
教育環境が良い	22	5	7	0	18	0	8	3	1
	10.4%	13.5%	20.6%	0.0%	9.7%	0.0%	8.4%	1.1%	6.3%
保健福祉施設が充実	4	4	3	1	11	0	7	28	2
	1.9%	10.8%	8.8%	10.0%	5.9%	0.0%	7.4%	10.6%	12.5%
交通の便が良い	94	11	16	0	75	4	45	94	9
	44.3%	29.7%	47.1%	0.0%	40.5%	40.0%	47.4%	35.6%	56.3%
買い物が便利	28	5	4	0	34	3	10	32	3
	13.2%	13.5%	11.8%	0.0%	18.4%	30.0%	10.5%	12.1%	18.8%
住み慣れて愛着がある	78	16	13	8	72	3	47	141	5
	36.8%	43.2%	38.2%	80.0%	38.9%	30.0%	49.5%	53.4%	31.3%
その他	21	1	2	1	15	0	6	17	2
	9.9%	2.7%	5.9%	10.0%	8.1%	0.0%	6.3%	6.4%	12.5%

40%以上は網掛け

(4) 居住地域別

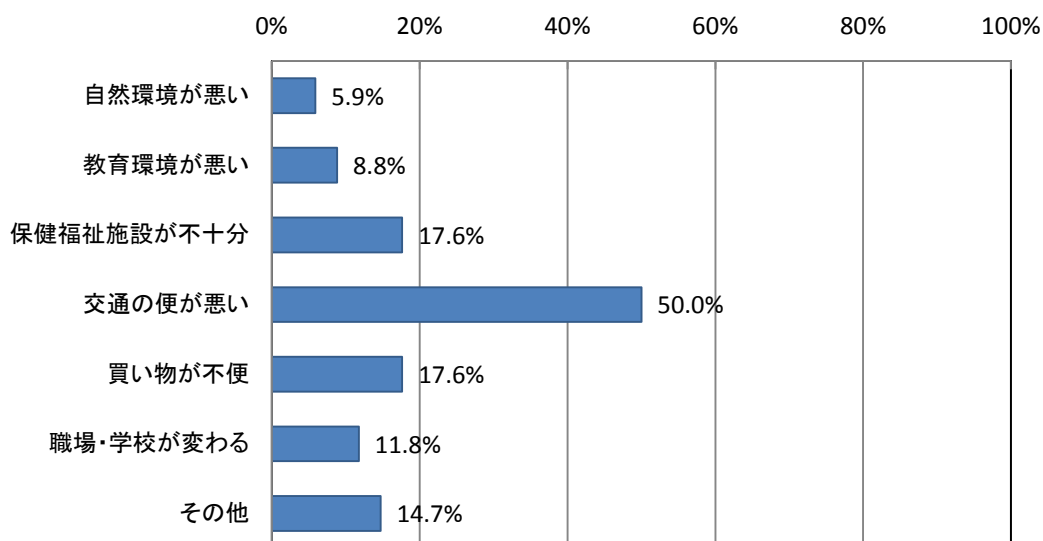
新興住宅地である松井山手・同志社山手地域を除くすべての地域で、「住み慣れて愛着がある」が最も高かった。松井山手地域では「交通の便が良い」、同志社山手地域では「自然環境が良い」が最も高かった。

	大住地域 (松井山手) n=275	大住地域 (松井・大住) n=69	田辺地域 n=319	草内地域 n=105	三山木地域 n=83	三山木地域 (同志社山手) n=38	普賢寺地域 n=15
自然環境が良い	120	37	133	47	28	28	6
	43.6%	53.6%	41.7%	44.8%	33.7%	73.7%	40.0%
教育環境が良い	30	10	15	4	4	8	0
	10.9%	14.5%	4.7%	3.8%	4.8%	21.1%	0.0%
保健福祉施設が充実	19	4	28	7	4	0	0
	6.9%	5.8%	8.8%	6.7%	4.8%	0.0%	0.0%
交通の便が良い	126	10	135	50	34	4	2
	45.8%	14.5%	42.3%	47.6%	41.0%	10.5%	13.3%
買い物が便利	50	3	48	13	11	1	0
	18.2%	4.3%	15.0%	12.4%	13.3%	2.6%	0.0%
住み慣れて愛着がある	108	37	147	52	39	9	13
	39.3%	53.6%	46.1%	49.5%	47.0%	23.7%	86.7%
その他	22	4	24	4	10	3	1
	8.0%	5.8%	7.5%	3.8%	12.0%	7.9%	6.7%

40%以上は網掛け

7. 住み続けたくない理由 ※複数回答

(1) 全体 (n=34)



(2) 年齢別

ほぼすべての年代で「交通の便が悪い」が高く、50歳代では80%に達した。次いで、70歳以上では「買い物が不便」、20・50・60歳代では「まちに魅力がない」が高かった。

	20歳代 n=3	30歳代 n=6	40歳代 n=8	50歳代 n=5	60歳代 n=5	70歳以上 n=7
自然環境が悪い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 14.3%
教育環境が悪い	1 33.3%	2 33.3%	3 37.5%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健福祉施設が不十分	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
交通の便が悪い	2 66.7%	1 16.7%	2 25.0%	4 80.0%	3 60.0%	5 71.4%
買い物が不便	0 0.0%	3 50.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 20.0%	4 57.1%
職場・学校が変わる	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
まちに魅力がない	1 33.3%	1 16.7%	2 25.0%	4 80.0%	2 40.0%	1 14.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

40%以上は網掛け

(総括)

(3) 職業別

	会社員 n=10	自営業 n=2	公務員 n=0	農業 n=0	家事 専業 n=9	学生 n=0	非正規 雇用 n=4	無職 n=8	その他 n=0
自然環境が 悪い	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
教育環境が 悪い	2	1	0	0	2	0	2	0	0
	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
保健福祉施設 が不十分	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
交通の便が 悪い	6	1	0	0	5	0	0	4	0
	60.0%	50.0%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
買い物が不便	2	0	0	0	6	0	1	2	0
	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
職場・学校が 変わる	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
まちに魅力が ない	2	2	0	0	4	0	0	2	0
	20.0%	100.0%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

40%以上は網掛け

(4) 居住地域別

	大住地域 (松井山手) n=5	大住地域 (松井・大住) n=4	田辺地域 n=11	草内地域 n=3	三山木地域 n=5	三山木地域 (同志社山手) n=2	普賢寺地域 n=4
自然環境が 悪い	1	0	0	0	1	0	0
	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
教育環境が 悪い	2	1	1	1	0	1	1
	40.0%	25.0%	9.1%	33.3%	0.0%	50.0%	25.0%
保健福祉施設 が不十分	1	0	2	0	0	0	0
	20.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
交通の便が 悪い	1	3	3	2	4	1	3
	20.0%	75.0%	27.3%	66.7%	80.0%	50.0%	75.0%
買い物が不便	0	2	5	2	1	0	1
	0.0%	50.0%	45.5%	66.7%	20.0%	0.0%	25.0%
職場・学校が 変わる	0	0	0	0	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
まちに魅力が ない	3	2	1	0	3	2	0
	60.0%	50.0%	9.1%	0.0%	60.0%	100.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

40%以上は網掛け

8. 調査のまとめ

市政に対する市民の満足度調査としては、平成 23 年 2 月と平成 25 年 7 月に次いで 3 回目となる。今回は、市民意識の変化を経年で分析できるよう、市の施策を 16 項目に分類して項目ごとに取り組んだ事業を提示し、それぞれの施策・事業に対する満足度・重要度を調査した。

回答を集計した結果、市政に対する市民の総合的な満足度は、5 段階の指数評価で「4(おおむね満足)」となった。

各施策に対する個別評価をみると、満足度においては施策 13「心豊かな子どもを育てる教育の推進」が最も高かった。次いで、施策 4「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」、施策 2「健康で安心して暮らせるまちづくり」、施策 5「災害に強いまちづくり」と続いており、子育て支援や安全・安心に重点を置いた市政を進めてきた成果とみることができる。

一方、最も満足度が低かったのは、市民参画・協働や大学との連携によるまちづくりを進める、施策 16「つながりによる地域力の創造」で、重要度においても最も低い評価であった。

重要度では、施策 4「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」が最も高く、自由記述欄に寄せられた意見からは、子育て環境や待機児童、保育士の確保などに対する関心が高いことが伺えた。また、施策 5「災害に強いまちづくり」、施策 6「事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備」、施策 13「心豊かな子どもを育てる教育の推進」なども重要度が高いと評価され、「子育て」「安全・安心」に対する市民ニーズの高さが読み取れる結果となった。

施策ごとの評価を回答者の属性別にみると、施策 4 の「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」では、「30 歳代」「会社員」「非正規雇用」「同志社山手地域」で、重要度が高いにもかかわらず満足度が低かった。また、施策 4「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」と施策 13「心豊かな子どもを育てる教育の推進」は、いずれも居住年数「5 年未満」「5 年以上 10 年未満」の層で重要度が高く、本市への転入に際し、「子育てしやすいまち」として子育て支援・教育施策に期待を寄せられていたことが推察される。

今回の調査では、市政情報を共有する「広報」についての市民の意識も尋ねた。市では広報紙のほか、回覧・チラシやホームページ・ツイッター・フェイスブックなど、さまざまな媒体を通じて行政情報を発信しているが、行政情報の入手手段としては 8 割以上が「広報ほっと京たなべ」、次いで「回覧・チラシ等」を挙げており、ホームページなどウェブ上で情報を得ている人は 15%にも満たなかった。パソコン・スマートフォンの世帯普及率が 7 割を超える中であっても、これらの情報端末を使って自ら積極的に行政情報を得ようと行動する市民は少なく、プッシュメディアとしての紙媒体が有効な広報手段であることがわかる。

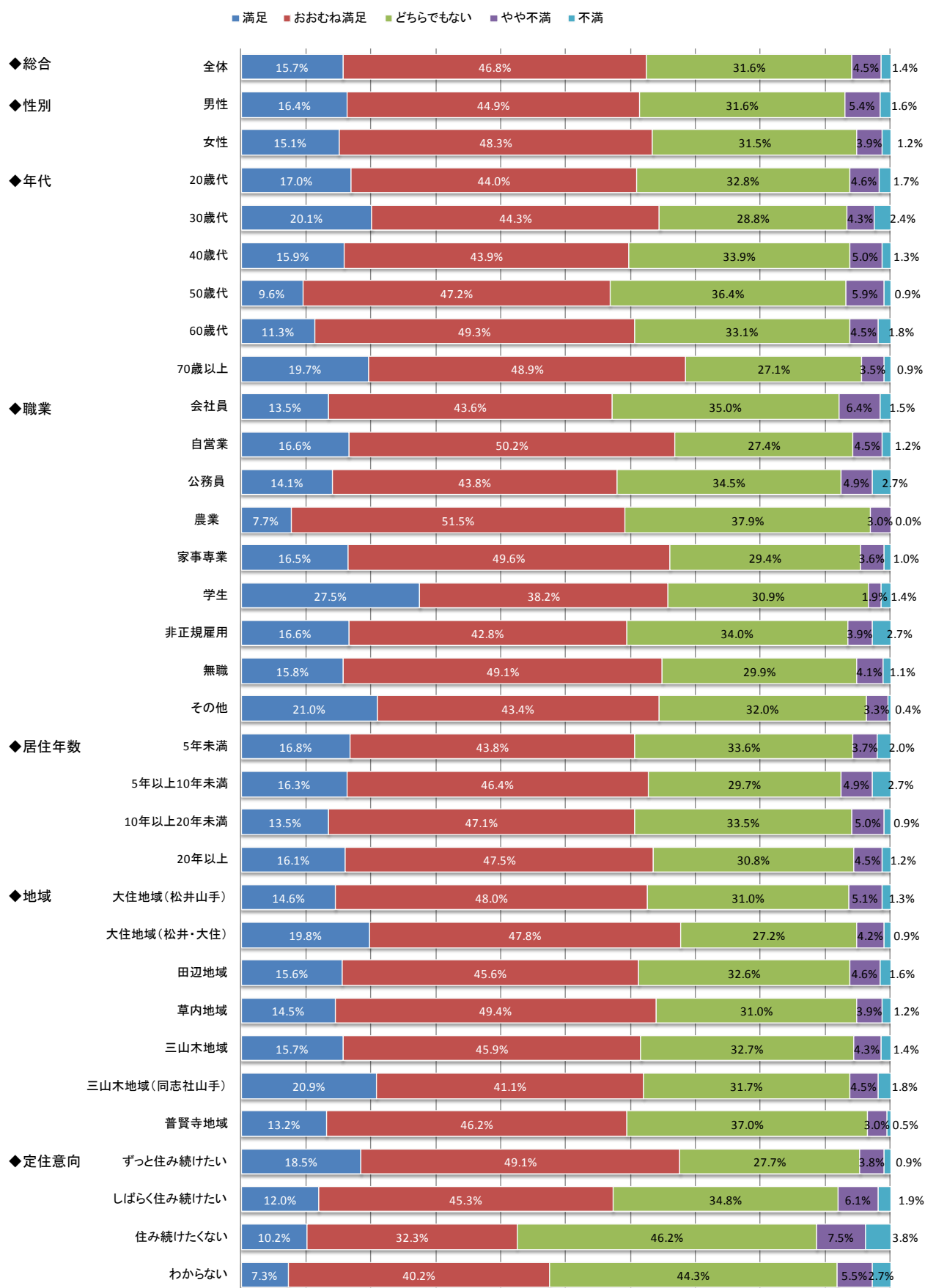
なお、回答の中には「事業を知らなかった」「広報不足」という声も多く、施策の周知不足による市民の認知度の低さが読み取れることから、今後いかに効果的に行政情報を発信するか、また、受け手である市民の市政に対する興味・関心をいかに高めるかが課題と考えられる。

今後、市民から寄せられた数々の意見・提言を分析し、重要度に比べて満足度が低かった施策を重点的に見直し充実を図るほか、新たな事業を企画することで、より市民に満足いただける市政を推進する必要がある。

9. 市民の満足度・重要度

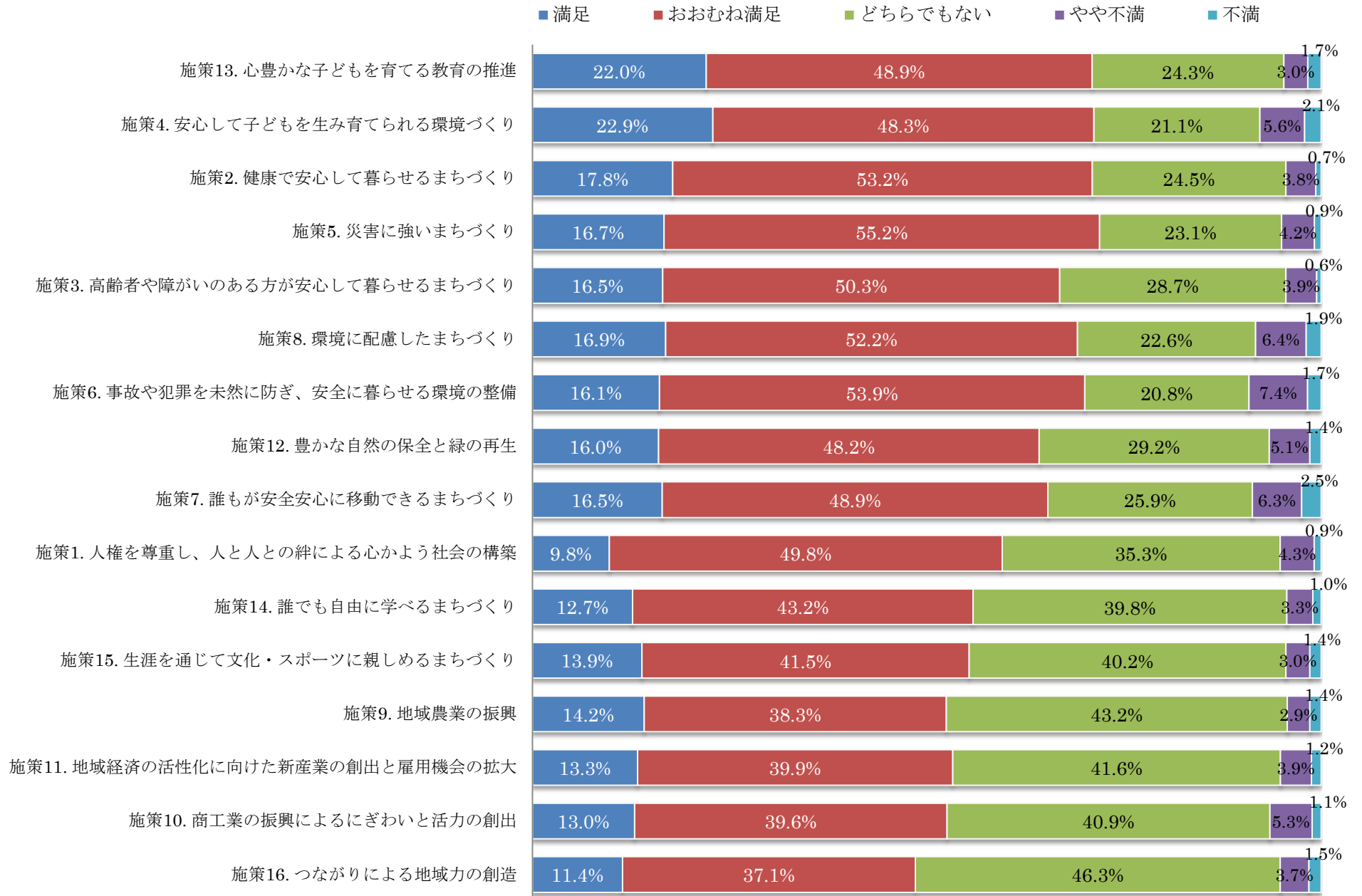
(1) 回答者属性別の総合満足度

すべての施策項目での評価を総合すると、「70歳以上」で「満足」「おおむね満足」と回答した割合が高く、「50歳代」「会社員」「公務員」の満足度が相対的に低い。

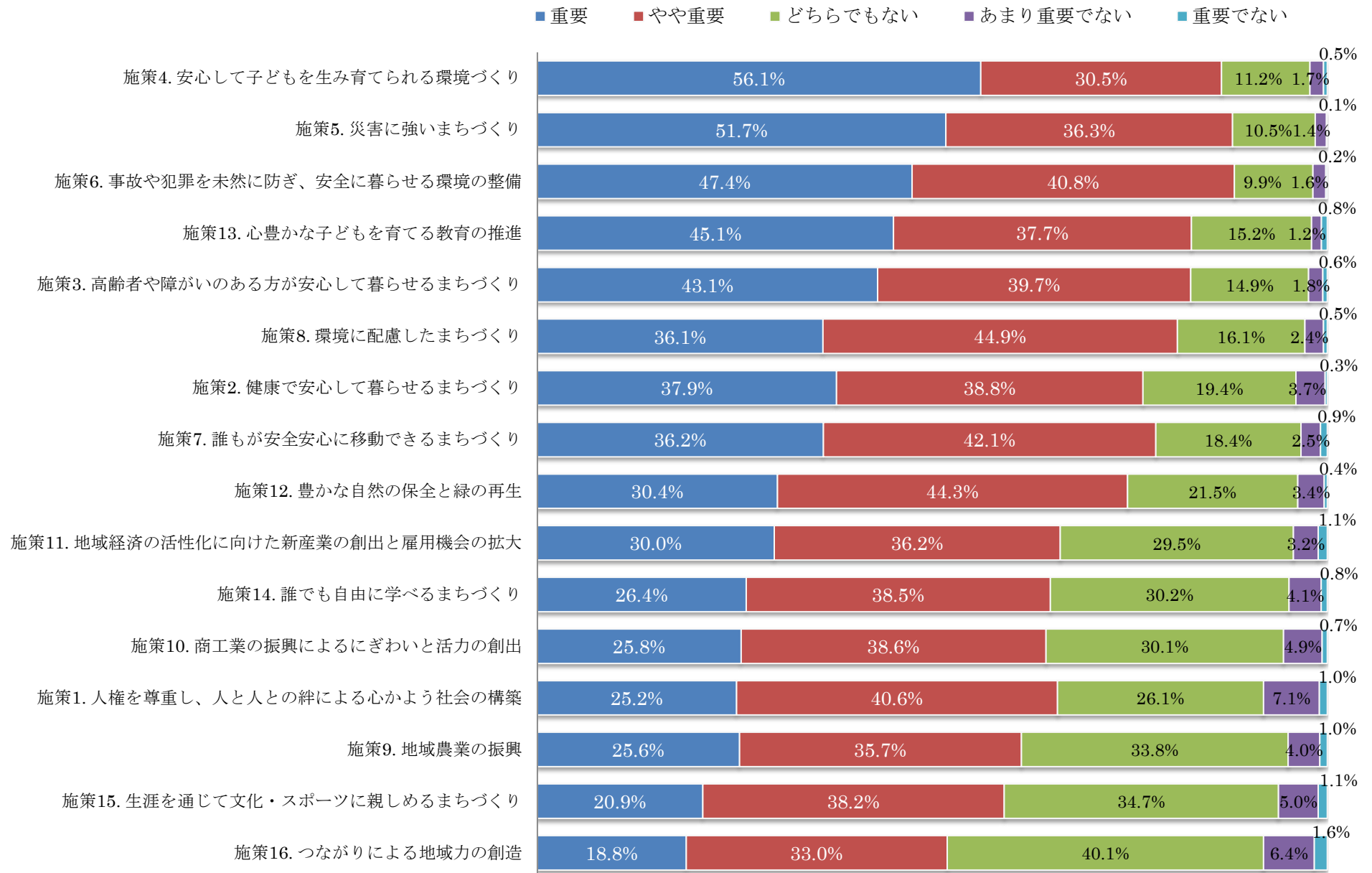


(総括)

(2) 市民満足度の高い施策の順位

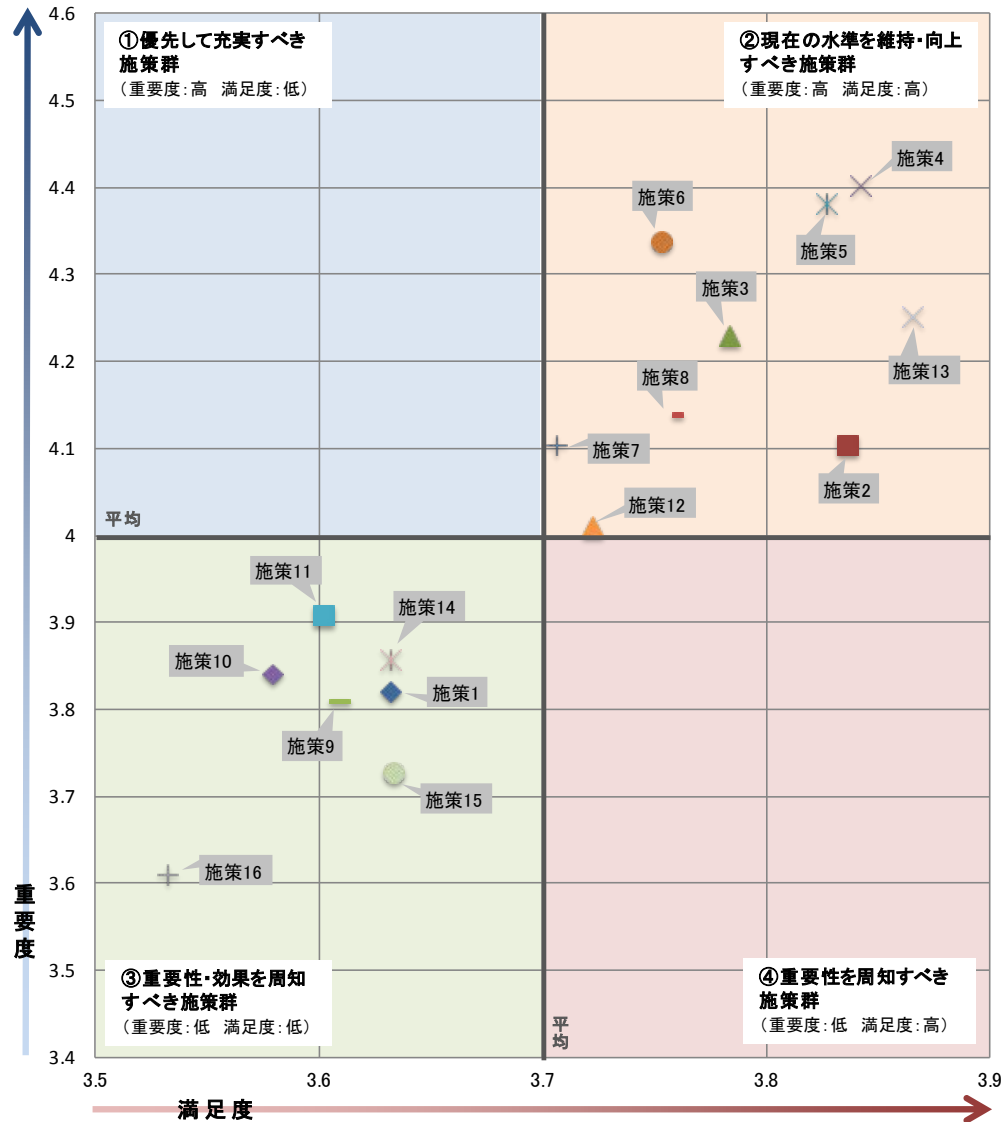


(3) 市民が重要と考える施策の順位



(4) 施策に対する満足度・重要度（平均点を基準とした散布度合い）

前回の調査結果と比較すると、施策7が「①優先して充実すべき施策群」から「②現在の水準を維持向上すべき施策群」へ、施策12が「③重要性・効果を周知すべき施策群」から「②現在の水準を維持向上すべき施策群」へ、それぞれ移行しており、前回調査の結果をもとに事業に取り組んだ成果が表れたと考えられる。



①優先して充実すべき施策群

②現在の水準を維持・向上すべき施策群

施策2. 健康で安心して暮らせるまちづくり
 施策3. 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
 施策4. 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
 施策5. 災害に強いまちづくり
 施策6. 事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境整備
 施策7. 誰もが安全安心に移動できるまちづくり
 施策8. 環境に配慮したまちづくり
 施策12. 豊かな自然の保全と緑の再生
 施策13. 心豊かな子どもを育てる教育の推進

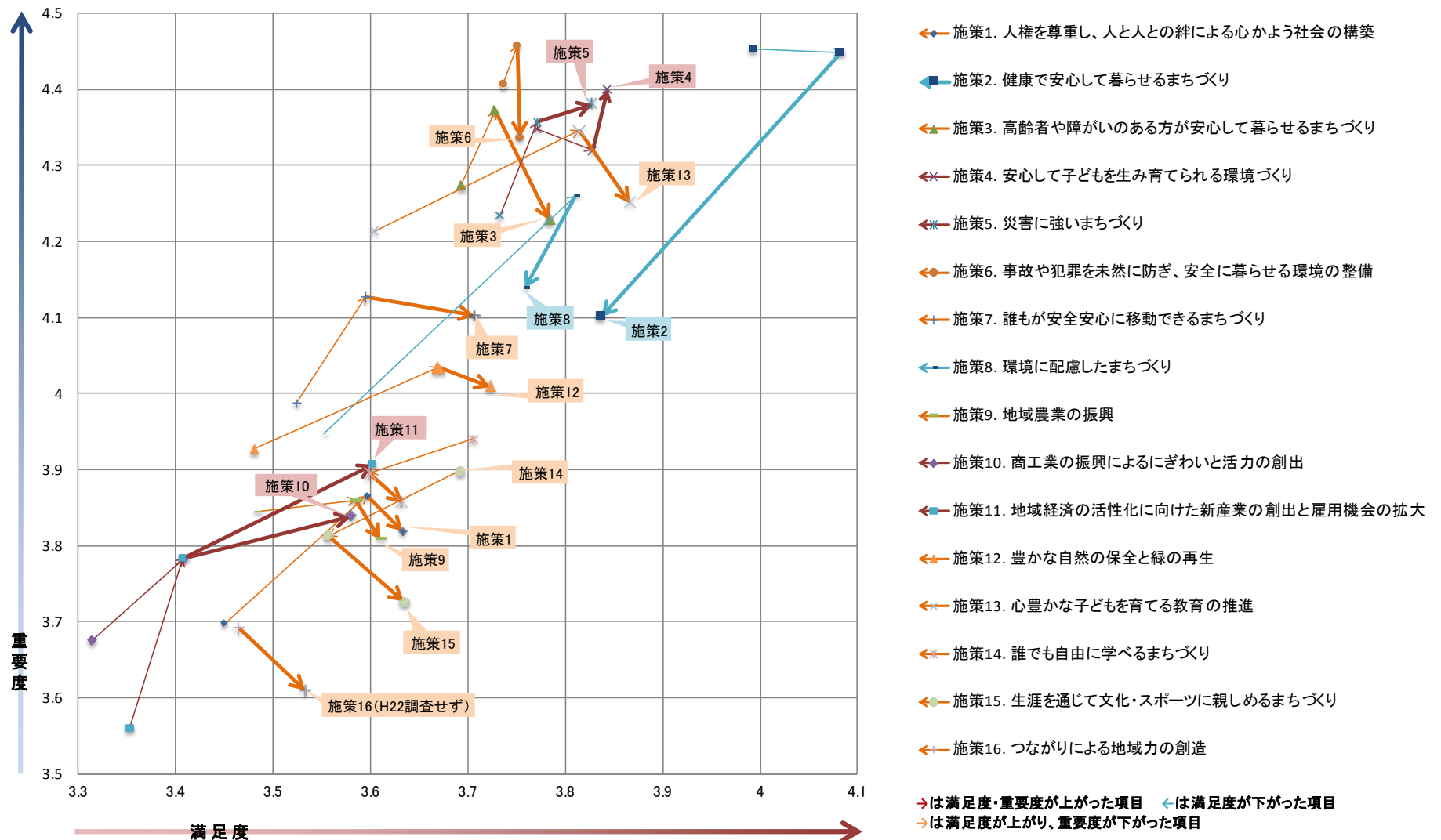
③重要性・効果を周知すべき施策群

施策1. 人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
 施策9. 地域農業の振興
 施策10. 商工業の振興によるにぎわいと活力の創出
 施策11. 地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大
 施策14. 誰でも自由に学べるまちづくり
 施策15. 生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり
 施策16. つながりによる地域力の創造

④重要性を周知すべき施策群

(5) 満足度・重要度の変化（平成 23 年 2 月→平成 25 年 6 月→平成 29 年 9 月）

前回の調査結果と比較すると、満足度・重要度ともに低下したのは施策 2・8 だが、重要度の低下に対し満足度の低下幅は小さい。施策 4・5・10・11 は満足度・重要度ともに向上した。施策 4 は重要度の上昇に満足度が追いついていない一方、施策 5・10・11 は重要度の上昇よりも満足度の向上度合いの方が高くなっている。施策 1・3・6・7・9・12～16 は重要度が低下したが、満足度は向上している。重要度が上昇したにもかかわらず、満足度が低下した施策項目はなかった。



10. 各質問の結果分析

施策1:人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築

- 「平和のつどい」「平和展」を開催したほか、小・中学生を広島へ派遣するなど、平和事業を推進しました。
- 国際交流の機会を提供し、国際感覚を醸成するため、海外留学やホームステイの受入れに助成を行いました。
- イベントなどを通じて人権問題に関する啓発を行うとともに、相談窓口や専用電話で悩み事・法律相談に応じるなど、人権の擁護に取り組みました。
- 個人情報の不正取得を防止するため、本人以外の第三者が証明書を取得したときに本人へお知らせする事前登録型本人通知制度を導入しました。
- 男女がともに輝ける地域社会づくりのため、男性向け「カジダン(家事男)講座」などを開催しました。
- 市の課題解決につながる市民の自主的な活動と交流を支援するため、「京田辺まち・しる・つくる塾」「ええまちつくろうカフェ」などを開催するとともに、助成金の交付などを行いました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	3
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

(施策 1: 人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築)

施策1「人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築」に対する主な意見
取り組みが、表面的なものだけで終わってる。もう少し深くほり下げてほしい。
計画は立派だが全市民に浸透していない。私自身も知らなかった。
カジダンは必要性が不明瞭
人権問題についてはイベント等をあまり多く実施するとよけいに意識が強くなりよろしくないと思う。ものは程々に！！
PR方法、周知方法の改善。市民の選考方法が不明
弁護士、税理士の無料相談の時間を30分から1時くらいにして欲しい
どの分野に焦点を当てるかということも大事です。教育福祉が充実していると子どもや障がいをもつ人達が住みやすくなる。これから社会を支えていく子どもたちの平等で個々を尊重された教育を重視して考えて頂きたい。
「カジダン」・・・男性のための料理教室と一つにされては如何。生徒の数により家事一般に広げては如何でしょうか。
若い人達が活動してくれるのだったらカフェを開催するのに助成金など交付したりして良いと思いますが結婚をしない人が増えている現在自分の事しか考えないのに「カジダン」どころではないのどちがいますか。まず結婚をしようとする人達を出来る様にし京田辺で住んで仕事を遊び他の人達の事も考えられる人間になれる様にする。私の周辺子供さんは他地方に出られ老人ばかりになっています。平和友好交流どころではありません。子供達が他へ出て行かない様にする事が一番ではと思います。
広報が不足しています。海外留学やホームステイ受け入れを行っていましたが補助金制度を知りませんでした
核兵器廃絶に向けた取り組みを学習できる機会があれば良いと思います
上記の取組みで知らないものが多かったのもっと発信してほしい
なかなか市民には実感としてわかりにくい
大人向けだと限界があると思うので、小・中学生へ向けてもう少し力を入れたらいいのではないかなと思う
カジダン講座及カフェ助成金は不要
市が取り組んだ事業等が私の生活との接点がなかったのでピンとこない。
子供のいない人にも参加しやすくしてほしい
戦争平和を考え、過去の事実を知る為日本人一度は広島へ訪れた方が良いと思います。唯一被ばく国日本を知り、国際的人間と育ってほしいと思います。修学旅行や研修旅行の形で学校行事として子供達みんなが参加経験できるようにされては、いかがでしょうか。
取組後の結果報告や効果について検討がどうなっているのか分からない。評価報告が必要。
平和のつどい、国際交流に関してもっと宣伝すべきと思う
このようなことを行っていると知らなかったが、とてもいいなと思った
とても良い活動だと思っていますがこの活動は、多くの市民の方に伝わっているでしょうか？
外国人の方々の交流の場がもっと欲しい(英会話でも講座でも)
異なる4つの分野について、まとめて質問することが問題。別々に問うべき
小、中学生の他府県との交流をもう少し増やしたらと思う。内容については、名所、旧跡見学も良いがまちづくりの話し合いをする事をメインにしたら良いのでは。子供意見として。
「広島への派遣」子供を参加させたかったが、作文を書くという条件の敷居が高かった。こういう作文を書けないような意識の低い子の方が行く価値があると思う。
助成金や活動費用とその効果を明確化すべきと考えます
平和教育の一環として一部の子どもを広島へ派遣するのではなく原爆の落とされた唯一の国として修学旅行等で全ての子どもにその悲惨さを学ばせるべきではないか。特に世界の現状を見ると今こそ平和教育が必要
市民への施策実施についてのPRが不十分であり、実感が無い。もっと市民にPRすべきと考える
「カジダン講座」の企画はおもしろいと思います。沢山の男性が参加できるよう、回数を増やして欲しいと思います。
男女が共に輝ける地域社会は、雇用問題等にも関わると思うため、企業に向けた講座のようなもの必要ではないかなと思う
平和事業の推進は20～40代や高校・大学生にも必要
国際交流の助成金(留学)が、一部条件が厳しくなり、利用しづらくなっています。☆まちづくりの施策は、参加する年代がかなり限られてくるのでは？行う意味ありますか？
家事男講座とは何か。講座を開かねば男は家事をしないのか
ただ分野に係る事業を並べただけで、全て規模が小さく、市民に幅広く浸透するような施策展開ができていない！
学生(若者)と高齢者の交流をもっと活発にしていくと有りがたい
はっきり言って、これだけの取組みがあったことは知りませんでした。例えば「平和のつどい」等の小・中学生の派遣など少数の人数の派遣なら小・中学生全員が平和について理解したと私は思いません。修学旅行等、全員が平和について考える、見る、機会があればと思います。「事前登録型本人通知制度」は事前登録型ではなく、本人以外の第三者が取得した場合、知らせる方が良いのでは？その方が本当の不正取得防止ではありませんか？
私自身は上記の取り組みに直接参加はしませんが、上記の取り組みを進めることで、京田辺市が「まち」として良い方向へいくと思うので大事だと思います
助成金交付されているか当該団体の活動結果や交付金の使途の検証が行われているのでしょうか
学校、職場における「いじめ」「ハラスメント」の問題。インターネットの利用方法やマナーの教育等も大切なことでは
平和事業に対して語り部の方を招き学校や先生方へ生の声を聞く取り組みもしてはどうでしょうか？
対象者が少数の事業が多いのでは？特定の人への利益供与に感じます
書かれてある市の取組みについて、ほとんど知らなかった。市のPRが足りないのか、自分が市の広報をちゃんと読んでいないのかいずれにしても、もっと知るべきと反省した。途上国へのボランティア派遣や学生の視察ツアーなどへの助成など
途上国へのボランティア派遣や学生の視察ツアーなどへの助成など

施策2:健康で安心して暮らせるまちづくり

- 健康づくりに応じポイントが貯まる「健幸パスポート」事業で、自発的な健康づくりを支援しました。
- 豊かな自然を楽しみながら歩いて健康づくりに取り組めるよう、水辺の散策路の整備を進めたほか、ウォーキング教室「楽歩塾」を開催し、ウォーキングマップを作成しました。
- 地元特産品を使った料理レシピを、広報紙・ホームページやレシピサイト「クックパッド」などで発信し、市民の食育・健康意識の向上を図りました。
- 市民がそれぞれのライフステージで健康管理に取り組み、生活習慣病を予防できるよう、「いきいき健診」の対象年齢を拡大するなど、すべての世代で健診を受けられる体制を整えました。
- 誰もが快適に利用できるよう、社会福祉センターの設備改修とバリアフリー化を行いました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策2「健康で安心して暮らせるまちづくり」に対する主な意見

納税者(勤労者)が参加できる時間帯の体を動かすカルチャースクールがない。夜間の開催を検討して欲しい。
医療・介護の点で不十分である。病院(市立)、介護病院(市立)
市の基本健診(血、尿、心臓、レントゲンなど)を再開してほしい
先日市のがん検診を受けましたが、健幸パスポートの説明などはなかったです。せっかくいい取り組みなのでもう少しアピールしてはと思いました。
健幸パスポートでボランティア活動への参加に応じてポイントが貯まるように。
健幸パスポート記入事項は民間の主催事業も入れたらどうか
取り組んで行ってることはいいとして、その事業をもっと周知する必要があるのでは？結果的に知らないことがどの分野に対しても多すぎる。
いきいき健診でも他の県や市ではやっていないくらいの内容で抜きん出てNo.1を売りにも。突出して、全てに広く浅くでなく、選択と集中で内外に発信してほしい。
現在育児中の妻がいきいき健診を利用しました。今年は会社で健康診断は受けれないと思っていたようなので市が行っていただけののはとても良い取組みだと思います。
健診の年齢の拡大は嬉しい。特に 30 代のママ達は自分の健康はあとまわしになりがちなので
乳がん検診を国ではなく、市で 30 代からして欲しい。
健康診断を受ける期日を延長して欲しい。(8 月末日までを 10 月末くらいに！)
ウォーキングマップの存在を知らない。どこにありますか？料理レシピもどこにありますか？
30 代一般家庭にとって、まったくメリットを感じない。高齢者だけに利益のある施策
上記の取組みが市民にそれほど知られていないのでは？と思いました。良い取組みなのにもったいない
健診を受けられる体制を整えることは、市民の健康を守るのに重要だと思うのとこれからもっと充実させてほしい。また、健幸パスポートのたまったポイントで健診 1 回無料で受けられるなどの仕組みがあれば魅力的。
予防が大事。人間ドックが年 1 回であればいつでも受診できるような健保の範囲に入れるべき。年度初めの募集では受診が集中してしまう。通知票が届いた日に数百件の受診申込があるという(田辺中央病院)。即日 3 ヶ月待ちになる
三山木福祉会館のイキイキ体操に参加してましたが、今年からなくなりました。高齢者の健康作りの為にはもっともってそういう場が増やして欲しいです。ゲームの準備がたいへんでしたらなくてもよいです。体操だけでも復活して欲しいです。それと家庭菜園の為、農園も増やして欲しい。三山木福祉会館は急な坂道のため老人にとって不便に感じます。もっと平地に第二の会館を作って欲しい。
健幸パスポートの事業など土日休みのサラリーマンが利用できる企画も考案してもらいたい。税金を払っているのにと不満におもえる。そういった世代に手厚い施策をのぞむ
歯の健診デーは利用して、とてもいい機会になりました。所々でよくみる「健幸パスポート」はよくわからず、少しわずらわしく参加が面倒
ウォーキングマップの作成よりも、コースの設定、整備の方を優先して欲しい
京田辺市は、専業主婦対象ですか？いろんなイベントは全て平日で全く参加出来ない
健康分野では、人間ドッグの費用補助申請で市とのつながりがあるくらいで、その他の市の取組みについては特段魅力を感じない。バリアフリーという言葉が使っていますが、ユニバーサルデザインの考え方に切り替えて事業を進めてはどうでしょうか
乳がん検診、30 代もマンモグラフィ受診可能にして欲しい。触診だけでは不十分と感じました。
健幸パスポート「応募カード」を 2 回目以降待ち歩く工夫がない。(大きすぎる)
自分が住んでいる地区での公民館などでもっと高齢者が楽しんで体を動かすような指導者がいると良いと思います
甘南備山へ向かうウォーキングの標識がやりすぎて自然を損なった感があり、残念
ありきたりの事業で斬新さが足りない。対象者の規模が小さくもっと老若男女、就労者もサービスを受けられることが必要！
市役所が遠いので、健診など利用しづらい。近くの医療機関を利用できるなどの選択肢が増えたのは良い傾向だと思います
歩数計の支給やスマホのアプリなどで歩いた歩数をポイント化して貯まればお買い物券を市からいただけるなどのごほうびがあると歩くことを楽しむ高齢者(人)が増えるのではないかと思います
ラジオ体操等身近で経費のかからない物等で対応も
健幸パスポートの用紙は健康イベントのつど配って説明してほしい
利用する人が限られているようで、利用する人は何回も。しない人は何も利用しない
「健幸パスポート」や健診のことは、私も目にしますが、後のことは、広報等に出ていることでも気に留まらないのか、知りませんでした。ウォーキングマップを作成したなら、各家に配布されましたか？私は欲しいです(現在ウォーキングマップは、持っていません)。予算もあると思うのですが、これからもっと認知症の人が増加する時代です。料理レシピに認知症の予防レシピをプラスしたりしてみてもいかがですか？
例えばウォーキングマップ期待していただきましたがウォークに親しむものとしては不満。観光ガイドマップ(散策マップ)の改訂版？それでは予算の無駄だと思います。ウォーキングで楽しむ者の側に立ったマップの作成を期待します
昨今大きな問題になっている「うつ」など精神的な健康についても取組をするべきです
高齢社会に入り要介護の人が増えていくので市と駅近で利用しやすい田辺中央病院が連携して健康器具など取り入れて理学療法士のもと週 1〜2 回うけれるような取り組みをしてほしい。
地域によっては、参加したくても公民館等が遠く行きたくても行けない人がいる(薪地区は、横に細長く公民館まで徒歩ではムリ)。他の地区も同じ周回バスなど交通手段を考えると必要があると思います。一部の人だけの参加では意味がない
健診の対象年齢の拡大には意味があると思うが、健幸パスポート事業はやり過ぎ、健診を受けるかどうかは本人の選択であるから、その予算で水辺の散策路の整備の拡大を計れば良いと考える

施策3:高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり

- 「認知症サポート養成講座」や「オレンジカフェ」を開催し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する体制を充実しました。
- ボランティア活動への参加に応じてポイントが貯まる「高齢いきいきポイント」事業を創設し、高齢者の生きがいづくりを支援しました。
- 老人福祉センター常磐苑をリニューアルしたほか、近鉄新田辺駅前に「いきいきサポートセンター」を整備し、高齢者の居場所づくりや障がい者の自立・社会参加を支援しました。
- 生活に不安がある人の相談に応じる「仕事とくらしの相談室ぶらす」を設置し、仕事・家庭・経済的な問題の解決をサポートしました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策3「高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり」に対する主な意見
障害者・児が気楽に利用できる場所がほしいです
高齢者世帯が参加しやすいよう工夫がもっと必要かなと思います。(送迎や訪問等)参加したいが交通手段がない等よく聞きます
いきいきサポートセンター等がどこにあるのか具体的な活動等全然知らなかった。高齢者が行きやすい様に宣伝等もっとアピールしてください。
いろいろな相談室に相談員が居りますがこちらの的を得ない解答、相談員の質の向上を望みます
高齢者の介護施設があまりにも少ない。高齢者が高齢者を介護することが多くなる現状でもっと高齢者が楽に生活できる施設が必要。現状はタライ回しのようだ
ボランティア活動をしたいけどどんな仕事があるかわからないし、だれでも入りやすいボランティアを考えて欲しい
老人福祉センターのリニューアル等の情報があまり認知されていないと感じました。もっと地域の方、市民の方に知ってもらえるよう広報等だけでなく他の媒体を使って広めて欲しいと思います。
独居老人にたいする取り組みがあればよい。自ら出ていくのは、結局元気なやる気のある人となる。訪問地域密着で何かないだろうか・・・
場所を提供してもそこまでどうれば行くのか(連れて行くのか)が問題だと思います
どこにどの様な高齢者が居るか地域ごとに把握出来る体制があるといいです。
重要度は、目の前にある高齢者問題も含め大いに必要と思う。具体的に考えると難しいですが、上記の取組は一部の人の気がする
高齢者と子どもが交流できる場所も需要があると考えています。
高齢者の中にも何かしたいと思っている方がたくさんいると思います。その出てくるきっかけをどのように進めたらよいか工夫してほしい
どの取組みも知らなかった。元気な高齢者の方はたくさんいると思うのでボランティア活動などもっと盛り上がればいいと思う。ボランティアだけでなく高齢になっても働けるような取組みがしっかり整っていると将来の不安が減ると思う。
一人ぐらしの人とか認知症の人の見守りにどの程度かわかっていいのかわかりにくい時があります。
介護予防を中心としたサロンや地域包括事業に力を入れてほしい
オレンジカフェの日をもっと増やしてほしい。予定のある日しかオレンジカフェには、行けないですね
いきいきサポートセンターが近鉄新田辺駅前なのか理由が判らない。高齢者(体調含め)の存在をどう把握していますか
これらの事業が市内すみずみまで知れ渡り、利用が増えるようにして下さい。利用すべき人が知らずに暮らすことのないようにして下さい
京田辺誌で PR すれば終わりになっていないませんか。高齢者はインターネットをやっている人は少ないですよ。HP も見ないと思います。
障がい者への対応をもっとしたほうが良いと思う(お金の援助など)
高齢者等が経済的に安心出来る市独自の保険、基金積立等の制度
一人暮らしの老人が増えています。食事、話し合える場が身近にあればいいのにボランティアで食事会(昼食)の世話人等集め、月 2～3 回からでも始めてはどうでしょうか
相談事業にしても、平日のみでは、利用したい人に不公平感ある
オレンジルームで高齢者が参加出来るプログラムを増やしてほしい
就職場がなければ障がい者は自立できません。働く場所を多く作る事が大事です。経営者の理解が必要です。月 2 万～4 万の収入では自立できません
認知症や介護で、お世話をする人に対して、何かもっと支援が欲しいところです。高齢者を大切にという気持ちは大切ですが、わがままや威丈高な高齢者も多い。中間世代をもっと支援する施策が欲しい。
今回(高齢一人暮らしで、膝が立てなくなり、外に出れない状態を経験。)の時、民生委員さんから介護認定に 1 ヶ月かかり、ヘルパーさんやベッド、補助杖、入浴補助具など、必要な時にすぐにサポートして頂ける体制があったらとつくづく思いました。(1 ヶ月かかるときいて申請を断念。そこまで自力で生きのびねばならないと本当に苦労した。)1 ヶ月して、お電話でお聞きして、現在申請中です。今は、いろいろ相談にのって頂いています。又シルバーホンというか、緊急時に現在では心臓病とか持病のある人に限られているようですが、1人暮らしの人も対象を広げてほしいです。
年々高齢者が増えるので市役所から遠い所には大変なので「市役所〇〇支所」を創設してはどうでしょうか
障害者と積極的に支援し、就労の場を設けているお店や会社があれば市報などで紹介して欲しい
サポーター、ボランティアの知識向上のために講習を望む(負担にならない程度で)
精神疾患(統合失調症など)の方への相談・援助の場もお願いします。(家族が気づいていても受診をできないままで悪化するケースあり)
山間地域の高齢者の交通手段の確保が大きな課題です。福祉バス等の事業が必要と考えます
認知症は、本人が自覚して自覚して行動する人は少ないと思われます。身近に居る人が、本人とためらいなく行ける場所はまだまだだと思います。高齢者向けを押しつつのサポートで色々な高齢の人達が利用できたらと思います
高齢者用の施設の拡充により注力してほしい。(民間の老人福祉施設会社を誘致したり税金負担を軽くするなど)
知らないことばかり何となく聞いたことがあるものもありますが老人福祉センター常磐苑等どうゆう人が利用出来るのかどうしたら利用出来るのか、お風呂に入りに行くとか言うのは聞いたことはあるがあの中へ入ることすら出来ない感じ。もっとわかりやすく広報等一面を使って写真等中の事がもっと良くわかるように雰囲気わかる様に。以前バスを乗りまちがえてその間に止まった時がありますが外から見ても何もわからない行きたいような感じではなかった
高齢者の方にも、見合った手合いを支給して、どんどん活やくしていただきたい。新しいことばかりでなく、老人福祉センターリニューアルのように今あるものをよりよくしていくなり、本当に必要なところに手がけていただきたい

施策4:安心して子どもを生み育てられる環境づくり

- 留守家庭児童会の対象を小学校 6 年生まで拡大し、老朽化した施設を新築・改修しました。
- 共働き世帯の子育てを支援するため、新たに市北部でも病児保育サービスを始めました。
- 子どもの通院医療費の助成対象年齢を中学生まで拡大しました。
- 多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、地域商品券の配布や第 3 子以降の保育無償化などを実施しました。
- 三山木保育所を新築移転し保育定員を拡大するとともに、地域子育て支援センターを併設しました。
- 幼保連携を進めるとともに高まる保育ニーズに対応するため、田辺東幼稚園内に河原保育所の分園を設置したほか、私立松井ヶ丘保育園の分園の移転を支援しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	5
40 歳代	4	5
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	5
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	5
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	5
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	5
田辺地域	4	4
草内地域	4	5
三山木地域	4	5
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

施策4「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」に対する主な意見
保育所が不足しているようだ。子育てのためにもっと充実すべきである。保育者の育成を無償で実施し、女性の職場を広げれば活性化につながる
留守家庭児童会は長期休暇中以外は高学年は必要ない。長期休暇中に通うためだけに高学年が籍を置いていると本当に普段から留守家庭で通いたい低学年が待機になり本来の目的を果たしていない
子供3子以降の保育料無償化などとてもない。それなら全員無償化した方が良い。不公平である。
問題なく保育園に入れるようにして下さい。延長保育、夜間保育なども充実してもらいたい。働きたいのに働けない
公民館を児童館のように放課後のあそび場として使えないか。小学生の交流の場として。
病児保育施設は、まだまだ少ないと感じています。定員数も限られているので、利用したくてもなかなか出来ないのが事情です。
定員数が圧倒的に不足しているように思います。長期的視点に立つと止むを得ない部分もあるかも知れませんが人口増加を特に若年層を増やす施策としては避けては通れない課題とおもいます。
子育ての街と言っている割には待機児童がたくさんいてとても心配。住宅もどんどん増えているのに見通しが甘いのではないかと。思う。医療費の助成は本当に助かっています。
保育士さんが不足しているそうで、保育園にはいれなかった人の話もききました。又、延長保育の仕事もたいへん忙しいとも聴きました幼・保で働く人たちの待遇をもっと良くしないと保育内容が悪くなると思います
大阪、京都、奈良からの通勤圏というすばらしい立地なので働く子育て世代が引越してきたくなるような政策とその周知をすすめてほしい。病児保育の拡充を。商品券のバラまきはいらないと思う。
通学路に「こども 110 番の家」がありますが機能してない家があります。(病気で入院、転宅等)毎年 4 月にチェックの必要があると思います。
第2子の保育料が、半額になる場合とならない場合があるのがふに落ちない。なぜ年が離れた第2子は半額にならないのか。長い目で見たら負担大きい
子育てに関しては京田辺市は手厚いと思う(京都市内在住の娘家族に比べて)
京田辺市の将来は、子供達と共に有るとい事は誰もが理解している事。子供達を産んで安心して(働く又子育てが出来る)生活できる環境は最重要と思う。人口増加にもつながっている。(移住者が多くなる)
他市の住民で子供の医療費は診療時間外でも同額だからわざわざ診療時間外に受診する人がいた。時間外は少し受診費負担料金が上がってもいいと思う。
子育て世代のみ優遇されないよう全ての世代をターゲットにした施策が重要ではないか？
働きながら子育てがあたり前となってきたので、両立できる施設の拡充は大事。他の自治体との差別化
留守家庭児童の対象を拡大したのは、とても良いと思います。小学生高学年といってもまだ小学生ですから、保護者としてはまだまだ心配です
必要な事であるとは思いますが不公平感がある。地域商品券は多子世帯の為とは思わなかった
子供の通院医療費は本当に助かっています。18才迄にするなど更なる拡大お願いします
保育士の資格がなくてもできる仕事を一般に募集できないでしょうか？保育士さんの労働を軽減できれば、希望者も増えるのではないかと思います。簡単ではないでしょうが、保育環境はもっと整えていただけたら働きながら子育てがしやすく、市も発展していけると思います
留守家庭児童会は学年拡大されて良かったが、指導体制が整っていないように感じる。高学年の生意気な態度が下級生に影響して環境は良くない。クラス分けを工夫してほしいと願う。子育て世代の支援は住民の確保に直結するので注力してほしい。
ひとり親子育てについて保育所入所についてなどの相談できる所があればありがたいと思います。
大住児童館ですが、小学生と未就学が一緒に遊べないので困っています。小4と年中なのですが、別の場所で遊ばないといけなし、同じ遊びも禁止。いつ行ってもかわりばえがなく、せつかくの建物がもったいない。舞鶴出身で舞鶴に「あそびあむ」という施設があります。市外の人でも入場可で年齢制限もなく、中の遊びもいろいろ変わるので、いつ行っても飽きない。子どもも大好きです。そういう施設がないので、もう少し考えてほしい
保育園を増やすのではなく、こどもを家庭で育てている人たちを支援すべきなのではないでしょうか。3歳にも満たないこどもを保育園にあずけるということが、どういことなのか考えるべきです。
「子供の通院医療費の・・・」により、予防のために薬をもらいにいく人や、大した病気でもない人が病院に行き、本当の患者さんが困るケースがあると聞いたことがある
保育所に通っている子がすべて本当に保育が必要な人なのかきちんと調査してください。入所した者勝ちになっていると思います
旧村や山間地域の子育てで環境の整備を行なわないと市街地との格差が広がりが高齢化が進む一方です。スクールバス、公共交通などの確保が急務です
数年前に比べると今の子育て世代は住みやすくなったと思いますが、小さい子どもさんのいる家庭が急激に増えるスピードについていけないと思う。数年の一時的なものかもしれませんが、今が大事なのでもっと拡大すべきだと思う
共働き世帯及びシングルマザーの支援体制を拡大
大きな園を開設よりも空き家を利用できる方法を当てはめる方が合理的ではないかと思う
公的な支援だけでなく民間と共に取り組み、利益と雇用も生み出すビジネスモデルを率先すべき街だと思う。新しい取組みに期待
子供医療費助成等は大変助かると思いますが。留守家庭児童会施設、三山木保育所の新築、地域子育て支援センター等色々されている様ですがどれも自分達の所から近い人は良いが自分の住んでいる近くにはどれも無い
京田辺は、子育てがしやすい環境にあると感じるが、産じよく期のサポートが全く無く、八幡や枚方などには行政サポートがとれている市がある
子供が利用できる日曜日にふれあいセンターが閉まっているので、日曜日を開けるべきだ。誰のための施設なのかわからないし、意味がない。

施策5:災害に強いまちづくり

- 大規模災害時の復旧・復興活動拠点として、田辺西 IC 西側で「防災広場」の整備に着手しました。
- 耐震診断士の派遣や耐震改修工事費の助成により、建築物の耐震化を進めたほか、高齢者・障がい者などへ耐震シェルターの設置費の助成に取り組みました。
- 地域の特性や実情に応じた「地域版防災マップ」「避難所運営個別地区マニュアル」の整備を進めるとともに、避難所運営訓練や一泊体験を行い、災害時に重要となる「共助力」の強化に取り組みました。
- 消防車両の更新と装備の充実を進めるとともに、消防団員の確保に努め、消防力を強化しました。
- 消火栓が使えない場合を想定した「耐震性防火水槽」を計画的に設置しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	5
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	5

施策5「災害に強いまちづくり」に対する主な意見
地域の実情に合った防災をこれからも取り組んで行って下さい。共助力の強化をどうすればいいか(訓練への参加呼びかけ)
シェルターの助成は知らない人が多いのでは。もっと広報した方が良いでしょう。
「共助力」近所の助け合いが大切だと認識を皆に知らせてほしい。避難所運営訓練をもっと増やしたらどうか
防災マップは、市全域のものを作成するべきである。耐震性防火水槽がどこにあるのか分からない
自治体や各地域での住民参加の大規模な訓練があればいいのでは。
避難所や公民館の備蓄食や水が心配
避難所運営訓練一泊体験等は年に1〜2回(最低でも2回)した方が良いでしょう。(年に1回でしたら用事あったら出席出来ません。)
一時避難所にせめて、毛布の設備は必要かと思います。避難指示勧告ではなくても避難所を設立する場合、車で状況を放送しながら、市内を巡回して欲しい。自分達で行動が起こせるように。
地域ごとの防災訓練や避難所の確認をする機会を設けて欲しい。
住宅開発が広範に行われているが豪雨時の災害発生に十分対処されているか、業者任せになっていないか検証が必要。木津川堤防決壊の心配はないか。
北部地域の避難場所が遠く、少ないのが不安
最近の自然災害は経験のないレベル(熊本地震、18号台風)でこれ等の災害地を専門家、住民が視察し従来の概念を打破しないと、一般的な対策となり現況にそぐわない
災害時に使えるアプリなどを作って、電波を使わなくても、防災マップや避難所の確認ができる体制を作してほしい
地域防災マップが配られていない。広報と一緒に配布してほしい
災害の時の情報の件ですが高齢者は、スマホなどは持っていないので近辺の情報は、知る事が出来ない。広報などでアナウンスされてる様ですが室内では理解出来ない、聞こえない義務的に車で流してる様に思う。老人にわかる様な方法で知らせてほしいのと避難する時の交通がない(独居老人)
大きな災害が幸いにも起きていない(この地域)のでありがたいが日常の火災、又災害の車でのアナウンス、もう少し回数を増やしたらよいと思う。車のスピードはなるべくゆっくりと、速すぎて何をアナウンスしているのか聞きとれない事が多い
自治会役員になって避難マニュアル等の存在を知ったが、まさかの時にどれだけ現実に活用できるか不安。最小限必要な対処(各家庭、役員)と避難場所の認知だけは徹底すべきと思う
排水溝の劣化に対して適切に対応願いたい
避難所の明示(小さくて分かりにくい)
北朝鮮の暴挙に伴う有事の際の対策も検討してほしい。水害に対する避難対策
天災などから避難する場合、高齢者、障害者などの事で早急に考えるべき
松井山手地区に防災広場にもなる平地の大きな公園がほしい
「耐震性防火槽」は、どこに設置してあるのですか？広報でお知らせ済みですか？
共助力は大切だが行政が初めから自助・共助に頼るべきではない
パソコン、スマホを持たないので、災害情報など得る手段が少し不安。避難所も遠くて行けないかも
南海地震に備え、避難所である体育館の屋根、天井パネル補強を進めていただきたい
参加していないが避難所体験事業はいいと思った。地域で消火活動の練習や救急の体験をさせてもらったのがよかった
消防団員に支払う報酬の算出方法が不明瞭
防災広場が山の上では遠くて、いざというとき、なかなかたどりつけない
先日台風接近時(その時、杖をたよりにトイレに行ける状態でしたが)実際避難して下さいといわれても、一人暮らしで、この状態では避難所までいけないと思いました。このような時不安です
大規模災害に至るまで短時間に少し強い降雨で生活道路が冠水する所がある。そういった小さな事にも施策が欲しい
災害者要支援者の名簿作りが、どの地域でも始まるように協力してほしい
防災マップやマニュアルは配布されているのでしょうか？確認不足でした。まちの中に看板があれば日頃から意識できるのでは
消防団員として若い人たちが忙しい為、なり手がないのと、家にいないので、十分消防活動ができる家にいる人たちの協力を得られるような体制があればいいと思う。誰よりも早く火事場につけて下さったのに、できない事が残念
消防団員の高齢化を出来る限り低くするよう努力するとともに非常時に備えて訓練を強化すべきと考える。また、団員に対する手当も厚くする工夫
復旧、復興活動拠点が、市街中心部から離れすぎだと思います。もっと防災無線を多く配置するべき。地区に災害備蓄倉庫を作してほしい。色んな被災地で起きた。「車中泊」ができるような広場や土地を確保すべき
防災情報等市のマイク放送等もう少しわかりやすく放送して頂きたい
松井ヶ丘小が避難場所になっているが、その時点で避難場所の状況がわからない。Webカメラで見えるようにしてほしい
市民が危機管理施設を認知していない。防災意識のアピール施設が充実が必要
私も一泊体験に参加しましたが地域主体は必要であるが他の地区との連携も必要と思います。他の地区と合同での防災訓練の他、取り組みを知る機会を作ってはどうか(上の立場の方々だけでなく一般住民もまきこむ形)
原発事故時の対策、マニュアルを作ったり、勉強会なども必要だと思う
避難所運営訓練や一泊体験は非常に良いと思う。しかし、私自身、そのような取り組みをする事すら知らず、是非多くの市民が知り、体験すべきだと思う
どれも色々されているのはわかるのですが、どんなものかそれがどこなのか私がいらないだけなのか知らないことばかり。どの場所、どの様なもの地図とか写真でわかりやすく活字では、わからない市の活動は良くわからないことばかり具体的にここよくなったとか、きれいになったとか感じる事が無い

施策6: 事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備

- 府道生駒井手線(三山木駅前～同志社大学付近)や山手幹線(大住地域)に歩行者道や自転車道を整備するなど、歩行者・自転車・自動車がそれぞれ安全に通行できる環境整備を進めました。
- 田辺警察署と連携し、三山木保育所周辺や薪・健康村の住宅地域内の生活道路で、制限速度を時速 30 kmに規制する「ゾーン 30」を設定し、歩行者・自転車の安全確保に努めました。
- 犯罪抑止効果の高い防犯カメラの設置を、JR 同志社前駅・近鉄興戸駅へ拡大することで、防犯対策を強化しました。
- 特殊詐欺や悪質商法から市民の暮らしを守るため、被害防止のための啓発や注意喚起を行ったほか、消費生活センターの体制を充実し、助言やあっせんなど被害回復に向けた支援を行いました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	5
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	5
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	5
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

施策6「事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備」に対する主な意見
通報が多い地域(新田辺付近等)では、夜間を中心に、パトロール体勢をとっていただきたい
府道八幡木津線の歩行者・自転車道を進めてほしい
人の通行の少ない所に防犯カメラの設置が必要ではないか！？
地域全体なら満足なのですが、地域にかたよりのがあるので不満です
旧307号線はカーブが多く歩道も狭いので道幅を広げて欲しい
健康村ですが 30 kmゾーンというより道が狭すぎます。手原川にかかる橋も狭いし生活道路とは思えません。
これからも推進して下さい。ゾーン 30、カメラ設置は、まだまだ不足していると思います。
市に任せず地域特性もあるので自治会レベルに権限委託と予算付。住民が使い道を都度決める。(プールしておいても可)等々
府道(田辺小付近)の歩道整備で山手幹線の街頭整備と歩道にはみでたヤブの整備をしてほしい
自転車の通行のルールがなかなか守られておらず、自転車に乗っていて危険を感じることも多くあるので、啓発のための活動をこども向けにも大人向けにも行ってほしい
同志社山手の子どもの人口が急激に増えてるにもかかわらず、交通事故があっても中央バス停の交差点に信号がつかないなど。民間事業に公共事業が追いつかないことに疑問を感じます。他県某市では、新規移住者数を制限し、毎年定数を受け入れることで、人口の年齢層の偏りや急激な人口増加を防いでいると聞きました。京田辺市もむやみな人口増加に制限をかけるべきではないでしょうか
もっと民家の路地などに標識や警察の方がいてくれるといいと思う(通学時や帰り)
自転車の右側走行はほとんど見かけなくなってきました。(時々ありますけど)歩道と自転車道がある所、歩道を走る自転車が時々あります。
地域の防犯カメラ設置に助成を。自治会では限度がある。
松井ヶ丘校区でもゾーン 30 を設定してほしい。住宅内交差点での車の速度減速など、さらに工夫してほしい。
自転車道と車道の交差する所は段差が全くないようにして欲しい
防犯灯も LED 化して随分と町が明るくなって、安心感が出た。まちには外国人も増えて様変わりしている。予算が取れるようなら防犯カメラの設置を出来るだけ増やしたと思う
市道、同志社前～薪(JR 踏切)までの電柱の地中化。交通危険箇所の解消・安全化
新しい幹線道路に比べ、旧道が安全性不備箇所が多い。特に旧 307(尼ヶ池～本町～踏切)車両の速度オーバーも多い
特殊サギから、老人を守る方法を考えて下さい。注意喚起だけでは守れないと思います。何らかの条例を作るとか
道路上、横断歩道等区画線がかなり消えている箇所が多いです。更新作業を進めて下さい
山手幹線等の広い道はできてますが細い道の自転車は自動車道を走らないいけないのが、すごく怖いです。これから高齢者が増える中、車イスで外は無理な所が多いです
薪小学校前の道路の歩道がガタガタで車道に出ないとベビーカーを押せません。整備して欲しい。危ないです。
自転車専用ゾーンをもっと整備して欲しいと同時に交通ルールだけでなく交通マナーのキャンペーンを実施して欲しい
八幡木津線に自転車道(スペース)をつくれませんか。自転車がどうしても車道を走らないといけないので危険です
「京田辺市役所東」の交差点から田辺小学校の校門までにガードレール等を設置してほしい。緑色に塗装だけではあまり意味はない気がする。(ドライバーの歩行者どちらにもメリットがあると思う)
ゾーン 30 の拡大。三山木駅付近から田辺中学校までの道路、電柱等の整備。防犯カメラの増設。(自治体独自でカメラを設置している現状の改善)交差点カメラの設置を希望します。通学路の安全対策強化を望みます。国道 24 号線を通る田辺中学校の自転車通学の生徒は、事故が心配です。子供の安全優先で、スクールバスの運行なども考えるべきだと思います
歩行者道の整備が進んだという実感がもてない。もっと広範囲で実施して欲しい
大住駅周辺は無料の駐輪場があって利用しやすいが周辺が夜は暗いのと駅員さんも居なくなると夜は安全面が不足しているように思う
山手幹線西側歩道に照明がないのはなぜでしょう。早急に設置を望みます
防犯カメラの設置など地域の防犯対策はとてありがたいです。「さと」と「すき家」の交差点から北に向いての府道の交通安全対策を強くお願いしたいです。
「防犯」を各個人が意識するような「市民防犯の日」を設定して、地域で取り組む
歩道の凹凸の修復にも取り組んでいただきたい
薪地域からJR京田辺へ向かう道路が歩行者の通れる道ではない。危険すぎる。歩道をしっかり確保すべき。併せて自転車も危険。専用道路を作してほしい
山間地域道路を中心にナラ枯れ等による事故の防止対策が必要です
狭い道路(主に古い地域内)の全ての溝にふたの設置を要望したい
地域に偏りがある。事故がおきた場所そのまま改善されていない。古いのがそのまま。歩道、信号せめて横断歩道の安全性を考えた設置を。まだまだ危ない歩道はたくさんあります。
人が増え、犯罪が増え住みにくくなったと感じる人が増えました。新しい住宅地は夜の街灯が明るいですが 1 日の民家周辺は暗いと感じます。街灯を増やすか夜だけでも防犯カメラ稼働を設置してほしい
僻地、山間部の対策。道路(公道)上に食み出る木、竹の対策を！
八幡木津線を通学路としている所があるが、非常に危険。歩道設置が困難であれば代替ルートを造るなど現実的で早期実現できるよう強く望む
京田辺も広いのに、出て来る地名が同じ様な所の地名。ここをこうしようと言うのは誰が決めているのかわかりませんが駅前等はきれいにされていますが、その他の歩道のわれ目から雑草がのび放題、街路樹の足もとにも雑草が伸び放題落ち葉だらけ、住宅内の落ち葉やゴミは近くの人が掃除しますが一斉清掃に頼りすぎではありませんか

施策7:誰もが安全・安心に移動できるまちづくり

- 生活に必要な施設が集まった利便性の高いコンパクトシティを実現するため、JR 京田辺・近鉄新田辺駅周辺で、公共施設を核とした新たな中心市街地の整備に向けて取組みを進めました。
- 誰もが安全に移動できるよう、中央図書館・中央体育館などの公共施設や近鉄新田辺駅・興戸駅などのバリアフリー化を進めるとともに、店舗のバリアフリー改修工事費に助成を行いました。
- 広い歩道を備えた南田辺三山木駅前線を開通させ、同志社山手などの住宅地から三山木幼稚園・小学校、三山木駅までのアクセスと安全性を高めました。
- 京都府南部の発展に向け、山城地域 12 市町村などが連携して北陸新幹線京都府南部ルート of 誘致活動を行い、JR 松井山手駅付近を通るルートと新幹線駅の設置が決定しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

施策7「誰もが安全・安心に移動できるまちづくり」に対する主な意見
松井山手駅付近における歩道(インターロッキング)が最悪な状況です。車いすでの通行困難です。災害弱者の方を考えてほしい。
北陸新幹線を京田辺のチャンスにするなら、新田辺・京田辺駅の近郊ではと思います。
車が無くて安心して生活できるようにバスの利便性を高めてほしい
新幹線が通るのが2〜3年後なら松井山手に駅があって便利だと言えるが20〜30年後なら必要ない。そのころ今、松井山手にたくさん住んでいる若い世代も高齢者世代となっていて今ほどこの地域に活気があるとは思えない
近鉄新田辺の踏切から東方田辺高校間の歩道工事を一日も早く着工してほしい
車に乗らない者のために利便性をもう少し考えてほしいと思います。バスの運行便数をふやすとか。駅の近くにバス停を作るとか・・・
歩道のバリアフリーが出来ていない。移動円滑化ガイドラインでは、歩道と車道の段差は 2 cm以下と示されているのに京田辺は 5 cm程度ありベビーカーは、持ち上げないと通行できない。ガイドラインの存在を知っていますか？
法人企業、ホテル等京田辺は何になりたいのか？田舎であり都心に近い住みたい街No.1を目指すべき。誘致していたら間違い。風紀治安が落ちる。
新幹線が通る事により地域の発展になると思うが、その反面、騒音等で今までの地域の雰囲気がなくなってしまうんだと思うと複雑な気持ちである。
コンパクトシティの構想と丘陵部の宅地開発は矛盾していると感じる。長期的な人口増加に結びつくかどうか心配である。
松井山手駅近くに市役所出張所がほしい
現在の中央公民館では集客人員が少ないようなので、コンサート等でもおこなえる施設の設置が必要なのでは(早急に)
市役所行のバスの便を増やしてほしい。
新幹線駅の設置が決定しましたとの事、良い事です設置出来た事でどの様なメリットがあるのですか？
山手幹線の早期開通を希望します
使用されていない土地や建物がけっこうあります。お店なども駅周辺に集中しており、土地の有効利用で住宅地の近くに店がほしいです。
新田辺駅、アルプラザ、市役所、福祉施設等を高齢車がバスポート等などを使い、バスを乗れるようにしてほしい
新幹線の駅の設置にメリットがあるとは思えない。米原のような、駅はあるけれど、止まらない。あっても利用価値のない駅になるのが目に見える
道路の路側帯が凹凸していて、バイクで走る時危険だと感じる所がある。幅がもう少し広いと安全だと思う
京田辺市が 20 年後どんな市となっていて欲しいかを明示して欲しい。市そのものは観光資源も少ないが京都、大阪、奈良に近く(1 時間以内でのアクセス)北陸新幹線も通る等から描く将来が決まってくるのでは
京阪バスの減便問題は同社の経営努力が足りない。同社に誠意がないなら市が小型バス(ホテルの送迎バスレベル)の運行を実施すべき。老人がタクシー利用を余儀なくされている。
北陸新幹線誘致よりまず生活に重要なJR松井山手〜木津間の完全複線化に注力してほしい。降雨や落雷のたびに不通になったり通勤・通学に支障ありすぎ！
市役所体育館の駐車場が満車になることが増えた。イベント・講座の時間をバッティングしないようにして欲しい。中央図書館の閉館時、車をUターンさせる場所が無く又一方通行が多く困った
取組が地域的にはずれているので広い範囲での実行を期待します
中央図書館入り口と駐車場遠く、障害者用を玄関口に設置して欲しい。
JR 松井山手駅付近を通るルート、決定した事に満足。なかなか私が京田辺市に住んでから 15 年になりますが車の乗れない人間には余り不便かなーと思います。市役所に行くにもバスが少ないのももう少し老人にはもっと気軽に行きやすくして欲しいと願います
中心が便利でも中心に行く道が危ないので、コミュニティバスや歩道の柵の設置などをしていただきたいです。既存のバスは 1 時間に 1 本で使えません。道が不便なのでコミュニティバスを導入していただきたいです。バスも少なく、陸の孤島化したコミュニティでこまっている人は多いと思います
新田辺駅付近の整備を進めてほしい。京田辺市の中心街としての機能が果たせていないと感じます
バリアフリー化は必要だと思う。利便性や経済発展については、豊かな自然を保ちながらという視点、田園風景のある京田辺での生活の豊かさとは何かを独自に考えてほしい
京田辺市役所等、公共施設に行くのに私は不便を感じます。JR 京田辺から歩いて市役所に行く道路も危険を感じます。車のない人のことも考えて欲しいと思います。バスも本数も少ない
公道や高速道路出入り口周辺等、雑草やゴミが散乱していて荒れた土地に感じる。防犯・治安上も良くない
山間地域の生活道路の整備にも目を向けて下さい。20 年後の時代にはたして新幹線が必要なのでしょう？
踏切を失くしてほしい。ベビーカー、車イスが横断中ひっかかる
大住〜松井山手の山手幹線道路が渋滞混雑することが多いので旧1号線に通じる新たな広い道路整備が必要だと思う。広い道路は100年先を考慮して整備して欲しい。車の免許を持たない高齢者の乗り合いタクシーシステムがあると良い(交通が不便な地域)。
京奈和自動車道へ三山木付近から乗り入れ出来れば駅前の交通量も緩和できるのでは。スマートインターチェンジなど検討いただきたいです
新しい宅地開発地域など、やりやすい所、国や府の助成のある所に施策が集中していないのか？旧市街地は歩道が無かったり。廃れていく傾向。再開発などがコンパクトシティには必要でないか？新しい開発は無限。市街化を広げ、難題に目を向けず新しいアイデアも生まないと考える

施策8:環境に配慮したまちづくり

- 水資源を有効利用するとともに、雨水が河川へ集中的に流入するのを抑えるため、家庭用雨水タンクの設置に助成を行いました。
- 地域温暖化を防止するため、家庭用燃料電池システム(エネファーム)の設置工事費に助成を行いました。
- 温室効果ガスや維持管理費用を削減するため、街路灯・防犯灯を長寿命で消費電力の小さい LED 照明に交換しました。
- ごみの分別区分を見直し、プラスチック容器包装などの再資源化に取り組みました。
- 環境衛生センター甘南備園焼却施設の建替えについて、環境の保全を最重要視した施設とするため、枚方市と可燃ごみ広域処理施設の整備に向けた取組みを進めました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策8「環境に配慮したまちづくり」に対する主な意見

プラスチック容器包装の回収が少ないと思います。
ごみの分別していないものは、注意書きで掲示して回収しないでください
街路灯が切れている所や街路灯すらない所がたくさんあるのでもっとチェックして欲しい。
ごみの分別がわかりにくく持ち帰りしていただかない理由がよくわからないものがあります。分別して出していますが本当にしっかりリサイクルされてるのでしょうか。もっと分別が良くわかる表を作成して頂ければ有りがたいのですが可燃物に金具がついたものとか色々あります。年をとると分別が良くわからなくてストレスになります。
エネファームのことなど、あまり知らないのもっと情報が知らせれるといい。プラスチック分別はしんどい。高齢化してゆく中もっと簡単な捨て方にしてほしい。粗大ごみも無料がうれしかったので残念だ
街灯等のLED化は大変良好だと思えます。家庭用雨水タンクについては認識が不足してます。
プラスチック容器包装などを分別して本当に再資源化ができていますか？具体的なことがわからないまま、手間だけが増えているようで
雨水タンク～助成について説明してほしい。プラスチックゴミ週一回回収はよかった。枚方との広域処理よかった
枚方市との可燃ごみ施設は不必要だと思います。もっと他に予算を使う場があります。良く考えてほしい
ペットボトル、カンの収集が月1回では間に合わない。他の市では、カン、びん、ペットボトルをまとめて週1回収集している所もあるので検討していただきたいです。
埋め立ゴミについてですが、割れた皿など、2ヶ月に1度しか捨てられないが、子供もいる家では2ヶ月もゴミを置いておくのは危ない。ケガにつながる場合もある
生ごみを堆肥化する(庭のある人) 容器の補助？
家庭用雨水タンクの設置助成不要(設置率はどれくらい)狭小地区では不可。有効性がよく理解出来ない
家庭用雨水タンクは不要。本体費及設置工事費の自己負担額はあまり高額。将来廃棄処分となった時の費用を考え合わせると進められない。
雨水用タンクもっと簡単につけようと思ったが費用がかかりすぎる。街路灯を増やして下さい。
ごみの分別を地域に根付かせる取組を考えて欲しい。学生が多く、あまり分別が進んでいないように感じる
ごみの分別区分は改善されてとても満足している。さらにリサイクルなどの充実をさせてほしい
ごみの収集など一部民営化。大幅な経費削減になると思うのでその分予算へ。
太陽光発電の設置件数が減っているが、これからは蓄電池の普及が増えてくるのでは。蓄電池の助成はないのか。
ゴミ分別は良いが煩雑すぎる。少しのペットボトル等は、インカワ、アルブラが助かる。ゴミ捨て場が遠いので。市役所の入口か裏に缶、プラスチック、ビン、ペットボトルを置ける場所が欲しい。(いつでも捨てられる)
街灯のLED照明、プラスチック週1回収集、誰もが身近に環境へ配慮出来る取り組み、もっと有れば協力したい
ごみの有料化は止むを得ないと思いますが、捨てるのに電話予約をしないといけないなど、やや不便を感じます
ゴミの分別でグレーなところがあり、収集の担当者によって持っていってくれたり、持っていってくれなかったりすることがある。もっと分かりやすい一覧などがほしい
甘南備園焼却炉施設の建替は人口増に対応して必要だと思います。
埋立ゴミの削減をする必要があるので、再資源化できる資源ゴミの拡大を検討して下さい。他市町村では、もっと良い収集例があります
家庭用のゴミの分別に協力していますが、以前より、環境衛生センターとして、収入源となっているのか？広報で表して欲しい。大型ゴミの有料化は、取り扱わないのがあり困る
ゴミの収集などが規制されたことで、閑散とした道路付近では不法投棄が目立つ
枚方と一緒にする事が本当にいいのかなと声が出ています。説明不足かもしれません
ゴミの分別が細分化され出すのは大変ですが、良い事だと思います
ごみの分別は、現状の報告、本当に有効に再資源化されているのか知りたい。農にもつながるバイオマスにもチャレンジしてみてもどうか。自然エネルギーなどの勉強会もあれば嬉しい
街路灯、防犯灯は、防犯上も大事なので、維持管理で良くなる形でよいと思えます
破碎・直接埋立・危険ごみの区分の細部が困難。使いすてガスボンベに穴を開けるのは高齢になると大変です(宇治市などはそのままで出して良いようです)
粗大ゴミが有料なのはいいのですが。ダンボール・古本等の持ち込みまで有料になるのは反対です。子供の教科書や参考書などゴミ置き場には出しにくいものも有ります！！
ゴミの分別がわかりにくい。スマホで写真をとるとゴミの分別がわかるとか、ゴミの名称を入れると分別種別がわかるアプリ開発
スプレーカンの穴あけがいつでも可のようにセンターに常にサポートを。プラスチックの再資源化はできているのかと思う。もっと親切な大型ゴミのとりくみ
小学生等の環境学習の充実による意識が必要と考えます。
太陽光発電を個人単位で考えるのではなく市が設置運営し、市民に安く電力供給できるようになると良い
街路灯が短時間でLEDに変わったのはよかったと思う。とても明るくなった
名古屋市在住の経験からごみの分別、リサイクルの更なる推進の必要性を感じます。資源ごみの回収回数を増やす、気軽に資源ごみを持ち込める回収ステーションを市の施設やスーパーなどに増やすことも必要と思う。枚方市のごみ受け入れにあたり、焼却施設の焼却灰の成分公開の徹底を希望します
プラ容器分別は、私どもも実施して、こんなに多くのプラ容器があるのかと苦勞と共に驚いた。この分別への取組みに喜びや実感ができたら良い循環が続けられると思う。例えば、プラ分別で再生したゴミ袋や啓発用の雑貨を作成し配布するなど・・・
紙のゴミについてはPRが不足。もっと紙ゴミとして廃棄できるものが多いのに一般ゴミとなっている

施策9: 地域農業の振興

- 京田辺玉露の魅力を国内外へ PR することで販路拡大につなげたほか、全国茶品評会での日本一獲得に向け、出品茶農家を支援しました。
- 「京都田辺茄子共同選果場」の整備を支援し、生産者の選果作業の負担を軽減することで、特産品の作付け面積の拡大につなげました。
- 「田辺なす農家養成塾」「えびいも農家養成塾」の開講を支援し、特産品の新たな担い手を育成しました。
- 農作業の効率化や農地の生産性向上を図るため、東地区で農地の排水機能を高める取組みに着手しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策9「地域農業の振興」に対する主な意見
田畑は大型化、省略化、計画生産が必要。箱庭的な小さな区割りでは、生産性は無理
なすの後継者もいないとか。もっと休耕田をやりたい人を上手く結びつけるやり方。なすのお手伝いなど出来る方法があればいいのに。
道の駅など検討。農家の支援と利用者が安価で地元産の鮮度を含めた施設を考えては？
農業は大切にし農家が廃業しないよう支援するべき。将来人間に変わってAIが活躍する世の中になりそうだが農業はAIに取って代わることが少ないと思う
小学校でも特産品の学習を行い、子供達もとても興味深く学習に取り組んでいました。もっともっと市外の方にも美しいえび芋や田辺なす、玉露を知ってもらいたいです。
特産品はまず市民に PR してほしい。地元での消費拡大を。学校給食で無理でもイベント的に小学生などに特産品を味わう体験をしてもらえれば
老舗のお茶屋はあっても京田辺に訪れた方が玉露を気軽に口にできる店が少ないと思う。駅前や観光地近くにあれば良いのに。
儲かる農業を体現出来るシステムを実現させないことには専業農家の方たちの割合が目に見えて減ってくると思います。「夢実現が可能なまち京田辺」となるよう更なる飛躍を期待したいです。
子ども達が直接「農業」と関わる機会を増やして欲しい。
京田辺の農業特産品を広く市民にアピール出来る販売所を設ける等何らかの施策を考えてはどうか。
お茶をアピールしているならスーパーとか駅あたりでPRしてほしい。京田辺市民には、伝わっていない。
市民が地産地消できるように地元産をスーパーなどで直売できるようなシステムを提案しては
えびいも、玉露素敵な物をもっとアピールしては！！(ステキだと思いますよ！！おいしい)
京田辺と聞いたら誰もがすぐ思う特産品を生み出しアピールするべき。「京田辺〇〇」が必要。「一休さん」以外、京田辺につながるイメージとなるものはないのではないか。
玉露日本一目的はいいとしても手もみ講習会に参加したいと思っても値段が高すぎると思います。道の駅の野菜もスーパーと変わらず高値では無いですか。
宇治にあるようなオシャレなお茶屋さんを作してほしい。京田辺玉露カフェ的な。若い人が興味を持つのは宇治にあるようなお店やカフェです。若い人に興味をもってもらわなければ販路拡大には、つながらないと思います。若い人向けにPRの仕方を変えてください。
数少ない名産品の PR と新規名産品の育成(研究)同志社の学生との連携(知恵を拝借)
京田辺市の特産物を直接見たり購入できる場所がほしい。スーパーの片すみに野菜を置いているのを見かけますが、もっとPRしてもいいと思います
休耕田を市民に開放して農業従事者と市民の交流を図る
これから農業がますます重要となっていくと思うのでこれ以上農地を減らさない様お願いしたいのと、使っていない所の活用。相続の時に売らなくていい様な施策
既存の農業の拡大は当然ですが、国際競争が厳しくなる現在、新たな農業の展開が必要と思います。その為の研究所や会社等の誘致が必要と思います
農業振興とともに高齢者で農業後継者のない耕作地の活用につけても具体的に検討して欲しい
農業についてはもう少しくみの PR を若い世代に発信してもいいと思います。また、どの世代でも参加できるということ(他の就農支援は年令制限がある)も PR ポイントです
市施策協力があつての農業でもあるので、京田辺市民だけでも、もっと物価をやすくしてほしい。朝市でもエビイモはすごく高い
もっと特産品の PR をすべき、お茶は宇治茶が目立っている。えびいも美味しいから宣伝すべきである
減農薬などで「安全」という視点も欲しい
玉露の町京田辺なのに予算との兼ね合いもあるかと思うが、公共の場で設置や研修の場が出るまづいお茶は何なのかと思う。せめて安くてもお煎茶くらいは出せないのですか
お茶、ナス、エビイモを生産する人のみへの支援でなく地元住民にも成果物が気軽に購入出来るようにしてほしい
京田辺の玉露は外部へ誇れるもの。野菜等についても消費地に近い地の利を生かした都市型農業を期待
京田辺の玉露の認知度は低いと思う。結果が伴っていない(やったつもりをアピールしているだけなのでは…)
茄子、お茶など魅力商品はあるけど、ふるさと納税品を見てももう少し、インパクトある物に出来ないかと思います
後継者対策、耕作放棄地対策が重要と考えます。鳥獣対策は中山間地の喫緊の課題です。地元特産品の購入が促進される様な取組みが必要と考えます
京田辺はお茶、茄子、筍も有名ですが、道の駅を作ってもっとだいたいの発表してほしい
まだまだ農業に対しての PR が少なすぎるのでは、ホテルなどの外食産業とのタイアップなどどんどん進めてほしいです
農業従事者が高齢化し、農業のできない家庭が増えている。今後も更に増えると考えられる為農業の新たな(市としての)システムを考えて欲しい。荒れた土地や竹やぶを見るにつけ思う
本当に全ての農業者へ助成出来ているのか？本当に偏りが無い助成に関しては新規者に対してもより重要ではないか
伝統野菜、お茶などの特産品を通じて地域農業の振興を図ることは非常に重要だと思う。同時に都市部から移住してきた為、農薬使用量の多さに驚いている。無農薬野菜でより差別化を図ることも、自然農の就農者の誘致や支援も行ってほしい
まったく新しい取り組みがない。玉露の面積も増えていない。農地の土質改良や山林や竹林を活用した特産品開発、育成を！
農産物の生産者では対応困難な6次産業化を支援(マーケティング、アドバイス)する組織を設け、各分野(商業、工業)と連携しないと農業だけで振興するには、伸長率にとばしい
耕作放棄地の情報案内。利用あつせん。古民家紹介 etc

施策10:商工業の振興によるにぎわいと活力の創出

- 甘南備山の散策を安心して楽しめるよう、環境に配慮したバイオトイレの整備を支援しました。
- 近鉄新田辺駅構内に「駅ナカ案内所」を開設し、行政・観光・特産品などの情報発信を始めました。
- 「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」や「お茶の京都」など、市の新たな魅力を生かし、観光振興と市内消費の拡大を図りました。
- 市内企業の紹介サイト「KyotaNavi」をリニューアルし、市内企業の魅力や特徴、求人情報などを掲載することで、企業活動の活性化に取り組みました。
- 市内の中小企業と共に「京田辺中小企業売込み隊」を結成し、全国的な展示会に参加するなど販路拡大を行いました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	3	4
農業	3	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策10「商工業の振興によるにぎわいと活力の創出」に対する主な意見
観光名所づくりを積極的に取り組んでほしい。特に新幹線誘致達成後の今の活動が重要だと思います。
ツアー・オブ・ジャパンで京田辺市をアピールして欲しい
観光のアピールが少ない。サイトの内容が少なすぎる。もっと企業紹介でも件数を増やすようにして欲しい。
買い物をする大型ショッピングセンターや宿泊施設の必要性を感じる。買い物は市内ではなく魅力のある市外へ行ってしまふ(仕方なく)。あまり市民が積極的にお金をつかう店や施設がないのか残念に思ってます。京田辺=〇〇という名産や手土産に悩む
同志社大学、同志社女子大学があるので、学生が集う商業施設があれば更なる街の発展が見込めるのではないかな。
同志社学生をもっと活用してほしい。高低差のある市なので新田辺はほぼ行かない人も多い。松井山手駅にサテライト役所を設けてセカンド(予備)機能を持たせるべき
この質問で始めて事業を知りました。もっともっと宣伝含め広めてほしいです。「駅ナカ案内所」で時々漬物を買います。ここは中途半端な気がする。
ふるさと納税の京田辺の品の魅力が全くない。
大阪では、いまだに京田辺市の名前を「同志社のある」と説明枕言葉が要ります。もっともっと玉露、ツアーオブジャパン、ハンドボールで宣伝して下さい
財政力増強のため、企業団地の開発誘致を推進してはどうか。第2名神、新幹線の展開を積極的に活性化策を期待する
たくさん史跡があるのだからもっと紹介して、気軽に散策、見学出来るようにしてほしい
当市は観光都市ではない。発信できる観光資源は一切なし。観光振興に税を使うは、ムダづかい。
市内企業の取り組みをもっと公開し、市内の求人情報も増やして欲しい。
京田辺にお越しになる人の為に、宿泊施設があればと心より思います。飯岡の舟公園の側(中)にトイレを設置して欲しい。(サイクリングをする人が助かりますよ)
国宝等のある寺社があるので、発進力が全く弱い。もっともっと力を入れる必要あり。人口 7 万近いのに宿泊施設がひとつもない町、全国にありますか？
ネットを活用し、京田辺を売り出すこと。外国人旅行者に認知してもらい来てもらおうべくアピールし受入体制を整えるべき。一休寺はすぐに使える。英語、中国語等で対応が必要。
京田辺市の魅力を伝える施設を大きく一つでいいので作った方がよい。新田辺や京田辺駅前に。そこに玉露の販売、特産物の販売、カフェの併設をしたら、もっと京田辺をPRできて賑わいが出ると思う
もっと「京田辺のおみやげと言ったらこれ」と言うようなものがあればいいと思う
散策コースの内木津川沿いに簡易トイレの設置をして頂ければと思います。
市内、地域よりかなり、life・style に差があると感じるが、いずれにしても魅力的な商業地、観光地があるとは言いがたい
ツアーオブジャパンの知名度を高めてもよいのでは・・・
「玉露」「一休」「ツアーオブジャパン」の発信力を強化すべきである
TOJ 京都ステージは、全国、世界規模でわが街をアピールできる場です。ぜひこれからも続けていただきたいです。スタート地点がわが街であることを誇りに思います
駅ナカ案内所は、常なる情報発信だとしたら、場所代や人件費のムダ。ツアーオブジャパンも、その行事にお金をかける意義は？他にかけるべきものがあるのでは？
自転車レースは観戦が無料なので、チケット収入が見込めないが人は呼べる。アピールをもっとすべき
公衆トイレと公園が少ないため、散策やウォーキングを安心して楽しめない
税金を多少安くしてでも(地方)企業誘致、観光も何か特徴のある物を作り(植物等)売り出す方向で考えて行く
新田辺駅東側の商店街の有効活用にもう少し取り組んで頂ければ地域活性化につながると思います
ツアーオブジャパンについては疑問点あり。交通面・区又は区長の負担の発生ボランティアの件など
観光にさほど魅力ある都市とは思えない。あれもこれもと広げなくてよいと思います
観光は一休寺くらいだと思っている。ツアーオブジャパンは宣伝不足のためか盛り上がり欠けていた
甘南備山散策はしたことがないのでちょっと気になります。京田辺市は観光を推進するには、観光資源的にも地理的にもしんどいと思うので無理がない程度でお願いします
Wi-Fi 設備を充実させたらどうか？インバウンド客に対応できる施設や案内方法。京都⇄奈良の観光での中間点としての魅力をアピール出来ないか？
TOJ 多くの人が見にくるのにコース沿いなど整備がされていない。全世界に映るので、その前に、草刈りをするとかして見映えよくしてほしい。また、自転車の聖地にするべく、もう少し休けスポットや看板があってもよいのと思う
市の特産品を販売している普賢寺の道の駅をもう少し市として整備できないのか？
駅ナカ案内所など公募で事業者を選定してみるのもよいのでは
甘南備山登山口の駐車場まで車で行きにくいので気軽に散策できない。市の HP をもう少し見やすくしてほしい
新田辺にあるアルブラを城陽のアルブラのように専門店を増やし、購入意欲が増す店舗を増やしてほしい。
色々な事を考えてされているとは思いますが京田辺に住む物がすべてこの地で働いているのではなく地域の外で働いている人の方が多いと思います。一部の企業だけに偏らない支援をお願いします
甘南備山のバイオトイレのみ素晴らしい取組だと思う。市のモラルが誇れる場所になったと思う
駅前などで定期マルシェの開催など

施策11:地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大

- 大住工業専用地域拡大事業の実現に向け支援を行ったほか、新名神高速道路の開通インパクトを生かし、八幡京田辺 JCT・IC 近接地に世界展開する大手物流企業を誘致しました。
- 市内での起業を促進するため、同志社大学と連携した起業家育成施設「D-egg」を巢立つ起業家に対し助成を行いました。
- 同志社大学の研究成果と研究成果の事業化に意欲的な企業を結びつけるため、産学連携コーディネーターを配置して企業訪問や技術相談を行いました。
- 競争力の高い企業を増やすため、中小企業の新製品開発や特許権・商標権など産業財産権の取得に支援を行いました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	3	4

(施策 11:地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大)

施策11「地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大」に対する主な意見
企業が入る事で雇用が増えると良いと思います。
京田辺に産業が少ない。ベッドタウンで人口が今はそこそこ維持できているがそのうち今のままでは市は廃れるだけだと思う
地域住人雇用を促進してほしい
同大との連携大いに進めて下さい。D-egg 支援など
事業用地が少ないように思う
同志社大学と協力して地元企業と共同で研究等は出来ないのか
去年から職人の募集をハローワーク、広告など出ていますが、全く応募がありません。(車の板金職人です)田辺に限らず職人がいません。新しい産業も良いですが職人を育てるのに助成金などあれば助かります。即戦力を求めているのに新人来ても給料出ません。仕事あるのに職人いなくて工場閉めそうです。
何が変化したか実感が無い
D-egg も他の市、他の県と同等かそれ以下。するなら抜きん出て若者のベンチャーおこすなら京田辺！！となるくらいに！！全てにまんべんなくは不要。勝負かけてほしい。
地域経済を活性化させるためには、大企業を誘致する事は重要だと思いますが、それに伴い周辺道路の渋滞がひどすぎます。自宅へ帰るために通りたい道が店舗利用者の車利用のおかげで5分で帰れるところ、30分以上かかることもあります。
京田辺は大手企業も多く、地域密着の中小企業も多くみられるように思います。同志社大が近いという地の利を生かした産業共同プロジェクト etc で中小企業にも活気が与えられ両者が共存できれば商業、工業面でも素晴らしい町になるかと存じます。
上記の取り組みについての結果を公開して欲しい。
何をしているかわからない。最つと皆にわかるようにして欲しい
企業誘致し税収が増えるようなら住民税で還元するべき
大企業が京田辺に来てくれたら人口が増えお店が増えるので誘致は引き続き行ってほしい
施策分野についてはあまり知らなかったのが今日知れてよかったです。D-egg のことも今日知りました
学研都市機能は精華町にだいぶ劣っている
京田辺は産業のマチではなく文化のマチをみざす方がよい。安心で住みよいマチでよい。
取りくまれている内容は一部関係者にとどまり市民に知られていないように思う
D-egg を通る際見かけるが何をしているのか通っただけでは不明。同志社大学で催し物があつて行きたいと思ってもあの坂は歩くのが困難
助成より減税が効果ありと思う
大学との共同で市民に利益還元できるような取組をもっと増やしてほしい
場所柄、もっと企業誘致出来る気がする
八幡、城陽(隣の枚方も含め)と比較して、インパクトが足りない。特に城陽に負けないよう「五里五里の街」のようなキャッチコピーを!!「一休さんの街」では?もの足りない
大住工業専用地域に大企業誘致で法人税の面も考慮し雇用を拡大して行く。京田辺市出身の起業家を育てる。資金の援助をする。地産地消を徹底する
起業家育成施設「D-egg」をもっとアピールして欲しい。市内にある企業に新卒大学生が就職するようになると嬉しい
京田辺、城陽は関西の物流の中心地になる可能性がある。大手、デベロッパーと組むなりし更なる開発を期待する。城陽のJPのしせつを誘致して欲しい
地元での雇用拡大を期待しています。必ずしも大都会へ通勤する必要はないと考えています。わが街で仕事ができればすばらしいと思います。やりがいもあるし通勤時間のムダも減ります
プロロジスにより就業拠点が增多することは良いことです。しかし城陽市に郵政関西物流拠点、大型ショッピングモールに負けています。もっと誘致を
求人、給料がもっと増えてほしい
市の財源は、税収ですので、会社が設立しやすくなるのも重要だと思います
助成や支援を行った結果はあったのでしょうか?データがないので評価しづらいです。
大企業の誘致や大きな大学と結びつけたものではなく、多様な小さな芽を育てていく支援により力を入れて欲しい
企業誘致は、環境悪化につながらなければ、とても大事なことだと思います。同志社大学がせっかくあるので連携は良いと思います
新産業の目玉的な京田辺ブランド企業を育成すべきである
住宅地と工業地域の相互理解は必要。大阪へ出かけた際はいつも土地利用区分がうまく出来ている我が町の良さを再認識して帰ります
松井山手駅周辺地域の利便性向上が必要
産業創出により、地元で働ける場所を増す街づくりは需要と考えます
求人情報について様々なニーズに応じてほしい。事業所へ働きかけてほしい。(主婦層、短時間、軽作業)
いろいろな企業ができることで幹線道路が混雑し(土・日)住民にとっては迷惑
京田辺市を単なる京都、大阪のベッドタウン、ありふれた地方の工業地ではなく、より魅力ある個性的な地にするには、同志社大学と様々な形での連携を模索して欲しい
同志社大は市域の大学として当然つながりを強くすべきだが「新産業創造」であれば学研都市との具体的・実践的連携を加えるべき

施策12:豊かな自然の保全と緑の再生

- 児童遊具・健康遊具や芝生広場のほか、救護テントやかまどベンチなど、防災拠点としての機能も備えた防賀川公園(東側)を整備しました。
- 水辺の豊かな自然の中で四季の移ろいを感じながら散策を楽しめるよう、市内の水辺で散策路を順次整備するとともに、ルートマップの作成にも取り組みました。
- 松井山手地区から北部住民センターなどを結ぶ遊歩道の整備に着手しました。
- さまざまな人が集い交流できるよう、市中心部の京都府農業総合研究所の跡地を活用し、緑をテーマとした体験型の農業公園の整備に向けて取組みを進めました。
- 誕生記念樹の贈呈や、市民記念植樹祭・緑化まつりの開催などにより、まちの緑化を進めました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策12「豊かな自然の保全と緑の再生」に対する主な意見

防災拠点としての設備機能のある公園は、もっと充実したものをたくさん整備してほしい。
松井山手地区はどんどん山が切り開かれて住宅地になっていくので公園等はあるが人工的な自然で少し息苦しく感じる
公園設置の児童遊具も良いですが、大人が運動出来る遊具も設置してはどうですか？
体験型農業公園～もっとPRして下さい。子どもに農業を体験できる場をふやしてやって下さい
街路樹の整備、剪定にもう少し気を配って欲しい。山手幹線とかにきれいに並んでいると街として魅力的
手原川の水辺の散策路はあまりのなにも無さ。短さにおどろきました。あの道にわざわざ誰も来ないと思います。防賀川は遠くて行ったことありません。大住には意味ない。
防賀川公園と川の西側の広場で子供を遊ばせるが、行き来がしにくい。子供は川の石を渡りたがるがベビーカーや荷物をたくさんかかえているとわざわざ 307 号線まで行き回らないといけないうのが大変、危険、通行量が多いので歩道を歩いていても怖い。何か対策していただけたらうれしい。
小学校高学年や中高生が遊べるキャッチボールや壁打ちが出来る場所が校区に 1 ヶ所あればいいです。
アスレチックなど大型遊具がほしい。小さな公園細々・・・ではなく。
妻より「京田辺は公園が多いが、整備された公園は少ない(夏場、雑草だらけ etc)」という話が出たことがございます。安心して遊べる公園が増えれば喜ばしいです。
花見山公園もきれいにしてほしい。枚方の東部公園のような広いしばふの公園も作ってほしい
公園、緑地の整備にお金がかかると思います。(業者はより安く市の活性化になる)一般からボランティアを募集して、京田辺で使える商品券等を渡したらどうでしょう
さくらが馬坂川のところがきれいなものをもっと何かできないか？アピール、人を集めるために何かできないか？
新しく、散策路、公園など造るのもよいですが、昔からある土手や池や川などを残しつつ、整備されることも望みます。(自然のままの自然。里山)
広々とした、緑地公園(だれもが行きたくなるような)があれば良い。うちの近所の公園は、ほとんど人の姿が見えない。公園としての魅力が無い。
トイレのある公園を増やして欲しい
誕生記念樹を植えさせてもらったのですが、枯れたような感じで後のお世話は無いのですか
市内各地へ遊歩道を整備して頂き、地域の方々、ハイキングの方々や気軽に話合えるようになり感謝しています。ひとつだけ手原川沿いの堤防の草と桜の木に毛虫がびっくりするほど発生していますので駆除をお願いします。
もっと記念樹の活動を増やすべき。公園の整備を希望したい。雑草、取り数も増やして欲しい
幼い子を連れて行く公園には、Pを整備してほしい
京田辺市は一級河川の本津川が流れています。堤防があります。川を眺めながら食事が出来るレストランは如何でしょうか
防賀川公園のような設備を各自治公園レベルで拡大して欲しいです
散策路や公園(全てでなくていいが)は、もっと、もとの自然を継続されるものであって欲しい。例えば天井川周辺の開発。もっと自然にそったやり方をお願いしたい
植木の剪定作業は必要だが、蕾みの段階で剪定してしまうのは、おかしい。それなら花をさかさない。剪定時期の見直しが必要
防賀川公園を整備してくれてよかった。竜王こどもの国も、もう少し整備してほしい
施設の整備よりも後の維持管理が大変だが、市は管理面ではよく努力されていると感じている
公園の整備も重要ですが京田辺市としての総合運動場が他市に比べて、おとついていると思います。
誕生記念樹の植樹は良いと思うが後の管理が悪いため景観を悪くしているところもみられる(防賀川周辺)
水辺の散策路よりも川の中(手原川等)をきれいにしてほしいです
馬坂川の遊歩道と本津川つつみ緑地(つつみ公園)の雑草がのびぼうだいで園内の遊歩道が通れない常態です。草刈りの回数を増やしてほしい
かまどベンチなどは、実際に試しに利用する機会があった方がよい。
緑の多い街に満足しています。当市街路樹は管理しなければその美しさもお荷物となります。竹の侵入防止にも努めていただき「緑豊かな街京田辺」の維持を
公園に日よけの屋根などがあると暑い夏でも休けい時に良いと思います
同志社から山手の自動車道は、同志社から市役所くらいまでで街路樹がおわっている。そこから大住まで街路樹がない
どの公園に行っても同じような遊具しかない。もっとバリエーションゆたかにしてほしい
引っ越してきた時に家の近くの公園が汚れておどろきました。ごっそうやタバコの吸いがら等、子どもを遊ばせるのに、もう少し整備して欲しいと思います。隣の市の公園は、その時とてもきれいでした。
南部にも大規模な公園や散策路が欲しい
サイクリング、ウォーキング、ランニングがより快適に出来るよう、環境保全と道路の清掃を行ってほしい。新たに人口的に整備するのでなく今ある自然をもっと大切にしてほしい。児童公園が少なく困っています。住宅地の開発の時に不動産ディベロッパーが造成した猫の額のような、手入れの行き届いていない公園が無数に点在していても意味がないのでは
近隣の町にはないような公園を作り、他の町からも遊びにきたくなるような公園作りをしてほしい
「農業公園の整備」は知らない施策だが、行政の視点だけでなく、市民(住民や利用者目線)の意見も広く聴き良いものにして欲しい
京田辺市役所に行くバスの中からスケートボードをする所があるのを始めて見ました。1 人の人がスケートボードをされているので始めてわかりました。しかし先日最近では少なくなりましたが近鉄新田辺の駅前ですでにされている方がいました。夜だったのでスケートボードをする所が出来ているのになぜ？そこはいつでも使えるのですか。何時～とか制限があるのでしょうか。私はあることすら知りませんでした

施策13:心豊かな子どもを育てる教育の推進

- 市立幼稚園で預かり保育時間を6時まで延長し、夏休みなどの長期休暇中も実施しました。
- 安全・快適な学習環境を提供するため、小・中学校で耐震補強工事と空調設備の設置を完了しました。
- 児童数が増加する三山木小学校で、新校舎の増築工事などを行いました。
- 小・中学校で「英語教育」「体力アップ」「読書活動推進」などテーマに沿ったモデル校を指定し、先進的な教育を実践するとともに成果を全校へ広げるで、子どもの学力・体力の向上を図りました。
- 地域産業への理解を深め、特産の玉露に親しんでもらうため、小学校でお茶の淹れ方や水出し玉露を味わう機会を設けるなど、「お茶育」を推進しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20歳代	4	4
30歳代	4	5
40歳代	4	4
50歳代	4	4
60歳代	4	4
70歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	5
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

施策13「心豊かな子どもを育てる教育の推進」に対する主な意見
全ての市立幼稚園でも耐震と空調設備を設置して欲しい。
預かり保育の延長は働く親にとってとてもありがたい。ただ延長でない預かりの定員を増やしてほしい(人数が多いと抽選になり落選する場合があります)預かり保育を利用できない時がある)
英語教育は現実には外国人の先生がよく替る。時間数も少ない。
小・中学校が児童・生徒数の多いところになく通学にかなり時間がかかる上、中学校の給食が実施されていないので、保護者の負担が大きい。保育園の待機児童数が多すぎる
他の学校でもしている様なお茶でうがいやをさせるとか蛇口からお茶が出る様にするのもおもしろい。
老人ホームや企業訪問等、体験学習的なものが、積極的に何度もあればよい
核家族が多いと思うので年配者や乳幼児との交流も学習して取り入れてもらいたい
こども園に移行する園が増えているが京田辺市の1号の保育料が高い。周辺の市と同等の額に引き下げをお願いしたい。公立幼稚園の充実っぷりは理解しており、市として公立を推したいのもわかりますが各家庭の事情もあり私立を選択する際にこども園も選択肢に入れられるとありがたい
幼稚園、小学校が古くて汚すぎる。幼稚園で預かりはあるものの、親参加の行事が多く、思うように働けない。
子供の住む地域が集中し、松井山手周辺では、小学校、中学校までの距離がかなり長い子もいるよう。小学校、中学校の通学が楽になればと思います。
三山木小学校の児童増加、その他周辺でも子どもが急激に増加している様で、中学校は田辺に集中するとおまわれるが、増築はされるのか？学校区が変更されるのか？選択性になるのか？心配です。
国語教育にもっと力を入れてほしい。教科書の音読(正しい)など。英語教育には、まず日本語教育。
「お茶育」を家庭へも広めて欲しい。
英語への取組を強化すべき
小学校中学校とも学間格差があるように思われる。どこに問題があるのか、どうすればよいか検討をお願いしたい。
市立幼稚園の登園時間 8:00～や弁当持参では預かり制度があっても利用できない
類似の都市(規模、都市の近くの住宅地が多い都市)を見つけその施策の良い面、悪い面、指向している姿等を参考にすべきと思います。モデルを見つけるべしとの意見です
部活等教員免許がなくても、すぐれた立派な人を受入れるべき。教委、学校共教育界は本当に閉鎖的
子供の貧困問題が言われてます。対象者にアンケート取り、実態をつかみ、必要ならば学校給食等も充実するよう取りくんでいく必要があるのでは。
中学の給食を希望するが、難しいようならパンお弁当の販売をして欲しい。又はコンビニに立寄る許可が出るとよい
小学生はマナーがよいが中学生になるとペットボトルや食べものの袋などポイ捨てが多い。教育も大切だがマナーをもっと教えるべきと思う。ポイ捨て看板があっても無視の状態です。
公立小学校、中学校のレベルアップは重要。南陽高校のような中高一貫校も必要
保育園の土曜保育が16時まででは短い！！人口全体で考えると田辺以外で働いている人が多いはず、その事を考えると延長すべき
小、中学校の教員数を増やして先生が余裕をもって子ども達と接して頂けるよう学力だけでなく人間性も育てて欲しいと思います。小・中学校の設備投資は重要。大きな造成地を抱える地区は住みやすい街造りの最先端を行くべし
「お茶育」ユニークですね。子供達にも小さい頃から玉露に親しんで欲しいですね
小・中学校の英語教育は大事です。外国人の英語教師を増やして英語で喋ることが出来る子供を育てる
市立の幼稚園で18時迄の保育はすばらしいと思うが、対象者に制限があったり、利用しづらい制度だったりしないか。改善して欲しいと思う
学校別にテーマをしばるのはよくないです。体力アップより何を重点にするかは英語教育の方がいいです。選択したいです。
お茶は、家で飲むことを増やさないと、そのイベントのみになる。子の親がコーヒー並に飲むようになるには・・・
同じ市内で、中学校の学力レベルに差があると聞きます。レベル底上げをはかるとともに、市全体でもっとレベルアップの努力すべき。(児童増加に伴い)
未来ある子どもの命を守る為には、何より最優先して、公立幼稚園にエアコンを設置して頂きたいです。今の時代、エアコンのない教室で数時間過ごさせるのは、母親として心苦しく心配でたまりません。どんな事をしてでも財源を確保し、早急に進めて頂きたいです。子どもの命を軽んじないでほしいです。
中学校を前期、後期の2学期制に八幡市第3中を参照
幼稚園の役割(教育費一律)、保育所の役割機能(保育料所得に応じ)の明確化、整理しないと。高所得になると幼稚園利用の方が有利となるのでは？
心豊かに育てもらうために、食費にも力を入れてほしいです。食えることは命につながることで、昼食の時間が短いことも気になります
同志社山手の中に保育園とこども園ができるようですが、中学生が増えてきているので中学校を増やして欲しい。自転車通学が増えると思われるので安全対策も考えてもらいたい。中学校も給食にしてもらいたい。三山木小近く(地域)に児童館や図書館を作って欲しい
認定子ども園の料金の設定がまわりの市とくらべてざっくりすぎるので、もう少しこまかくしてもらえると助かります。
定員に対しての空間の規格を国が定めた規格よりゆとりある施設を建設して欲しい。英語教育は園児の時から必要(国際社会に向けて)
学童の受け入れ人数を増やすようにして欲しい。また、塾に行かないと学力が上がらないようではおかしい。公立の義務教育でもレベル高く教育できる特別コース・カリキュラムを考えて欲しい
高齢者と子供達とが近い関係を築ける環境(寺子屋 etc)を促進し、命の大切さ、命のつながりを肌で感じる場作りを拡げる

施策14:誰でも自由に学べるまちづくり

- 幼い頃から読書の楽しさが身につくよう、保護者を対象に「読みきかせ入門講座」を開催するとともに、読み聞かせにふさわしい図書の充実に取り組みました。
- 経済的な理由で学習が困難な子どもの学力向上を支援するため、個別指導を行う学習支援教室を開講しました。
- 大学のあるまちの特色を生かした「京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」などの各種講座を実施しました。
- 希望する市民グループに職員を派遣し、健康づくり・観光・特産・防災など市の取組みを紹介する出前講座を実施しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	3	3

施策14「誰でも自由に学べるまちづくり」に対する主な意見

大学をもっとオープンにして欲しい
まわりの大人がお膳立てしたことしか、ついていけない子供。つまり自主性の欠落大人は手出し、口出しをしないで遠くから見守ることが成長に大事。年令が上がってるだけ。自主性のない人間に育ててほしくない
もっと青少年に本を読むことの重要性を。学校教員が教える必要があるように思う
中央図書館の土・日曜日は駐車場は一杯に待つ時間がある
講座の参加率など、開講されたものがどのくらい知られていて参加されているのか
図書館をもっと充実してほしい。本が少ない。松井山手にも図書館がほしい。
「読み聞かせ入門」すそ野を広げて底辺の親への PR して下さい。ヒューマンカレッジ、回数をもう2〜3回ふやしたらどうか。今年例年より少なかった
あまり参加する機会がない。同志社の講座は費用が高い。
学習支援教室の場所がわかりづらい。人通りの少ない所にあるようなので通わせられない
「読み聞かせ講座」を受講させてもらっています。とても充実した内容で、楽しく同時にためになります。この講座をうけてよかったです。
松井地区は結婚されたら、大かた都会へ出て行かれて、小、中、高校生が各大変少ないです。将来の日本のために子供をふやす等を進めて頂けよう、努力のほどお願いします。高齢者ばかりです。
図書館の蔵書の充実
出前講座にあったことがない一部の市民かしらなと思う。PRのしかたをもっと身近に
若い人が京田辺で仕事をし、生活できる環境をどうつくるかが課題。今の同志社のみでは流出をくい止めるられないのでは
図書館も新しくして、子どもが行きたくするような場所にしてほしい
楽歩塾はとても良かったです。ヨガ、体操教室にも参加してみました。ヨガは・大住(トウチク)でも開いてほしいです。・薪公民館。高齢者にも色々な教室を安価で学べるようにしてほしいです。たとえば、パソコン、お茶、英会話、料理、運動、きものリフォーム
経済的理由のため学習困難の学力向上支援も大切ですが、どこか家庭も全てがとても余裕がある訳では、ないです。学習支援教室は開放型にしてもよいのでは一？
京たなべ、同志社ヒューマンカレッジの講座内容が年々興味を引く内容ではなくなっているように思う
生涯学習の機会を多くつくってほしい
個人で読み聞かせをしているのも告知するべき。営利目的でない場合のみ
全く参加出来ない。図書館が早く閉まりすぎる。平日 18:00???早い！
居住地から図書館までが遠すぎて利用しにくい。松井山手は移動図書館での利用では、あまりにも図書館の充実からかけ離れていると思います。図書館の施設を希望します。
経済的な理由で学習困難な子どもの支援は拡充すべき
同志社大学ともっと連携したら良いと思います。子供たちに勉強教えてもらうとか(ボランティアではなくバイト代出して)
全く知らなかった。学習支援教室へボランティア参加したい。当方小学生相手の塾の講師 7 年経験
これからいろいろなテーマで出前講座を続けて下さい
「あいさつ」をしない、幼・老が多くなった様に思われます。ところで連帯感を育むまちは、あいさつからです。健康ヶ丘自治会はずばらしい・羨ましい。パソコンが使えない高齢者家族があります。新聞の購読が減少傾向が続く近年、図書館や地区図書室で新聞が読みたいという住民がありますが本館は勿論各図書室にも五大紙は揃えて欲しい。中央図書館までいけない老人のために
申し込みの手続きをもっと簡素化できないか？
当地域は出前講座は多いに活用させて頂きたいと思います。事前の案内を是非頂きたいです。
他地域では、読んだ冊数に応じて図書館で判子を押してもらえて子供に喜ばれているそうです。貸し出し数を誇る図書館なのでもっと独自の取り組みをみせてもらいたいです
共働き世帯が増えていくので、親子の時間を育めるような取り組みは良いと思う。子ども食堂などで地域の人と取り組める学びの場もよいと思う
青少年の健全育成は地域の治安・防犯に大切なことなのでよろしくお願いします
数年前同志社ヒューマンカレッジに〆切が 2〜3 日過ぎて申し込んだところ頑として受付拒否されました。翌年全コース参加しましたが大きな教室に空席も多く今でも納得がいきません。もう少し融通をきかせた対応を期待
このような人生を豊かにする取組をもっとまとめて頻繁に情報を発信し、市民に届くようにして欲しい
各幼稚園や保育所でも定期的に行ってほしい
青少年の健全育成できる文化、スポーツ施設の充実が必要。田辺中央体育館、都市公園野球場の規模が小さすぎる
積極的に経済的理由な子供学力向上の拡大を
読書に親しむためにも三山木小学校地域に図書館を作って欲しい
同志社ヒューマンカレッジを知りませんでした。より推進してほしい
もっと自然の中で見る、作る体験等人が生きるための勉強としてやれば良い。時々体験を継続する
良い取組みであっても周知されてなければ効果うすい。全くこのような取組みについて知らない
山手地区にも図書館があればいいと思います。子供、高齢者で利用したい時、送迎が必要となります
色々なことをされているのはわかりますが、どの事に対しても参加する人はいつも同じ人と言うのは良く聞きます。それはなぜかと言うのを考えてほしい
同志社大学の一般市民向けの講座をもっと充実してほしい
読み聞かせ講座に行きたかったが、仕事のある日で行けなかったです。保育園のイベントとしてコンパクトにしてほしいです

施策15:生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり

- 地域の文化資源を発掘するとともに、市民の文化活動への機運が高まるよう、さまざまな文化イベントを企画運営する文化コーディネーターを配置しました。
- 新たな市史の編さんに向け、京都府立大学や市民ボランティアと連携して歴史資料の調査・整理を進めました。
- プロスポーツ選手を招いたスポーツ教室やイベントを開催し、市民が一流選手のプレーに親しめる機会を増やしました。
- 「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」の開催をきっかけに、市内各地にサイクルラックや空気入れを備えたサイクルステーションを設置し、サイクルスポーツに親しめる環境を整備しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	3	3
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

施策15「生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり」に対する主な意見

市民チームなどをつくってみては？
自転車に乗ってる人をよく見かけerようになった。サイクルステージの効果だと思う
たくさんこうやってしたことが載ってるけど、市民に伝わってないと思う。
質問 2 でも書いてますが納税者(平日勤務)が参加出来る時間帯も用意して下さい
医療費を少なくするために高齢者のスポーツが必要と考える。私もゴルフをやっているが市の開催で田辺カントリークラブで少しでも安くコンペの実施を考えてもらいたい(市民)
文化に関しては京田辺はお粗末です。同志社大学があるので少しは取り組めているという感があります。
市史編さん～時間がかかると思いますが是非完結までこぎつけてほしい
どれもメジャーなことがなく、子供も大人も興味がわくものがない。教室も人数が少ない
イベントがパツとしない物が多く、花火大会の中止は困る
サイクルステーションなど場所がわからない
ツアーオブジャパンのステージになることは、よかったがサイクリングで訪れる人々が増え、車での運転がしにくくなった
第一線で活躍されている方々との触れ合いの中で得た経験は何物にも替え難いものとおもわれます。人材育成の観点からも今後も継続して行っていくして下さい。
文化振興などに必要な京田辺には、大きなホールがありません。体育館ではなく様々な方々が音楽で交流できるように大きなホールをつくって頂きたいです。
寺・社や史跡の立看板(教育員会が出している)の文字が消えている部分は書き直すか。あらたに新しい物と交換して欲しい。市内に沢山ありますよ。
ツアーオブジャパンは、良いと思う。もっと大きく宣伝した方がよい。
サイクルスポーツが盛んになった為木津川堤防道の自転車、歩行者専用道が高速で走る自転車で歩行者が身の危険を感じる事があります。事故の起きる前に対策をお願いしたい。
サイクルステーション目にしました。設置だけでなく維持管理にも気を使って欲しい。
京田辺市に一流の音楽ホールが必要。キララホールや体育館では論外。中規模のホールを持つ集合型(店舗、貸会場、公共施設等)の建物を新田辺の近く又は松井山手近くに設置するのが望ましい。
費用対効果が不明
他市と比較すると文化施設が我が町には少ない様に思います。(文化会館建設等)財源が必要と思いますが・・・！11月3日の文化祭がマンネリ化しているように思われます
ハンドボールをもっと前面に出しても良いと思います。何かプロチームとかあったら良いと思います
同志社大学(京田辺市)の400メートルトラックを市民が利用できるようにして下さい
スポーツ大会の開催をスムーズにかつ快適に行えるよう施設の再整備をお願いしたい。中央体育館や室内プールなど
同志社大学とのコラボしたスポーツイベントの参加費がとても高いように思う。収入をあげる事業ではないと思うが・・・。
ツアーオブジャパンをきっかけに、近所の60～70歳代の人達も自転車でサイクリングロードを走るようになりました。すばらしいと思います。サイクルラックやサイクルステーションの設置箇所がわかるような資料情報を知りたいです
サイクル空気入れのサイクルステーションの設置はしらない、もっと広報で知らせて欲しい
文化コーディネーターとは？その存在を知りませんでした。例年の文化イベントと何ら変化がないように思われます
自転車道が通っていて、他府県から自転車で来やすい町にしてほしい。Cafe やレストランにスポーツバイクで立ち寄れたら良いのと思う
小学生(とその保護者)対象のものが多く、子供のいない私は興味があるのに参加できず、残念な思いをよくします
スポーツ振興に力を入れて下さるのはうれしいですが、スポーツの出来る場所夏の暑さは考えて下さい。ハンドボールの時何千万円のお金をかけている。冷房対策出来ないのですか。
文化振興とスポーツ振興の街にして欲しい。マスターズのスポーツイベントを開催して頂きたい
「文化コーディネーター」と言うのは、どのような活動をされているのですか？初めて耳にしました。
京田辺市に音楽、演劇をはじめ、アーティストのコンサートなどができるホールを作してほしい
大人の音楽教室を低価格で(初心者から)
京田辺市にスタンド付きスポーツ施設の建設(野球場、サッカー場等)の推進を希望する
サイクルステーションはあっても走る所がない。小さい子供が自転車で走れる所をつくってほしい。整備内容が中途半端、ユーザー目線になっているか？せっかく国際的な自転車レースも開催するのだから、サイクリングロードやジョギングコースを整備すべきではないか
この分野において「スポーツ」ばかりに片寄っている気がします。「音楽」ジャンルの取組やイベントが皆無であることが不満です
ツアーオブジャパンの誘致は、山間地域の活性化の面からも良かったと思います
サイクルステーション設置、ありがとうございます。足(ひざ、股関節)が悪くてもロードバイクなら体に負担なく運動ができるので進めたいスポーツの一つです
人が増えた割には、スポーツを振興するためにも、サッカー、野球、ハンドなどする場所が少ないと聞きます。子どもたちが遊ぶ場だけでなく所属したチームの練習する場を作してほしい。(自分の子とは関係ないですが)
ライダーのマナーがわるいので自転車、サイクルスポーツに力を入れるべきではない子供の安全面でよくない
市の文化ホールや陸上競技場があると行事も行いやすい。企画に対して施設がおいついていない
色々な事をしていますがいつもどれ位の方が参加されているのか知りたい。いくつ位の方を対象なんですか何才でも参加出来るとは思えないし、普段運動は苦手だが足腰が弱くなって寝たきりにならない為の負担にならずに毎日だれもが出来る体操の方が知りたい

施策16: つながりによる地域力の創造

- 大学生によるスポーツ指導や留学生との交流事業のほか、まちづくりに関する調査研究を委託するなど、同志社・同志社女子大学との連携を強化しました。
- 市民の自主的な活動を支援するため、市民・学生・行政が協働して行う事業や、市制 20 周年を盛り上げる市民の自主的な提案事業に対して助成を行いました。
- 市長が市民と直接語り合い、市民の声を市制に反映させるため「茶つとサロン」や「新婚さんいらっ茶〜い」を開催しました。
- まちに誇りと愛着を持ってもらえるよう、市のキャッチコピー「便利でええやん！京田辺」や広報紙の愛称「ほっと京たなべ」を市民公募で決定しました。

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	3	3
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	3
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

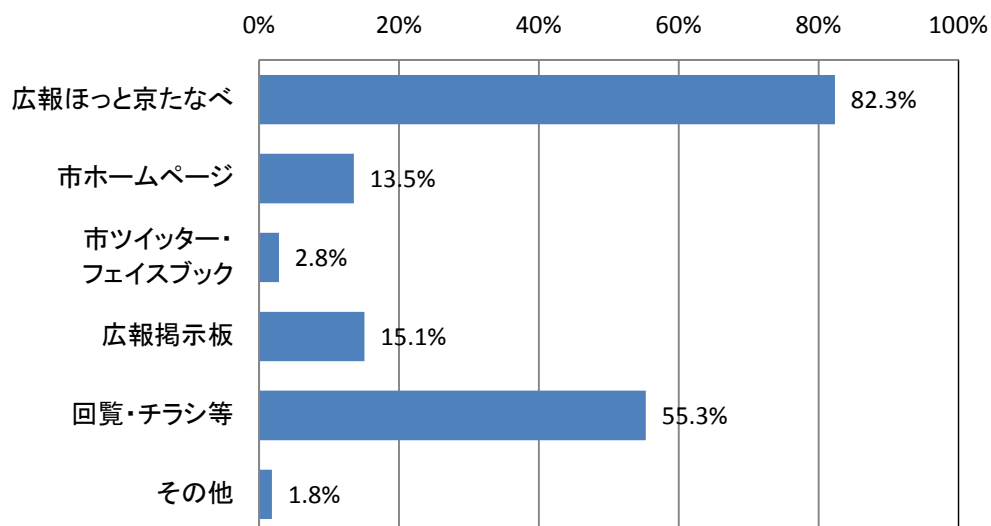
居住地域	満足度	重要度
大住地域(松井山手)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	3	3
普賢寺地域	4	4

施策16「つながりによる地域力の創造」に対する主な意見
同志社前駅周辺をもっと学園都市のイメージに整備を。同志社との連携を強め学園都市としての評価を高めるべき
京田辺市ほど大きな市にしては今の広報誌の量はものたりなく思います
キャッチコピーでまちに誇りは不明？どうしたら子供が又大きくなって帰ってきたいなあ〜ここで子育てしたいと思えるのかと思うとやっぱり自然があるということは大きいポイントです。
なんでもかんでも助成助成でなく自分たちの持てる力を発揮行動して貰いたい
市民の声を市長までどのくらい届いているのか。内容苦情等市長に行くまでに止められているケースがあるように感じる
PR がまだ不足気味と思う
全く身近なものと思わない
便利さを感じないのに「便利でええやん」は変更希望
市長、市議が表で出て中の仕事もあるが、対外の人との交流が要。認知されているのか。
大学で住民の交流の場がほしい
大学と積極的に共同でイベントなどをすれば地域活性化になると思います。
助成の基準を明確に透明性もはっきりと
大学との連携事業に参画したくても、車で来るなどと言われると足が遠のきます。
松井地区は京田辺市の西の端になるため余り中央のような活発な交流が少なく、だんだんと高齢者が多くなって自主的な活動はすくないです。
同志社大学との連携をして、何がプラスになったかよくわからない。
インターネットで市民の声をとりあげるサイトをつくってはどうか？
新婚さんいらしゃいをされているなら婚活もされたらどうですか？京田辺で小さな会社で勤務されている所とか回ったらどうですか？
京田辺は住みやすいが便利ではない
京田辺市に住み 10 年が経ちます。田畑や山、田舎もあり、また、新しくなっていく街並みもあり、とても好きです。良くなっている事は賛成ですが古いものもしっかり残していって欲しい
京田辺＝便利なだけと思ってる人が結構いて住むのはちょっと・・・とよく言われる
限られた年齢層だったり市民の声聞く場も少なすぎる。
費用対効果が不明。イベントを企画して公務員の仕事を確保しているだけに見える
市長自ら、現地レポートされ、一市民の眼力で市民の為の市政を議会と調整してこの市を良くしようとする気迫を感じます
京田辺が便利とは思っていません
「便利でええやん！京田辺」→親しみのこもったキャッチコピー前から、いいなあ！と思っていました！
ほとんど知らなかった。社会教育課の傘下で日本語教室をやっている。留学生との交流は充分できている。日本語教室もアピールして欲しい
大学生によるスポーツ指導をもっと積極的に行って欲しい(文化面も)
スポーツ交流会のイベントを開催して欲しいです。一休さんウォークはとても良いと思います。サイクリングイベントも開催して下さい
格好はどうでもよい。本音と建て前に壁がありすぎと思っております
同志社大学との連携事業がコミュニケーション不足(大学当局と)たまに学生にまるなげ感がある。市の方でももっと練って欲しい
対象者が偏っている
どんな企画や行事、取り組みも一過性にならないように！
市政に市民の声を反映させるシステムづくりが必要ではないか。スポット的な事では地域力の創造には結びつかないのではないかな
市制 20 周年をうたっているが、花火大会が無かったことはいかかなものか
「茶っサロン」「新婚さんいらっ茶〜い」全く知らなかった
5 年程前、同志社女子大で開催された高齢者生きがい教室に参加しました。これも市との連携事業であったように思いますが誠に意義ある教室でした
ネーミングセンスが古くさい。センスがないのでは・・・。同志社大ともっと積極的に連携できないか
市制 20 周年は、盛り上がり欠けている。知られていないし特にイベントも行われていないので残念に思う
市民まつり、花火大会、スポーツイベントを充実させるべき
同志社・同女が市内にあることは重要である。もっと協力事業を考えるべき
大学生の本業は勉強だと思います。スポーツ第一はおかしい。このごろはスポーツ過剰だと思います
かつて炉端懇談会を全自治会で長が出てやっていた、いろんな意見とつながりも出来た。一年間を通じて市長先頭にやってはどうか
このような施策を知らない。せめて結果を知らせるなどでして欲しい。ごく一部の市民だけの助成になってはいけない
市長の顔もしっかりおぼえていない。会ってもわからないと思います。キャッチコピーの事も知りませんでした。表面だけではなくもっと浸透する様になれば
キャッチコピーに時間とお金を使わずに、もっと有効に使ってほしい。ふざけすぎで感じが悪い

Ⅲ. 広報に関する市民の意識

1. 市からの情報をどこから得ていますか (n=1,036) ※複数回答

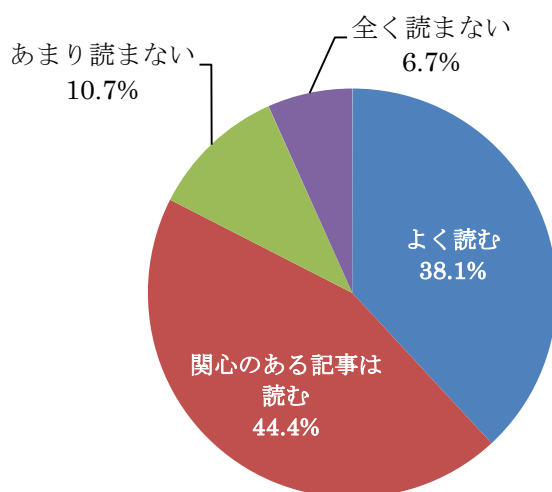
回答者の 82.3%が広報紙から情報を入手している。なお、グラフにはないが、ホームページを閲覧している人のうち 74.3%は広報紙からも情報を得ており、ウェブ媒体（ホームページ・ツイッター・フェイスブック）のみを利用しているのは 4.0%となっている。また「その他」には、友達などからの「口コミ」が多かった。



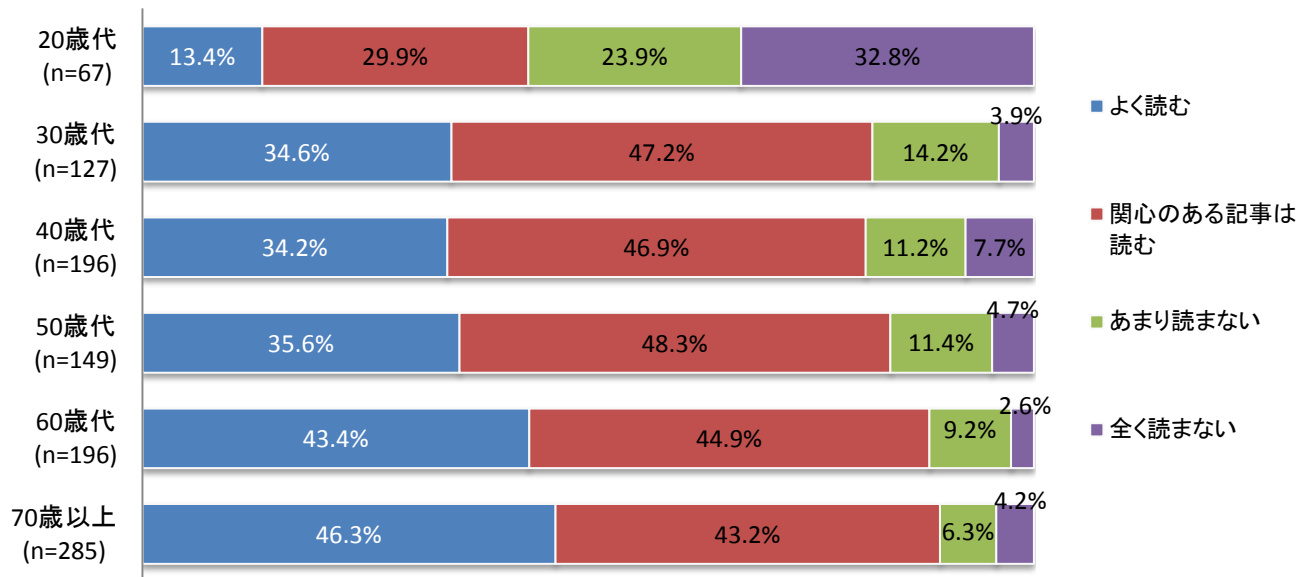
2. 「広報ほっと京たなべ」を読んでいますか

(1) 全体 (n=1,042)

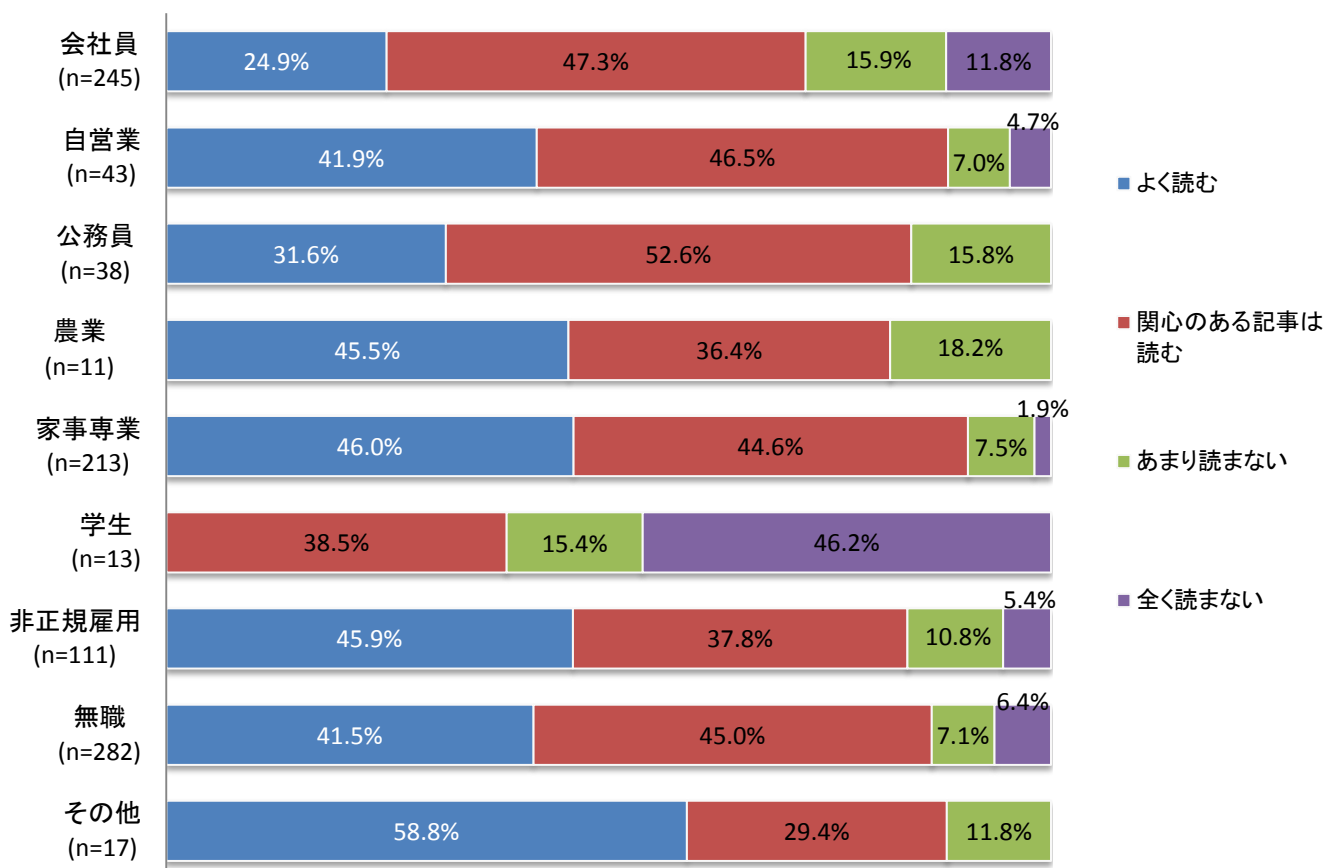
「よく読む」「関心のある記事は読む」を合わせて 82.5%の市民が広報紙に目を通している。「あまり読まない」「全く読まない」と回答したのは、年代別では 20 歳代、職業別では学生が多かった。



(2) 年代別



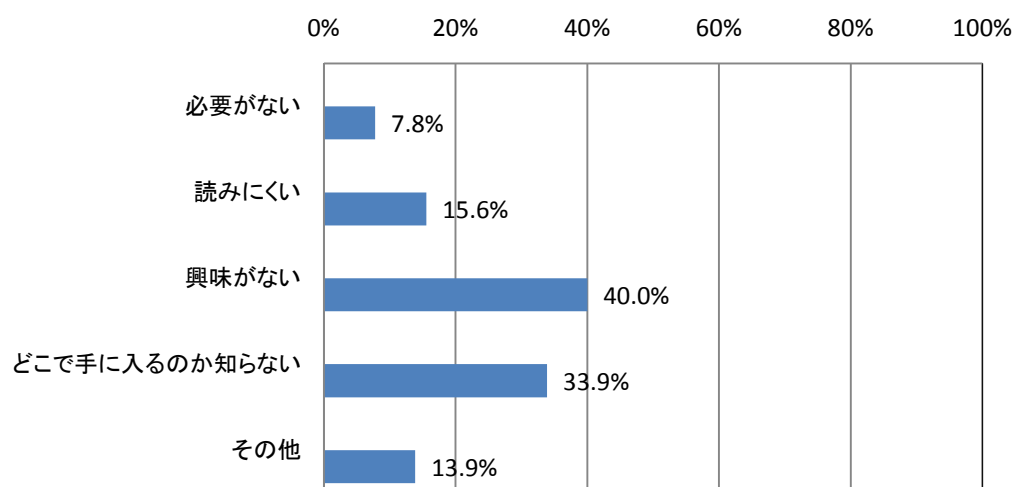
(3) 職業別



3. 「あまり読まない」「全く読まない」理由をお聞かせください ※複数回答

(1) 全体 (n=180)

最も多かったのは「興味がない」で、次いで「どこで手に入るのか知らない」「読みにくい」と続いている。また、その他の理由には「似たような記事ばかりで目新しさが無い」「読む時間がない」などがあつた。



(2) 年代別

	20 歳代 n=38	30 歳代 n=23	40 歳代 n=37	50 歳代 n=24	60 歳代 n=23	70 歳以上 n=30
必要がない	2 5.3%	2 8.7%	4 10.8%	4 16.7%	0 0.0%	2 6.7%
読みにくい	4 10.5%	6 26.1%	7 18.9%	5 20.8%	2 8.7%	4 13.3%
興味がない	17 44.7%	6 26.1%	13 35.1%	9 37.5%	8 34.8%	12 40.0%
どこで手に入るのか知らない	16 42.1%	8 34.8%	12 32.4%	5 20.8%	10 43.5%	10 33.3%
その他	3 7.9%	4 17.4%	5 13.5%	3 12.5%	3 13.0%	6 20.0%

40%以上は網掛け

(3) 職業別

	会社員 n=68	自営業 n=5	公務員 n=6	農業 n=2	家事 専業 n=20	学生 n=8	非正規 雇用 n=18	無職 n=38	その他 n=2
必要がない	7 10.3%	0 0.0%	2 33.3%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 5.3%	0 0.0%
読みにくい	11 16.2%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 5.0%	1 12.5%	4 22.2%	6 15.8%	1 50.0%
興味がない	22 32.4%	1 20.0%	3 50.0%	1 50.0%	9 45.0%	2 25.0%	7 38.9%	17 44.7%	2 100.0%
どこで手に入るのか知らない	30 44.1%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	4 50.0%	4 22.2%	13 34.2%	0 0.0%
その他	5 7.4%	1 20.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 20.0%	2 25.0%	3 16.7%	6 15.8%	0 0.0%

40%以上は網掛け

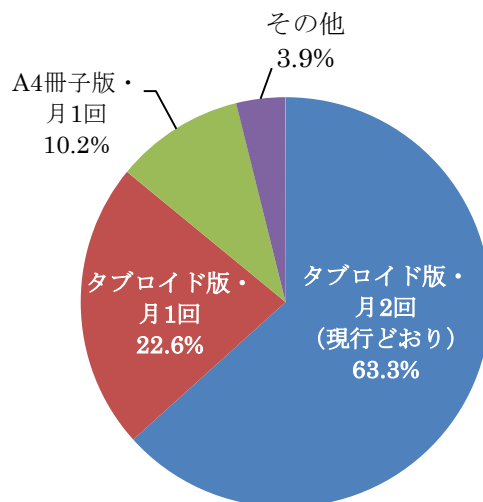
(4) 居住地域別

	大住地域 (松井山手) n=43	大住地域 (松井・大住) n=17	田辺地域 n=57	草内地域 n=25	三山木地域 n=17	三山木地域 (同志社山手) n=9	普賢寺地域 n=6
必要がない	3	1	4	5	1	0	0
	7.0%	5.9%	7.0%	20.0%	5.9%	0.0%	0.0%
読みにくい	7	4	9	2	2	4	0
	16.3%	23.5%	15.8%	8.0%	11.8%	44.4%	0.0%
興味がない	18	5	22	9	6	3	2
	41.9%	29.4%	38.6%	36.0%	35.3%	33.3%	33.3%
どこで手に入る のか知らない	12	6	24	9	6	0	4
	27.9%	35.3%	42.1%	36.0%	35.3%	0.0%	66.7%
その他	10	0	5	4	2	3	0
	23.3%	0.0%	8.8%	16.0%	11.8%	33.3%	0.0%

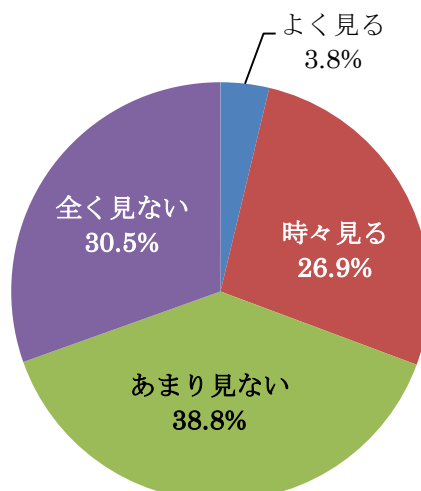
40%以上は網掛け

4. 「広報ほっと京たなべ」の発行形態で良いと思うものを選んでください (n=954)

紙面サイズは 85.9%がタブロイド版を、発行回数は 63.3%が月 2 回発行が良いと回答している。その他の意見には、「A4 版・月 3 回」・「ウェブ配信のみ」などがあつた。



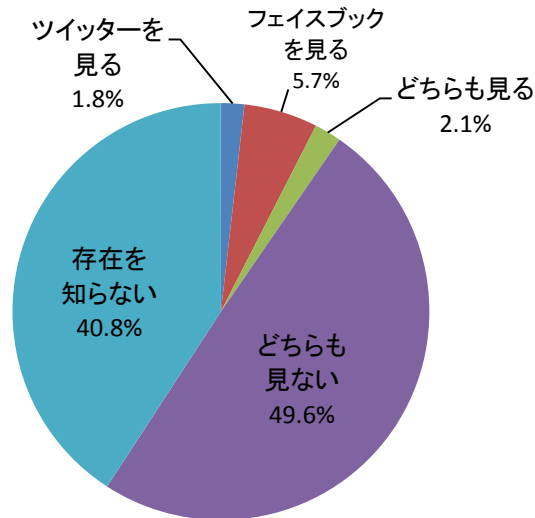
5. 市のホームページを見たことがありますか (n=1,053)



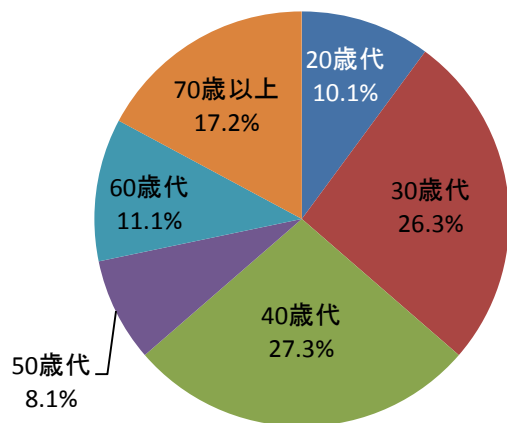
6. 市のツイッター・フェイスブックを見たことがありますか (n=1,051)

49.6%が「どちらも見ない」、40.8%が「存在を知らない」と回答している。なお、「ツイッターを見る」「フェイスブックを見る」「どちらも見る」と回答した人の属性をみると、年齢別では30歳代・40歳代で、職業別では会社員・家事専業で高くなっている。

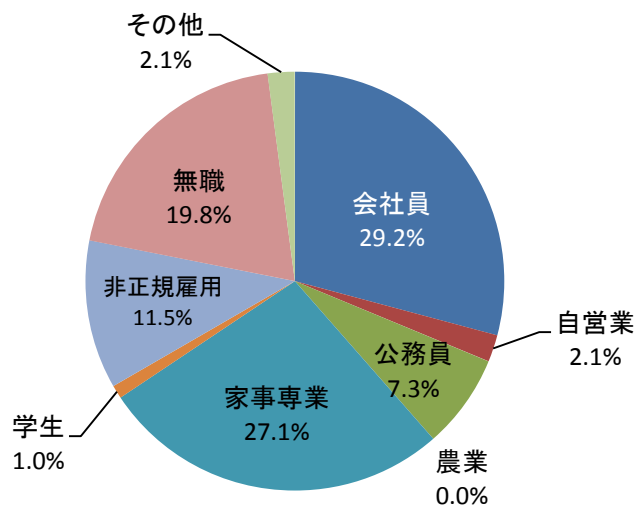
(1) 全体 (n=1,051)



(2) 閲覧者の属性 (年齢別) (n=99)



(3) 閲覧者の属性 (職業別) (n=96)



IV. まちづくりへのアイデア・提言

まちづくりへのアイデア・提言
京田辺駅を中心にした巡回バスなどのアクセスの整備又夜0時位まで運行して欲しい。バスの起点を京田辺、松井山手、三山木等何箇所か設けて乗り継ぎで市内のどこでも低料金で早朝から深夜まで移動出来る様にして欲しい。 JR 学研都市線の複線化と便数を増やして欲しい。特に南部の駅はひどい。 イオン等の大型モールの誘致・長年住んでいてとてもいい街だと思います。福祉、教育などの文化面は特に。今後出て行きたい街にする為には公共インフラの強化が必要だと思います。
保育士の募集をよくされていますが、短時間の就労はできないのでしょうか？私自身、保育士経験があり、免許もありますが、子どもがまだ小さいので長時間やシフト勤務は難しく心苦しく思っています。短時間、また自由(子どもの急病などでの欠勤)がいけるのであれば、働けるのですが。募集のチラシを見るたびに思います。
前回の市議会議員選挙では全員当選となりました。人員の見直し、議員定数の検討を 市政協力費の費用を日当、交通費制に変更してはどうか？ 松井山手地区の人口増加に対して市の分所、図書館他を検討下さい
自転車道の整備 歩道の整備を 公道の整備を 公道の色別明示、使い得防止 新幹線より JR の複線化私鉄の立体化 文化会館をシンプルな建物キャパシティは1000人現在の中央公民館で 宅地の開発は旗型やコンクリートで急傾斜の宅地開発が目立つ。又ドンツキ宅地も多い相続対策の宅地化？ 店舗のドライブスルーでの公道歩道を使うので事故につながる。 農業の共同大型開発整地を
京田辺の知名度 UP のため「京田辺＝一休さん」ブランド化し「一休さんコンテスト」を開催してはどうでしょうか？(大人部門、子ども部門を設け、一休さんになってもらう)さらに魅力のある街になってくれることを期待しています。
京田辺市はこれからの街だと思っています。大型スーパーや商業施設が充実すれば、さらに住みやすくなると思います。また、同志社前駅や JR 三山木駅周辺に飲食店が出店すれば学生や市民で賑わい、魅力的な街になっていくと思います。
子育て環境はよいと日々感じております。小学生の子を持つ親として最大の関心はやはり中学校給食です。隣接する城陽市は昔から、八幡市は来年度より導入とのこと。母同士の会話でさえ3校しかない中学校の給食化がなかなか実現されないことに疑問の声があがるほどです。例えば近隣の小学校(人数の少ない田辺東小、大住小)で作るのや普賢寺地区には空き地も多く見られるので、給食センターを建てる等のアイデアも簡単にうかぶのですが・・・雇用も生まれ良いことしかないように思います。ぜひ実現させてください
町が祭典する条件を決め、それらを時系列的に対し順次やっていくことが必要。発展の条件は市民、専門家等で意見を求めそれを整理することが必要。(終わっているかも知れないが)整理予告書を市民に知らせる事が必要。(体育館や中央公民館等で市民を集め行う)
若者と子と老人とのコミュニティー。市民と他の方とのコミュニティーが要。集える場。公の分野ではなく民が公を使ってがんばるべき。土地はまだ少しくさんある。京都人っぽさがない京都ってのが住みやすさになるし、流入促進になる。京都よりならず、大阪、奈良よりでもいい。そしてもっと多様性ある街に。外国人を留学、労働するための賃貸、ホームステイを市が仕切ってもいい。
SNS による広報はLINEやインスタなどでも行ってほしい
この数年で丘陵部を開削し住宅地が増えたが長期見通しで人口減ならある程度規制すべきではないか。市の中心部の再開発を含め、トータルのデザインが見えてこない。 広報、ツイッターやFBもどの程度市民が利用フォローしているのか。もっと発進力を高める工夫をしてほしい。
地域が活性化していくための様々な誘致は必要だと理解しておりますが昔からある京田辺の風景は今後に残してほしいです。私の妻は生まれた時から現在も京田辺で育ってきました。便利な町になっていく一方で田畑が整備され新しい家や店が増え、子供が自由に遊びまわる場所が(自然の)少なくなっていくのがとても寂しいと言っていました。市街化調整区域になっているところに、新たに何かを誘致したり、家を建てたり、という事が今後でてくるのではないかと不安に感じるところでもあります。発展させる場所、残す場所をしっかりと分けし、今後も京田辺市が素敵な町になっていくことを願っています。
いつも私たちの安全と生活の暮らしを支えて頂きありがとうございます。新田辺行きのバスが減り、京都まで直通バスが増え、また大阪までも電車で行きやすいため、新田辺、近鉄利用を避けるようになってきています。日中、通院でバスを利用している母もバス本数が減ったため困っています。新田辺周辺のまちづくりが活性化できれば願っています。市が取り組んでいることは、だいたいこの市も同じようなことをされており、特徴があまり見えないような気がします。また、働いている私どもは平日には参加できず、利用するという思いもありません。厳しい意見かもしれませんが。都会すぎず、田舎すぎず・静かな暮らしが気に入っています。子供もこの地域で暮らしていきたいと言っています。今後ともがんばって下さい。
北陸新幹線の松井山手駅周辺での新駅など将来に向けた明るいニュースは有るものの我々現役世代が子供を産み育てていく過程で金銭面・肉体面・精神面様々な部分で息苦しさを感ぜながら日々の生活に忙殺されているのが日常です。子育てについては妻にほぼ任せりの状態で妻も24時間365日子供たちと向き合うことを余儀なくされ、その心中も察するに余り有ります。昔ながらと言えば語弊がありますが、もう少し時間の流れが穏やかにそして皆さんがもう少し意欲の心を持てるような心の豊かさが育めるようなそのような街づくりが実現出来ればいいなあ～と思っています。中々実現に至るまでは種々多様な難題も有るかとは思いますが何卒少しでも前に進むような足跡を残して頂ければと思います
「緑豊かで健康な文化田園都市」上記の件で、産業工業等発展させようとするれば、緑が欠如します。健康も損なわれます。「排気公害等」開発造成を積極的に進めるべきではないと思います。
将来の市を支えていく子育て世代が住みたくなる街。高齢者が安心して暮らせる街。「京田辺市」の名前をもっとアピールして下さい。

まちづくりへのアイデア・提言
子育て支援と高齢者が健康で暮らせる施策の実現、実行をお願いしたいです。
これからは、ますます元気な老人が増えるので、老人をうまく使う方法を考えてはどうですか。例えばボランティアだけでは、人は集まりにくいと思うので、何か役立つことをすればポイントを与えて、貯まれば自分のために使うことができる等。大阪、京都への通勤圏であるので、このままコンパクトシティーを目指してほしいですが、これ以上、賑やかになってほしくないという思いもあります。新幹線の駅等の大きな施設は要りません。出来る頃は私は生きていませんが、高速道路だけで十分です。
市役所は交通至便な新田辺駅～JR京田辺駅付近に高層ビルでまとめる。府総合庁舎との連けい etc 旧 307 国道の拡幅整備 JR京田辺駅～近鉄新田辺駅間の高架道路設置・・・(水害対策の臨時避難所としても活用する) 自転車駐輪所(無料ヶ所)設置。近鉄西口の西住宅公園横に存在するが新田辺駅東口側にも設置希望。現状はサンフレッシュ駐輪場に放置利用者が多く買物客が大変不便である。
娘の出産の時、我家で世話をしましたが、幼稚園児や未就園の上の子供も当然家で面倒をみることになりますが、親世代 2 人とも仕事をもっている場合、本当に困りました。結局私立の遠くの幼稚園に預かっていただき二週間、二人の保育料 28 万円の出費になりました。(家の近くであれば、これくらいの費用は全く構わない気持ちです)経費により、近くの幼稚園は利用できなくて(私は運転ができません)上の子たちの送迎のため主人に遅刻、早退とくり返してもらうことになり、職場への迷惑を顧みると今から、思い出しても冷や汗がでます。少なくない住民税を何十年も払い続けていますのに子供が京田辺市民でないだけの理由で近くの幼稚園にも保育園にもお世話になれないというのは大きな疑問が残りました。預けたい(預けるしかない)私たちは京田辺市民で納税者なのですが、少子化対策を考える時、ママが出産する時のサポート体制が整っているかどうか大きな要因であると考えます。
近鉄新田辺近くで中高年が気軽に利用出来るジムのような施設、トレーナー等の指導員がいて体を動かす場があれば良いと思う。気軽に利用出来るカフェ等も併設されていて、障がいをお持ちの方もスタッフとして働け、近くに保育所等があり多数の人が集まるコミュニケーションの場があれば良いと思う。市内各所からそこへ行く為の 100 円パスのような交通手段が整備されていて、行って楽しめて健康に役立つ場所がほしいです。(そこには市役所の出張所のような窓口がありわざわざ市役所まで行かなくても手続きが出来て高齢者にとって便利な場所になるとありがたいです。)
中心市街地活性化とからめて京田辺市内に歴史的資源、観光資源を対策とした「サイクリング観光」のネットワーク化。拠点の整備、ストーリーの組立てなどを行うことを考えてはどうか。京田辺一大住を中心とした街づくりをこわさず且つ財政面を助けるための、インバウンドや田辺観光客をスローに訪ねることを提案。
人口増は大切であるが、増加した分だけランニングコスト(道路、公園他の維持費)が増加する。それをカバーするには、企業税収をもっと行ない、税収をアップする必要があるのではないのでしょうか。幸い、高速道路が整備されているのですのでご期待できると思います。是非頑張ってください。
納税者(納税額は地域により大きな差がある)なり納税額の多い地域に恩恵があるような市政を望みます。可能ならば地域の市民税額とその地域での事業投資額を公開したらどうでしょうか？税金は取るだけが大切なのでなく、払った分に応じての還元が必要です。蛇足ですが、新名神高速の建設現場に「緑豊かな田園都市」の看板を掲げていましたが田畑をつぶして緑豊かとは云えません。道路を作るのは賛成ですが、そぐわない掲示はやめましょう。
新田辺駅東側の再開発。駅から降りた瞬間にすたれてる感がすごい。スターバックスコーヒーなどを作って来客数を増やし、今あるお店の良さに気付いてもらえればいいと思う。すごく良いところなので、みんな知ればいいと思う。。お祭りとかも派手にすればいいと思います。入りやすいふいんき作りも大事。せっかくハンドボールがすごいからもっとみんなに周知してほしい！！若い人とお年寄りが一緒に出来る何か作り。いす1グランプリをもっと周知させるべき！！SNS！！何に対しても知らないことだらけなのでまずはみんなに知ってもらえるようにすることが最重要かと思います！えらそうにすみません
犬猫の条例を作る。近所で飼い猫(布の首輪をしています。)を早朝から夜まで外に出しておられる方が二家族いらっしゃいます。ごみ置場を荒らしたり、田畑のまわりは汚れていてはえが飛んでいます。美しく住みよいまちにするにはマナーの向上を願います。
「ゾーン 30」の地域を拡大する。塾が近くにありますが。送迎の車が夜 11 時ごろまで、家の前を通っています。夕方などけっこうスピードを出されています。危ないので塾近くの道路も「ゾーン 30」にして下さい。
子どもの屋内遊び場を設置する。雨がふったり気候のきびしいときは長時間孫を遊びに連れていく場所がありません。近隣市町村と連携して、キッズニアやディリパ(大阪ガス)のような体験型商業施設を設置してほしい。
広報ほっと京たなべを自治会でなく、業者配布にする月 2 回配布は負担です。
公共交通機関(できれば京阪電鉄へのアクセス)が充実すれば、もっと活力のある町づくりが実現できる気がします。花住坂、松井ヶ丘山手幹線沿いに薬局やカフェ本屋など個人商店ができると魅力ある地域になると思います。
緑が綺麗な街が素敵だなと思うので、街の緑化が進むような事業がもっとあるとよいなと思います。
市では子育てに重点を置いたまちづくりを進めておられてその結果に人口も増え続け大変嬉しい事と思います！その中でより一層、結婚、妊娠、出産とこの点でもっと手厚く細かく女性の意見を聞いて支援が必要と思います。お母さんになられる方や、お母さん達の日常の努力があつてこそ平成 37 年以降も人口増に繋がると思います。例えば京田辺の広い場所でホテルの様な産婦人科を造るのはいかがですか？
Jアラートが発報(特に北朝鮮からのミサイル発射)でテレビ等で窓のない部屋に避難して下さいとの指示。そんな家は周りを見ても全くなし。上から眼線の指示とはこんなもの！地区によって施策が変わると思います。花住坂は京都、大阪に勤務する人のベッドタウンでかつ当地が開発されて以降 30 年経て高齢化が進行しています。ここに合致するものをどう選択し、重点付け具体策を考え出してどうあつて欲しいか描くことが大切だと思います。スケジュール化するかが重要だと思います。まずは京田辺市 20 周年光を

まちづくりへのアイデア・提言
京都南部市町村の合併(木津川、精華、井手町他)⇒50年、100年の大計を立案。教育が進んだ町、農業が進んだ町、工場生産も盛んな町等、町に特徴があり、将来計画も明確になっているまちを考えてほしい。 例)農産物の大工場が並ぶ町。東大・京大進学で有数な町。日本でも有数なスポーツの町(甲子園、オリンピック他に多数出場)
公立高校のモデル校等の高校生に対しても取り組みを行って欲しい。小中学生に対しての取り組みも必要だがそこから高校→大学へとつながらないと意味がない。
子供の人数にかたよがりがあり過ぎるのが問題だと思う。どんどん増える三山木、松井山手に対し田辺東や草内は人口も減り高齢化…。年齢層のバランスが取れないと、その地域の成長は望めず衰退し、治安も悪くなってしまうのではと危惧している。三山木ばかりにお金をかけず、木津八幡線を安全な道路にする、同志社前駅、興戸駅、新田辺駅前を使いやすい再整備する等。市民に不公平感を抱かせない様な予算配分をして欲しい。新幹線駅が来るならばJR複線化を市が主導して進めていくべきだと思う。
共働きがしやすく、子育てが出来る町にする(待機児童がなくなるように) 安心安全な町に、防犯カメラ、街路灯、警察官(パトカー、バイク)での巡回を出来るだけ増やす。 目新しい施策をするよりも現在人口流入が続いている訳である事ですしQ16・17までの内容で出来るだけ、肉付けをしたらと思います。
京田辺市の特性を打ち出すこと。経済や産業の街は京田辺市にふさわしくない。文化、芸術、歴史の町として国内だけでなく海外にも知らせ旅行者を集めると共に、永住希望者を造り出す方を推進することが大切。中途半端なセールスではなく、インターネットなどの通信手段やマスコミを活用すること。有名人を利用すること。特産物を積極的にアピールし売り出すこと。そして市民が安心して平和に生活できる町を創造していくことが市の繁栄につながるのではないのでしょうか
他の市や県のまねをしないこと。京田辺市が独自に考えこの市ならではの取り組みを願うものです。
超高齢社会を迎え徹底的なコスト削減が必要。職員、議員を削減する。このようなアンケートも希望者にはインターネットにすればいい。(理由、考え)そもそも公共施策は少なければいいと考えています。真に困ってる人は、各種企画、イベントにも参加出来る筈がありません。自治体は最低減のサービスにして、困っている人には直接支援(人、物、金)すべきです。徹底的なコストカットにより減税を行い公務員、議員を減らして下さい。(失職した人には生活保護なみの給与を与え公共活動させれば良い※20万円以下の給与で頑張っている若者もいるのだから)
人口増加はいいことだと思います。共働き家庭が増えていると思うので、預かり保育や土日でも市役所を利用できるように、いろんな家庭のニーズに応えられるようになってほしいと思います。
京田辺は交通の便もよく、もっと栄える可能性があります。産業、観光もお茶、一休さんがあり、それらを利用したヒント商品、ぜひ京田辺に行きたいと思わせるような取組が必要であり、うまくPRできたらと思う。また、京田辺の施策が市民の生活がよくなるように取組む
北陸新幹線の新駅設置を機に、市北部(松井山手)の再開発が必要となる。現在成熟したエリアとなったが、南北の貧弱な道路計画がネックとなってくる。山手幹線が幹線道路でなく、生活道路化してしまっているのは、36年前の都市計画では想像できなかったであろう。道路網を見直し新1号線のバイパスを計画するべき。新田辺エリアも高齢化が進み、空き家も増えてくるだろう。空き家バンクも良いが新築が好まれる時代であるので、新たな住宅開発を促進するためにも西住宅以北のエリアを住宅地、アルプラザ以北を文化施設、体育施設エリアとしてもらいたい。コストコ渋滞、山田屋渋滞と呼ばれる開発行為による渋滞発生について駐車場規模の条例化や、供用後の行政指導により円滑な交通環境を誘導してもらいたい
観光にもっと力を入れるべき。例えば寺院通り道などに、桜とかかみじなどをもっと増やす。JR京田辺のターミナルせますぎる。東側は、なぜ一般車は入れないのか？木津川マラソンやハンドボールなどの大会をもっともりあげるべき。また、宿泊場所がない。木津川の周辺でBBQなどの屋外活動できる所があればいい。笠置キャンプ場のような屋外サイト。木津川サイクリングロード上でトイレがない
何が今必要なのかというのは、時代によって変わってきて当然です。人口が増える時期や世代なども変化していきます。建物、箱ものを作る際は、リノベーションしながら、使用することが出来る様に作ってほしいと思います。
種々の取組み施策を行っている様ですが、残念ながら私はその内容をあまり知りません。市民に対するPRの方法を考え、皆さんの関心を得る様にして行ってほしいと思いました。・松井山手周辺は商業施設、高速道路などが整備されていますが、もう少し自然を残し、安らげる様な町作りを進めてはどうかと思います。大阪、京都などの郊外都市として落着ける町にすべきだと思います。
思いつくまま、日頃思っていることを提案します。 近鉄新田辺駅東側の商店街の再開発が必要とされます。駐車場の便も悪く、このままでは進化の阻害要因となっている。どんな構造とするか十分な都市計画を議論して下さい。 京田辺市の魅力のひとつは豊かな田園風景かと思います。無計画な住宅地開発は景観を大なしにするので、市条例で方向づけをしっかりとしてほしい(景観条例の充実) 2項に関連して、農業放棄地が出ない様に行政でよく考えて下さい。福岡県の糸島市は大都市の博多市の近隣で、市民農園が活況を呈しており、あたり一面に見られます。週末を中心に家族連れが訪れ、消費もあり、産物は出荷して即売所もあります。住宅地としての住民を集めるには限界があるので、こうした仕組みを考えたらどうでしょうか。 京田辺市は、JR京田辺駅、近鉄新田辺駅の接続駅であり、本来であれば地下街等で傘なしで移動できる形にして欲しいところ。現時点では人の動線確保が不親切かと思う。 京田辺市は京都奈良の中間にあり、両市とパーク＆ライド拠点としての機能が果たせるのではないかと思います。交通網も出来つつあるので、駐車場とカプセルホテルなどで旅行者用の宿泊拠点となれるのではないかと。駅の近辺の飲食店も増やせるのではないかと

まちづくりへのアイデア・提言
<p>松井山手周辺と同志社山手での人口増加が続くのが京田辺市全体のイメージアップになっているだけと思う。市内で住み替えるなら松井山手周辺と思うが、若い人は特に夢を持っているところだと推察します。田辺地区は本来中枢地であるのに整備が遅れ、空屋も散見される程であり急改造、整備が必要と思われる。特に旧 307 周辺はかつてのメインロードの面影がない位遅れている。新田辺、京田辺の両駅から下りた観光客はどんな思いをしているのか？ホテルひとつもない惨状。市が泣いています。</p>
<p>豊かな自然環境はこのまま維持して下さい。自然を破壊しないで下さい。そして…子育て真っ只中の世代を支援できる施策をお願いします。高齢者向けの支援はその次です。(今のままで充分です)京田辺産の玉露のおいしさにあらためて感動しました。全国的に PR して下さい。玉露を使用したおかしとかも…。(田辺なすや田辺レモンの今後は？)</p>
<p>現在、子が中学二年生ですが、京田辺市の公立高校が充実してないと感じます。(通学)交通も不便な点もありますので、子育て支援重点を謳うなら考えてみてはと思います</p>
<p>市民に対する行政に携わる方々の対応がどの分野でもとても丁寧で親切だと感謝しています。一口に京田辺市といっても、地域や年齢層によりそのニーズは多種雑多、且つ急激に変化する環境や諸事情へのスピーディーな対応等大へんだと思います。個人的には、文化的、日常的に生活をより豊かに出来る所がもっとあればと思いますが、残すものは残す、守るべき物は守りつつ、新しい事への対応を速やかに進めて行く。アンケートを通じて、普段分らない行政の取り組みへの理解が少し深まりました。市民の声を聞いてくださり、ありがとうございました。</p>
<p>10 年前に松井山手に引越してから、周囲の環境が目まぐるしく変わりました。引越し当初は、まだ仕事もしていたので、京田辺市の事は何もわからず、ただ職場との行き来だけで、便利も不便も感じることはありませんでした。仕事を辞め、この先京田辺市で老後を暮らすとなると、もっと京田辺市の情勢を知り、市に愛着を持って暮らしていかなければ図書館をまわったり、ボランティアに申し込んだりしていますが、活動の場が点在しすぎてなかなか参加しづらいと感じます。市役所さえ遠く感じています。公共の場の名称と場所が一致せず、どこにあるんだろう？の時点ですべてです。子育て世代も高齢者もそして未来を託す子どもたちが、京田辺に住んで良かったと思う魅力ある行政に期待します。</p>
<p>新しい施設、設備が増加し、新しい住民も増加していく現在にこそ、京田辺市が好きになる。住民の一員という実感がもてるまちづくりが非常に重要なのではないかと思います。小さな子どもがいる家では、地域との交流が自然と行っているのではないかと思います。そうではない家に対しても、孤立してしまうことのないような支援は必要なのではないかと思います。</p>
<p>京田辺市に住んで、ちょうど 20 年になります。当時、田辺町から京田辺市に昇格した年でした。閑静な住宅地であり市役所や学校など前に住んでいた大阪市(鶴見区)に比べると、親切な人が多く良い所に引越して来たと喜んでおりました。残念なのは、みるみる松井山手近辺の交通状況が一変し、渋滞、並びに環境が変わって来た事です。特に山手幹線や 307 号線の跨道橋の渋滞など、もう少し工夫すれば回避する事が可能な箇所があるように思われます。今後とも、先を見越した「まち作り」を願っております。</p>
<p>隣市だが城陽 IC が出来、数年後のアウトレット計画(大きい)、松井山手人気もあるし山手幹線にもぎわって来ると感じます。今、感じていることは、市で圧倒的に大きなショッピングセンター館として平和堂アルプラザ京田辺がありますが、イマイチ久御山や高ノ原イオンモールに比べると活気がありません。京田辺としては中心地にある大きなショッピングセンターなので、老若男女に利用出来る買物、憩いの場として生まれ変われば、もっと人が集まると思いますよ。市として働きかけてみてはどうですか？大きさが全てではないと思うので今より大きくするという事では無く、新田辺駅まで屋根をつけるとか、小児科等病院を入れるとか何か進化出来れば京田辺市の魅力も上がるのではと思います。全国初！！ぐらいの事して欲しいですね。我が市には！！期待しています！</p>
<p>市中心部に居る高齢者を有効に動かす場所、又は少し離れた地域の土地(特に空き地)の有効利用で荒れた地の解消と高齢者の健康維持に利用する新たな制度(わく組)を考えたいかがでしようか。高齢者のひまの利用⇒少ない！！だから家で TV の番をするしかない人が多い。特に元職人は器用ですが、不器用な一面が多いのでは！！</p>
<p>まず、子育て支援に重点を置いた結果、人口流入が続いているか検証してはどうか。同志社山手、松井山手の宅地開発が進み、人口流入が進んだのかと思うが「子育て支援が田辺は充実している」から他市から来たという声はあまり聞かない。また 29 年度施政方針で、大手民間企業のアンケートで市内の駅 4 駅が 2 位-4 位に選ばれたと記載されていたが、マイナビ賃貸の調査かと思うが、京都が 29%京田辺 8.7%と大差がついていることを認識すべきである。また、賃貸会社の調査のため、学生や転勤サラリーマンの回答が多ければ結果もかわると思う。これらの点を考えてほしい。京田辺市として①企業誘致(物流施設)②玉露の PR③子育て支援(保育士の確保)をしっかりと取り組んでほしい。せっかくの調査票でのアンケート回答ですので、意見を反映した施策の実行に期待したい。</p>
<p>質問 1 のところで明記したが、「平和」な町づくりと言うならば有事の場合、どうするか。もっと言えば市民が避難できるシェルター(地下)を整備するなどを全国に先がけてやれば人口の減少も防げるのではないか。</p>
<p>京田辺市は、大阪への利便性の高さから松井山手を中心に発展し、今後も更に都市化が進むと思われるが、近鉄京都線以東の停滞感が強くなっているとともに、周辺部の高齢化対策なども課題であると思われる。地域別に見ると人口増加地域と人口減少地域が鮮明になってきており、市内での格差の拡大が進むのではないかと考えられ市全体の状況と各地域の状況の両方を見た施策展開が重要であると思われる</p>
<p>個人が持っておられるもので、景観となっているものを、行政が守って欲しい。田畑の風景等。例えば興戸から同志社に向かう途中のハス畑ここを通る学生たちにとって、京田辺での思い出の景色となっていると思う。もし、相続等で失うことになれば個人のものではあっても今まで共有してきた人たちの心の景色を失うことになる。そういった人の心に残るものを守る手伝いを行政にしてもらいたい。すでに失ってしまったものとして、そよかぜ幼稚園の隣にあった子どもたちが遊んでいた(通称こたやん基地)10 年程前に個人の方が相続で売ってしまわれ宅地化(今家がたっているかしらないが)されてしまいうめられた。(下流には府 100 選の滝があるのに)今気がかりなのは、興戸での天井川切りくずし。このあたりの風景であった天井川を、ありきたりなものとしてしまわれるのを見るにつけづらい。いつも、いろいろ考えて実行して下さいありがとうございます。これからも、よろしくをお願いします。</p>

まちづくりへのアイデア・提言
<p>安直な考えではあるが、若い世代(未婚)に興味を持ってもらうために、農業振興で行っている農家養成塾とタイアップした、結婚や恋活イベントのような事業を行ってもいいと思う。</p> <p>打田や高船地域等の情報(?)どんな地域なのか、新しく転入した人は知らないと思うので、地域ごとの特色を紹介したものを広報に載せて欲しい。</p> <p>同志社山手や松井山手もいずれは花住坂のように高齢化が進み、人口も減っていくと思われるが、恐らく10～15年は60歳以上の方々の力や経験が必要となってくると思うので学校見守りボランティアのような方々を増やし、その保護者と関われる機会を増やせばいいと思う。高齢の方や若い保護者や子ども達が顔見知りになることによって、地域の結びつきが強くなり、将来過疎化していく住宅地でも助け合いがしやすくなると思う。</p>
<p>持続性のある京田辺市の発展の為にはさらなる人口増加が必要であると思います。その為には京田辺市の魅力をもっとPRする必要があります。特に若い世代の方々に</p> <p>現在大学は同志社大学と同志社女子大学のみですが、より多くの学生を受入れられるよう複数の大学を誘致してはどうでしょうか。新幹線も通ることであり絶好の機会であると思います。</p> <p>最近積極的に取り組んでおられますが、全国小学生ハンドボール大会をもっと全国的に紹介すべきであると思います。もっとメディアの協力も得てPRをしていただきたい。オリンピックを控えて絶好のタイミングであると思います。更に大会開催中には「臨時京田辺道の駅」などを会場内に設け全国から来られる方々に京田辺とは、このような町であるとPRして下さいすべきです。現在大会の結果を確認する為にはインターネットか市の広報くらいです。テレビで中継されれば市全体が盛り上がるのではないのでしょうか。</p> <p>道路事情ですが、特に松井山手周辺では、山手幹線が渋滞でひどくなりつつあります。今後高速道路の完成及び新幹線駅が出来て増々渋滞がひどくなるのが予想されます。マイナスイメージにつながりますので、これらの事を配慮した町作りをお願いします。</p> <p>個々の取り組みは、それぞれ重要であると思いますが「…を推進しました」や「…を取り組みました」等々の内容では判断が出来ないと思います。少なくとも取り組み内容の羅列ではなく具体的成果(数値でもよい)を書いていただけたらと思います。また、それぞれの取り組みの優先順位を明示していただけたら、現在何が重要でどのような取り組みをしているのかがわかり評価しやすいと思います。</p>
<p>移動図書館があるのは大変良いと思います。返却は図書館に行かなくても街中に返却ボックスがあればもっと借りやすくなり、利用者も増えるのではと思います。以前住んでいた市では、市内の駅改札内(駅員さんに頼んで入れてもらえる)にあり、通勤時に返却でき、大変便利でした。</p>
<p>施策が前例主義でおこなわれているように思える。昔ながらの一部の人々によってのみ、決定され運用されているようにも見える。別々にビジネスライクに行くことを希望するわけではないが視点を変えた発想も必要に思う。行政とは、1部の人々の満足だけのためにあるのではなく、少々費用対効果が望めないとしても、本当に困っている所へ施策や費用を投じるべき。富んでる所はより富み、貧する所はより貧するではダメ。富んでる所が貧する所を助け【自立】できるようにするのが重要と思う。以上、参考にして頂ければ幸甚に思います</p>
<p>打田・天王・高船については人口減少が進んで空家が増えつつあります。この地域に市・企業関係の施設などあれば他域内の雇用、奈良交通の利用客も増すのではと考えます。たとえば地域の特性を生かし「旬のとれとれ(例)」と題し炭・野菜を使った野外活動の場など！</p>
<p>防災についてはもっと自衛隊と連携が必要なのでは？木津川がはんらんすれば京田辺市の1/3が水没すると思いますが、第2京阪、京奈和道、新名神の3つの高速道が通る町は少ないと思いますので、その点のアピールに工夫があれば良いと思います。</p> <p>リニアを京田辺市に</p>
<p>京田辺市の教育環境の良さを知り、子どもの未来を想って引っ越してきました。住環境も良く大変満足しています。これも、京田辺市がこれまで子育て支援に重点を置いたまちづくりをされてきたからだだと思います。子どもが生き生きとした人生を歩んでいくには、母親に沢山の愛をそそがれ、母の生き生きとした笑顔が必要不可欠だと思います。昨今では、孤独な育児をしいられる母親がいたり、スマホ依存症の母親が多くなったり、今後の子どもの成長に何らかの影響があるのではと感じます。子育てに関する考え方は、人それぞれですが何か育児の専門家の方による‘母親講座’のようなセミナーが行われたり、教育者による母親の為のセミナーがあったらいいなと思います。それによって母親が子どもに対して少し優しくなれたり、自分の育児を見直すきっかけになったりすればいいなと思います。</p>
<p>住みよい町「京田辺市」～教育環境、交通の便も良い市を目指してほしい。</p> <p>府南部の拠点市として JR 松井山手近鉄新田辺及び三山木駅周辺地域の整備を引き続きお願いします。</p> <p>同志社大学というネームバリューと学生や若い人がみ力ある町をPRしてほしい。</p> <p>高齢者の対策は与えるばかりでなく自助努力をさせる方向へ持っていくべきである。</p>
<p>何かをするのに必ず予算があり、出来ることもそれに伴い限られる。あたり前のことですがこれが現実で、誰もが知っていること(分かっていること)です。(ここにも書かれてある人口減少)例えばですが、JR 京田辺駅や近鉄新田辺駅周辺を明るい感じにして欲しい。そして、住民が行きやすい場所に市役所の出張所や人通りが多い所に図書館など考えて欲しい。ちょっと市役所へは、運転しない人には(バス)不便だし JR の駅から歩くのは、危ないと感じるから。この様に細々としたことは書けるが、京田辺市として将来どの様な市づくり(町づくり)を考えているのかが、私には、見え難い。これからの長期ビジョンを示してから</p> <p>の提言やアイデア等を聞いて欲しいと思いました。</p>
<p>北陸新幹線駅の設置に関連して、松井山手駅周辺の街づくり、整備の方向性の策定・明示作業をお願いしたい。</p> <p>文化施設(文化ホール)設置の必要性の有無の検討をお願いしたい。体育館はあるが文化ホールがない。市財政面からの検討も。</p>

まちづくりへのアイデア・提言
<p>安全都市、わたし達にとって大切なものは命であり、それを守るために環境整備していく。子ども達が安全に通学できる環境（道路の整備）</p> <p>コンビニを増やさず減らしていくことを進め、安全な食品を取り扱ってくれるお店（自然食品など）を支援していく。</p> <p>生活習慣を活性化させるため、甘南備山の整備をさらに進める。</p> <p>広いスペースを活用した温泉の誘致</p>
<p>京田辺市に転入した時、市役所から玉露と茶器をプレゼントしていただいて、とても嬉しく新生活をスタートしました。京田辺のアピールポイント（お茶などの産物、一休寺など観光地、同志社大という全国的知名度の教育機関）を最大限活用すべきと思います。音楽を聴くのも演奏するのも好きなのですが、音楽専用のホールや演奏会場が無い。中央公民館に出向いて問合せでも「大きな音は出せない」「他の公民センターにも練習所は無い」と言われた。実際は音楽室を備えた公民センターもあり、対応が不十分不親切で市民のニーズに応じたサービス、知識が欠けている様に感じ、がっかりした。他都市では、民間の力を利用しながら、官主導で魅力的な文化活動を展開しているイベントも多い。京田辺も参考にすべき点は多々あるのではないのでしょうか。</p>
<p>新幹線建設や高速道路の整備等を考えると今後の市北部の発展は明白と思われるので、将来の姿と見誤ることなく、市北部の整備を進めるべきである。</p>
<p>鉄道駅を中心としたコンパクトシティのまちづくりは、反対ではありませんが、コンパクトシティから外れるいわゆる旧村では、少子高齢化が著しく、このまま放置すれば市街地との格差が広がる一方で消滅していかざるを得ない現状です。今の市政では、その対策が見えてきません。コンパクトシティにより、周辺の山間地域等の自然淘汰が進むのを待たれるのでしょうか？旧村等の対策は難しいとは思いますが、まずは子育てや高齢者のための足の確保の対策を早急にお願いします。加えて地域の活性化のためには、都市計画区域の見直しも効果があるのではないかと考えます。</p>
<p>京田辺市は、子育て世代を中心とした人口増加が山城南部唯一の市であり今後も増え続けることは喜ばしいことであるが高齢者の増加にも目を向けなければならないと感じている。市の高齢者への福祉サービスの充実を図っていただきたいことに加え、高齢者を介護している家族へのサポートも充実させてほしい。高齢とりわけ認知症の方を介護されている方の介護負担は、された方ではなければわからない精神的負担が大きく介護保険サービスだけでは対応できていないのが現実だと思います。認知症サポーター養成、キャラバンメイト養成講座を受けてもその方々がどれだけ活動できているか疑問です。その後の活動につなげることが出来る支援の取り組みをぜひお願いしたいと思います。</p>
<p>町、地域をより良く、そして力になりたいと思っている人は表に出てなくてもいると感じています。その全員が議員に出馬もされませんし、そういう人たちに助成や事業者に対しても地域のための行動を考えている所へ市と協力し、助成までの手助けがあると良いと思います。いきなりそういう事が難しいのであれば市で期間限定の雇用の下2年後に独立した地域の為の起業をさせるなど（農業（新規者）を含む）取り組んでいただければ全体で取り組みが出来ると感じます</p>
<p>シルバー世代、定年退職者が、今迄の経験が活かせる仕事の創生（短時間でOK）による地域の活性化が必要と考えます。「フルタイム年金受給生活者」を減らすといった考えです。</p>
<p>夫の転勤で都心から数年前に転入しました。転入当初は自然豊かで子育て世代であることもあり、とてもいいまちだと思いましたがわずか数年のうちにだけでも、貴重な里山や田畑が宅地・資材置き場・工場などで失われていっていることに驚き、失望しています。京田辺市を疲弊した地方工業地、ベッドタウンにしないためにより長期的視野でまちづくりを切望します。宅地開発を行うにしても菜園付き住宅や自然素材住宅などで差別化をはかる。Iターンや新規就農者、移住者の誘致で農業の活性化をはかる。同志社大学、シュタイナー学校との連携で個性あふれるまちづくりをする等。環境、歴史、文化の保全、様々な形での農業の振興、個性あふれるコミュニティづくりは遠回りのようでも現在のような拙速な開発よりも長期的には住民だけでなく、市政にも利益をもたらすものと思います。現時点では、酒屋神社付近の防賀川改修に伴う道路の拡張は環境破壊だけでなく、更なる農地の乱開発を誘引するものなので見直しを希望します。</p>
<p>人口流入の要因を知り「京田辺市の良さ」を持続できる街づくり施策を市民の声と共に実施すべきです。京・大坂・奈良の結接点としての利点は活かすべきだが、「便利でええやん！京田辺」のキャッチコピーのとおり進んだりそんな考えだけで流入してくる人口増加は、今の京田辺市の魅力を打ち消してしまうものとなるでしょう。京田辺市の魅力は、街の機能と村や農業・自然が身近な距離に混在し、人も「街に流入するファミリー世帯」と「村で代々根をおろして住んでいる世帯」が混在し、活力と秩序のバランスが取れた穏やかな街になっている所だと思います。京田辺市の魅力を流入してくる人々にも理解して育てていく事が持続可能な街だと思います。とすれば、本アンケートで度々書きました市民への告知と結果のフィードバックが大事なので再考いただきたい。</p>
<p>高齢者と次世代の子供達が共に生きる喜びを見出し活性化するまちづくりが求められていると思います。高齢者おひとりおひとりが培われてきた技能・知識・経験を生かし、子供達に伝え、共に創造するまちであってほしいと思います。子供達は、未熟なだけではなく、限りない可能性を持つ存在だという視点を持って接すると、上から目線ではなく、共に学び合う関係をきづけると思います。子供達のパワー、純粋なハートに触れて高齢者も生きがい、元気を持ってより充実した人生を送れることを望みます。フェスティバルやマルシェ、各イベントを共同参画するなど良いと思います。</p>